

浦添市立図書館報

A Report on Activities of Urasoe City Library



(H28. 9. 30 おはなしコーナー壁面完成)



(H29. 9. 30 又吉栄喜文庫開設)

平成 29 年
浦添市立図書館

Urasoe City Library

発刊のことば

館長 平良 美恵

平成29年度浦添市立図書館スローガンは、「読むトク～あなたの『知りたい!』に答える図書館～」です。ジャンルを絞らず様々な資料を提供し、レファレンスサービスを始め様々なサービスで、市民の“知りたいに答える図書館”がスローガンの意図するところです。図書館には「司書」という専門的な職員が、利用者の「知りたい」をサポートしています。どうぞ、お気軽に声をかけてください。

さて、今年度の取り組みとして、特別文庫「又吉栄喜文庫」を、2階沖縄学研究室に開設します。特別文庫の開設にあたって、又吉氏は「作家を志す若者たちに活用してほしい。浦添という小さい土地を深く掘れば、世界に普遍することに自信を抱いてほしい」と語ってくれました。氏の若者たちへのエールを活かすべく文庫作りをめざしていきたいと思います。そして、従来の実業である、読書から遠のきがちなYA世代の読書意欲を高めるために実施している「うえそえYA文芸賞」とともに、YA世代の読書活動、創作活動を後押ししていきたいと思います。

ところで、図書館では、読み聞かせや手遊びを通して本に親しんでもらおうと、「おはなしの部屋」や「空とぶじゅうたんおはなし会」、「おはなしのたから箱」「英語のおはなし会」を定期的に行なっています。また、市民の興味関心に応えるため時期に即したスポット企画をはじめ、その季節ごとの企画や、沖縄学講座、暮らしに役立つ講座も開催しております。そのすべてが「本」を手にとってもらうきっかけ作りです。「本」が仲立ちとなって、「知る」→「わかる」→「できる」につながり、暮らしを豊かにすることを願っています。

図書館には、子どもから大人まで、あらゆる年齢の方がいらっしやいます。また、毎日来館する人がいるくらい、常連、リピーターがおります。来館理由も、ぶらっと立ち寄った方、趣味・娯楽のためから研究、調査と様々です。そのお一人お一人にとって、快適な空間であるように工夫を重ねていきたいと思っております。どうぞ、図書館に足を運び、本を“読む”と“得”する体験をしてください。

平成29年7月

目 次

発刊のことば

1. 浦添市立図書館の概要

浦添市のプロフィール	1
浦添市立図書館のプロフィール	2
浦添市立図書館のあゆみ	3
施設の概要	6
運営方針及び努力目標と平成 28 年度重点目標	7
組織運営図と事務分掌	8
平成 29 年度浦添市立図書館当初歳出予算	9

2. 統計

浦添市立図書館刊行物一覧	10
地区別利用登録者状況	11
月別利用統計	12
蔵書回転率	13
人口 1 人当たり貸出冊数	13
団体利用統計	13
レファレンス及びコピーサービス	14
予約・リクエストサービス	15
相互貸借	15
図書館ボランティア活動状況	16
施設見学、業務体験受入状況	17
ステーション別利用統計	18
ステーション別予約・リクエスト統計	19
資料購入実績	20
資料購入費割振	20
蔵書数・貸出数・資料購入費等統計	21
各種過去 3 年比較統計	22
蔵書統計	23

3. 奉仕活動

平成 29 年度年間カレンダー	24
平成 29 年度年間行事	25
平成 28 年度としよまる巡回表	26
平成 28 年度ステーション位置図	27
移動図書館（としよまる）貸出風景	28
移動図書館（としよまる）の運営基準	29
学校、JICA 沖縄国際センター連携	30
雑誌スポンサー制度（寄贈提供）	31
うらそえ YA 文芸賞	32
催し物	33
映画会	35
おはなしの部屋	36
空とぶじゅうたんおはなし会	37
にこにこ赤ちゃんおはなし会	38
おはなしのたから箱	40
としよまるおはなし会	41
英語のおはなし会	42
アメリカ情報コーナーの概要	43

(資料部門)

収集方針・選択方針・収集の流れ・選択基準	
(1) 資料の収集方針	46
(2) 資料の選択方針と留意点	46
(3) 資料選択にあたっての留意点	48
(4) 資料収集の流れ	48
(5) 選書の組織(体裁)	48
(6) 資料の種類別選択基準(選書基準)	49
(7) リクエスト受入基準	57
(8) 弁償資料代替指定基準	57
(9) 館外貸出禁止資料 (禁帯出・貴重資料)指定基準	58
(10) 書架移動に関するマニュアル	58
『よのつち』図書館関係執筆者一覧	62

(沖縄学研究室)

沖縄学研究室の概要	63
沖縄学研究室の運営方針	63
沖縄学研究室の重点目標と主な事業計画	63
沖縄学研究室所蔵資料と利用方法	64
沖縄学研究室刊行物の紹介	65
浦添の歴史文化整備保存事業	66

4. 参考資料

寄贈総数表、個人寄贈者一覧	67
ベストリーダー	68
所蔵雑誌 タイトル一覧	71
アメリカ情報コーナー所蔵雑誌 タイトル一覧	74
所蔵逐次刊行物 タイトル一覧	75
所蔵新聞一覧	80
沖縄学研究室所蔵新聞一覧	82
「沖縄タイムス」所蔵一覧	84
「琉球新報」所蔵一覧	85
浦添市立図書館職員名簿	86
浦添市立図書館協議会委員名簿	87
浦添市立図書館に関する新聞記事	88
関係機関一覧	94
図書館の自由に関する宣言(抜粋)	97
図書館法(抜粋)	97
浦添市立図書館の設置及び管理に関する条例	100
浦添市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則	102
浦添市立図書館協議会規則	106
浦添市立図書館コピーサービス実施要綱	107
平面図	108

1. 浦添市立図書館の概要

●浦添市のプロフィール

[概要]

沖縄本島の南部圏に位置し、南は那覇市、東は西原町、北は宜野湾市に接し、西は東シナ海に面する。西海岸の大半はアメリカ軍基地となっている。

市域面積 19.48 k m²、人口 113,578 人（前年度比 2 人減）、世帯数 48,100 世帯（前年度比 716 世帯増）（平成 29 年 3 月末現在）を擁する県下第 4 の都市である。県都那覇市に北接する活気に満ちた新興都市であり、県内の代表的な企業が集中し、業務機能、商業地区が形成されるなど急速に都市的成長を遂げつつある。「太陽とみどりにあふれた国際性ゆたかな文化都市」を目指し、まちづくりに取り組んでいる。

昭和 56 年に愛知県蒲郡市と友好都市を締結、また、昭和 63 年には中国福建省泉州市と友好都市を締結して国際交流にも力を入れている。

当図書館は、浦添市てだこホール、浦添市美術館等が立地する「カルチャーパーク」内にあり、カルチャーゾーンの中核として市民文化の拠点施設となっている。

[歴史]

12 世紀頃には、按司(アヂ)と呼ばれる首長層が台頭したが、本島に拠点を置く有力按司の勢力がめざましかった。13 世紀には本市の浦添城(グスク)を中心に、沖縄本島中部地域を支配する英祖(えいそ)などの英雄が登場した。14 世紀後半には察度(さつと)が登場し、1372 年、中国に使節を派遣して、初めて琉球・中国の外交・貿易の歴史をスタートさせた。

浦添の古音は「うらおそへ」で、「うら」は地域、「おそへ(おそい)」は支配する、治めるという意からきている。したがって、「諸地域を支配する中心」の意味が本市の語源である。その後、政治的中心が浦添城から首里城に移ったため、古都浦添の地位は失われた。琉球王国時代の地方行政単位である「浦添間切(まぎり)」時代が長く続いたのち、明治 41 年(1908 年)に「浦添村」となる。昭和 20 年(1945 年)の沖縄戦において最大の激戦地となり、人命・財産に甚大な被害が出た。

戦後、広大なアメリカ軍基地が建設され、「基地の町」的様相を呈したが、1960 年代から急速に都市化が進展し、昭和 45 年(1970 年)7 月 1 日「浦添市」に昇格した。

こうした幾多の歴史を体験したため、市内には多数の文化財が存在する。本市のビジョン名「てだこの都市・浦添」の「てだこ」は、かつての英祖王の神号・テダコ(太陽の子)に由来する。

●浦添市立図書館のプロフィール

浦添市立図書館の概要及び平成28年度事業概要は次のとおりです。

平成29年4月1日現在

開 館	昭和60年4月23日（開館時蔵書：約53,000冊）
施 設	敷地面積：3,845.00㎡ 延床面積：3,036.58㎡（現況） 総工費：491,500,000円（建設当初） 起 工：昭和59年3月29日 竣 工：昭和59年12月29日
蔵 書	310,281冊（うち閉架：166,688冊） 図書収容力：約36万9千冊（うち閉架：約17万8千冊）
利用状況	利用登録者数：64,004人（うち団体登録者数210件、うち在勤在学者数3,056人） 全市民登録率：約51.9%（市内利用登録者数÷本市人口） 在勤在学登録率：約4.8%（在勤在学者数÷利用登録者数） 平成28年度入館者数：163,937人 平成28年度貸出利用者人数：83,068人 貸出冊数：379,353冊（個人368,381冊＋団体8,086冊＋相互他2,886冊）
職 員	25人（館長：1人、正規職員：8人、臨時職員3人、嘱託職員：13人）
決 算	平成28年度支出総額：80,442,196円 うち資料購入費：8,996,856円
開館日等	開館時間：午前9時30分～午後7時 休 館：月曜日、祝日（こどもの日、文化の日を除く）、慰霊の日（6/23） 年末年始（12/29～31、1/2～3） 定例資料整理日（7、8、2月を除く毎月末平日） 蔵書点検（年間10日以内） 臨時休館（特別な事由があるとき） 平成28年度開館日数 280日（休館日：85日）
主な事業	図書館資料等の貸出返却、資料の収集・整理・閲覧、レファレンス、レフェラル、コピーサービス、移動図書館、おはなし会、映画会、展示会、講座、講演会、刊行物の編集・出版、沖縄学研究室の運営、歴史資料の収集、多文化コーナーの運営、アメリカ情報コーナーの運営、JICA沖縄国際センターとの連携企画行事等

●浦添市立図書館のあゆみ

- 昭和 57 年 * 図書館建設基本構想の策定作業を開始する。
- 昭和 58 年 * 2 月、建設計画を策定する。4 月 1 日、市教育委員会内に図書館建設準備のための主幹(宮城篤正)を配置し、具体的な準備作業にとりかかる。
- 昭和 59 年 * 3 月に建設工事を開始、4 月に図書館建設準備室が発足する。また、12 月には浦添市立図書館の設置及び管理に関する条例が公布され、同月 29 日建設工事が竣工。(建設工事費 491,500,000 円。)
- 昭和 60 年 * 4 月 1 日、宮城篤正、初代館長に就任。4 月 23 日開館。開館時の蔵書数約 53,000 冊。11 月には利用登録者が 2 万人を超える。
- 昭和 61 年 * 1 月、「図書館だより」第 1 号を発行。(のちに名称を「はながわら」に改める。)
* 4 月、開館 1 周年の絵本絵画展・写真展を開催。
* 6 月、手づくり移動図書館を字勢理客ではじめて実施。
* 8 月、第 52 回国際図書館連盟(IFLA)東京大会に館長参加。
* 12 月 7 日、本館が都市景観に貢献したことにより「浦添市都市美創出審査委員会」より「委員長特別賞」が授与される。
- 昭和 62 年 * 4 月、琉球王国評定所文書刊行事業がスタート。
* 11 月、冊封使書籍展を開催。
- 昭和 63 年 * 4 月 1 日、高良倉吉、第 2 代館長に発令。
* 4 月 23 日、開館 3 周年式典及び記念展示会開催。
* 6 月 1 日、移動図書館巡回開始式典及び祝賀会開催。翌日より移動図書館(としよまる)が市内 22 ステーションの巡回を開始。
* 10 月 26 日、日本図書館協会より「建築賞特別賞」を授与される。
- 平成元年 * 3 月、蔵書冊数約 150,000 冊。
* 8 月、新コンピュータシステムを導入。
* 11 月 30 日～12 月 1 日、全国移動図書館大会が開催され、本館は幹事館となるとともに事例報告を行う。
* 12 月、「浦添市立図書館紀要」を創刊。
- 平成 2 年 * 3 月、閉架書庫の第 1 期整備を終える。
* 7 月、沖縄学研究室がオープンする。
- 平成 3 年 * 3 月、蔵書数約 180,000 冊。
- 平成 4 年 * 2 月 14 日、図書館としては初の「沖縄県社会教育功労賞」を授与される。
- 平成 5 年 * 9 月 28 日、閉架書庫内の集密書架工事が完了する。
- 平成 6 年 * 4 月 1 日、西平実、第 3 代館長に発令。
* 6 月、バージョンアップに伴い新コンピュータシステムを導入。
- 平成 7 年 * 2 月、学校への図書集配サービスを開始。
* 10 月 15 日、開館 10 周年記念式典・祝賀会を開催。
- 平成 8 年 * 1 月 11 日、又吉栄喜(本市図書館職員)芥川賞受賞。
* 4 月 1 日、与座文子、第 4 代館長に発令。
* 5 月、図書館ネットワーク事業 4 校追加により対象学校が 6 校になる。(12 年度終了)
- 平成 9 年 * 3 月、蔵書数 244,112 冊。
- 平成 10 年 * 3 月、蔵書数 258,223 冊。
* 6 月 2 日、「としよまる」巡回 10 周年。
- 平成 11 年 * 3 月、蔵書数 226,852 冊。

- *4月1日、又吉盛清、第5代館長に発令。
 - *4月、図書館コンピュータ機種変更。としよまるの土曜巡回実施、ステーション数27カ所となる。貸出上限の改正(5点→15点。ただし図書10点、雑誌3点、AV2点まで)
- 平成12年
 - *3月、蔵書数202,344冊。
 - *4月1日、石川勉、第6代館長に発令。
 - *4月、図書館ホームページ開設。蔵書検索が可能となる。(公共図書館及び市内学校図書館については、電子メールによる予約受付も可)。としよまる巡回ステーションを1カ所増設(計28カ所)。図書館だよりの全戸配布開始。定例資料整理日を第3火曜日に変更。
- 平成13年
 - *4月、としよまる巡回ステーションを1カ所増設(計29カ所)
 - *5月、浦添市地域イントラネット基盤整備事業により利用者端末機の設置。
- 平成14年
 - *3月、琉球王国評定所文書刊行事業完了記念シンポジウム及び記念講演会。
 - *3月、蔵書数228,103冊。
 - *4月1日、親富祖善吉、第7代館長に発令。
 - *4月、としよまる巡回ステーションを1カ所増設(計30カ所)
 - *12月、『琉球王国評定所文書』全19巻が第23回沖縄タイムス出版文化賞(特別賞)受賞。
- 平成15年
 - *3月、蔵書数239,464冊。
 - *4月1日、金城敏雄、第8代館長に発令。
- 平成16年
 - *3月、蔵書数234,698冊。
 - *9月、アメリカ情報コーナー開設。
- 平成17年
 - *1月、利用者用インターネット開設。
 - *3月、蔵書数239,133冊。
 - *3月、2代目「移動図書館・としよまる」出発式。
 - *4月1日、坂名城英介、第9代館長に発令。館長が非常勤になる。
- 平成18年
 - *3月、蔵書数245,260冊。
 - *3月、津波清、第10代館長に発令。
 - *4月、定例資料整理日を毎月末の平日に変更。(7、8月、蔵書点検月を除く)
 - *4月3日、開館・閉館時間や開館日時が変更となる。
(旧 平日:午前10時～午後7時、土日:午前10時～午後5時)
(新 平日、土日:午前9時30分～午後7時)
 - *9月、ブックスタートアドバイス事業開始。
- 平成19年
 - *3月、蔵書数250,445冊。
 - *4月1日、としよまるステーション1カ所増設。(計31カ所)
 - *4月1日、浦添市移民史編集刊行事業スタート。
 - *7月、図書館ボランティア実施。
- 平成20年
 - *3月、蔵書数259,429冊。
 - *5月1日、新コンピュータシステム稼動。
市内学校図書館と連携した資料検索が可能となる。
 - *5月31日、エントランスホール入り口にICゲート設置。
 - *10月29日、コンピュータシステムリニューアル後、入館者数10万人達成。
- 平成21年
 - *3月、蔵書数264,018冊。
 - *4月1日、としよまるステーション1カ所増設。(計32カ所)
 - *4月23日、「子どもの読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰」受賞。
 - *11月7日、YA文芸賞受賞者表彰式及び読書講演会開催。(第1回)

- 平成 22 年 *3 月、蔵書数 276,007 冊。
*11 月 23 日、YA 文芸賞受賞者表彰式及び読書講演会開催。(第 2 回)
- 平成 23 年 *3 月、「かたりの部屋」「授乳室」完成。
*3 月、蔵書数 268,026 冊。
*3 月、としょまるステーション 1 ヲ所増設。(計 33 ヲ所)
*4 月 1 日、浦添の歴史文化整備保存事業スタート。(沖縄振興特別推進交付金)
*9 月 30 日、『浦添市移民史 ビジュアル版その 1 海外移民編』刊行。
*10 月 1 日、名護正輝、第 11 代館長に発令。
*11 月 23 日、YA 文芸賞受賞者表彰式及び読書講演会開催。(第 3 回)
- 平成 24 年 *2 月 7 日、JICA 沖縄国際センターと連携協力に関する協定を締結。
*3 月、蔵書数 295,320 冊。
*3 月、としょまるステーション 1 ヲ所増設・1 ヲ所減。(計 34 ヲ所)
*11 月 23 日、YA 文芸賞受賞者表彰式及び読書講演会開催。(第 4 回)
- 平成 25 年 *3 月、蔵書数 303,711 冊。
*3 月 29 日、『浦添市移民史 ビジュアル版その 2 アジア太平洋・国内編』刊行。
*4 月 1 日、雑誌スポンサー制度導入。(10 事業所でスタート)
*6 月 1 日、仲西正勝、第 12 代館長に発令。
*7 月 31 日、コンピュータシステムリニューアル後の入館者数 100 万人達成。
*11 月 23 日、YA 文芸賞受賞者表彰式及び読書講演会開催。(第 5 回)
- 平成 26 年 *3 月、蔵書数 303,375 冊。
*3 月 18 日、『浦添市移民史 証言・資料編』刊行。(沖縄振興特別推進交付金)
*3 月 28 日、空調設備改修工事完了。
[再編交付金 3,444,000 円(設計)・調整交付金 42,748,000 円:(工事)]
*9 月 14 日、アメリカ情報コーナー開設 10 周年式典開催。
*11 月 23 日、YA 文芸賞受賞者表彰式及び読書講演会開催。(第 6 回)
- 平成 27 年 *3 月、蔵書数 309,597 冊。
*3 月 17 日、『浦添市移民史 本編』刊行。(沖縄振興特別推進交付金)
*3 月 26 日、第 2 閉架書庫増築工事完了。
[調整交付金 3,570,000 円(設計)・再編交付金 49,582,000 円:(工事)]
*4 月 23 日、開館 30 周年。
*6 月～7 月、図書館リニューアル。(第 2 閉架書庫増築、コンピュータシステム
入替に伴い図書館内蔵書の再配置及びレイアウト変更を実施)
*7 月 16 日、リニューアルオープン。
*7 月 16 日、自動貸出機稼働。
*11 月 3 日、YA 文芸賞受賞者表彰式及び読書講演会開催。(第 7 回)
- 平成 28 年 *1 月 12 日、照明設備改修工事完了。
[再編交付金 7,375,000 円:(監理委託・改修工事)]
*3 月、蔵書数 305,539 冊。
*4 月 1 日、平良美恵、第 13 代館長に発令。
*4 月 1 日、移動図書館従事職員派遣業務開始。
*9 月 9 日、アメリカ情報コーナー 無料公衆無線 LAN(wifi)設置及び運用開始
*11 月 3 日、YA 文芸賞受賞者表彰式及び読書講演会開催。(第 8 回)
- 平成 29 年 *3 月、蔵書数 310,281 冊。

●施設の概要

- ◇所在地等 〒901-2114 沖縄県浦添市安波茶二丁目2番1号
 TEL 098-876-4946 FAX 098-875-1772
 E-mail : tosyokan@city.urasoe.lg.jp
- ◇敷地面積 3,845.00 m²
 ◇延床面積 3,036.58 m² (現況)
 ◇構造 鉄筋コンクリート造、地下1階、地上2階建 (一部塔屋階あり)
 ◇総工費 491,500 千円 (当初)
 ◇施工 昭和59年12月29日
 ◇図書収容力 開館当初 約30万冊 (うち閉架 約10万冊)
 現在 約36万9千冊 (うち閉架 約17万8千冊)

1階	1,783.62 m ²
一般貸出室	497.28 m ²
児童室	260.82 m ²
多文化コーナー	103.56 m ²
雑誌・新聞コーナー	63.02 m ²
AVコーナー	6.60 m ²
エントランスホール	121.39 m ²
おはなしコーナー	65.13 m ²
かたりの部屋	37.16 m ² (H22 増築)
授乳室	37.16 m ² (H22 増築)
2階	995.12 m ²
視聴覚室	107.96 m ²
沖縄学研究室	165.65 m ²
学習室	46.77 m ²
検収室	57.74 m ²
事務室	78.30 m ²
地下	188.71 m ²
塔屋階	69.13 m ²

○平成22年度 施工

- パーゴラ 正面玄関 長さ46.8m × 高さ3.0m
 // 南側 長さ14.0m × 高さ3.0m

○平成26年度 増築

- 第2閉架 1・2階 229.50 m²

●運営方針及び努力目標と平成29年度重点目標

(1)運営方針

浦添市立図書館は、図書及びその他の資料の収集・整理・保存に努め、その利用促進を図り、市民の教養、調査研究、レクリエーション活動を援助し、生涯学習及び課題解決を支援し、市の教育・文化振興の拠点となる図書館を目指す。併せて、多様化・高度化する市民のニーズや社会の変化に伴う新たな要請へ対応できるように努める。

(2)努力目標

1. 市民の知的要求に応えるよう、幅広く資料を収集し、提供する。
2. レファレンス・サービスの充実・高度化、レフェラル・サービスの充実に努める。
3. 利用者本位の図書館を目指す。
4. 浦添市に関する全ての資料を収集する。また、市の地域的・歴史的特性を踏まえ沖縄学研究の拠点とする。
5. 利用者に応じたサービスの充実を図る。
(乳幼児、児童・少年、成人、高齢者、障がい者、地域に在留する外国人等)
6. 市民の自主的・自発的な学習活動を援助するため、講演会、講座、映写会等多様な学習機会の提供に努める。
7. 移動図書館「としまる」による市内の全域サービスに努める。
8. 読書運動の普及推進に努める。
9. 学校への図書集配サービスの利用促進を図るため、学校側との連携強化に努める。
10. 図書館協議会等により、利用者の声を反映するようにする。
11. 他関係機関との連携を密にし、相互協力体制をつくる。
12. 広報及び情報公開を図る。
13. 図書館事業評価の向上に努める。
14. 在沖米国総領事館及びJICA沖縄との連携を強化し、各関連事業の強化、充実を図る。

(3)平成29年度重点目標

1. 利用登録者の目標を65,000人とする。(29年4月1日現在:64,004人)
2. 平成24年12月から施行された「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」を踏まえ、平成29年度から5年間の新たな「浦添市立図書館サービス計画」に基づき、更なる図書館サービスの推進及び内容の充実を図る。
3. 「うらそえ YA 文芸賞」及び読書講演会の継続実施により、特にYA(ヤングアダルト)世代の読書意欲を高めると共に、図書館の利用拡大に努める。
4. 資料購入予算の効率的執行、雑誌スポンサー制度の拡大等により、各年代層の要望に応えられるよう資料の内容充実を図る。
5. 移動図書館「としまる」の市内全域サービスの内容を豊かなものにし、「としまる」利用者の増加を図る。
6. 浦添市シルバー人材センターから派遣された職員による移動図書館「としまる」の更なる円滑な業務運営を図る。
7. 館内広報、ホームページの充実・強化、マスコミ対応等により図書館広報の充実・強化を図る。
8. 図書館ボランティア制度の拡充及び円滑な運営を図る。

●組織運営図と事務分掌

平成29年4月1日現在



計 25 名

管理係

- (1) 館全体の施設管理（防火管理を含む）
- (2) 施設・設備の維持管理（営繕等）
- (3) 予算・決算
- (4) 文書の收受、発送及び保存
- (5) 各種契約（警備・消防設備等）
- (6) 管理係の調査統計及び館の統括
- (7) 図書館報の発行
- (8) 図書館協議会の運営
- (9) 視聴覚ライブラリーの管理

奉仕係

- (1) 資料の収集、整理、保存、修理、廃棄、資料の貸出・返却
- (2) 予約・リクエストサービス、督促
- (3) 読書案内・読書講演会の企画・実施
- (4) 時宜に応じた情報及び参考資料の紹介ならびに提供
- (5) おはなし会等の行事の企画・実施
- (6) レファレンス・レフェラルサービス
- (7) 業務体験・施設見学受入
- (8) 図書集配サービス
- (9) 蔵書点検
- (10) 新聞クリッピング
- (11) 相互貸借
- (12) 図書館関係機関ならびに市内学校図書館との連携・協力
- (13) 図書館コンピュータシステムに関すること
- (14) 寄贈資料の受入
- (15) 移動図書館としよまるの巡回及び車両管理
- (16) 奉仕係業務の統計・調査に関すること
- (17) 多文化サービスに関すること
- (18) 図書館ボランティアに関すること
- (19) 読書団体との連絡、協力団体活動の促進
- (20) 地域図書館活動に対する援助
- (21) 『浦添市史』、『琉球王国評定所文書』及び『浦添市移民史』の成果普及・活用
- (22) 沖縄学関係資料の収集・活用
- (23) 中国及びアジア関係資料の収集・活用
- (24) 県内外の地域史等機関・団体との連携に関すること
- (25) 沖縄学講座に関すること
- (26) 沖縄学関係レファレンス
- (27) 地域資料（浦添・沖縄）活用事業に関すること
- (28) 歴史資料（古文書・行政文書）の収集と保存活用に関すること

●平成29年度浦添市立図書館当初歳出予算

(単位:千円)

予 算 科 目	当初予算額	内 容 説 明
図書館事務費	1,656	
職員手当等	1,656	正職員時間外勤務手当(8人)
図書館運営事業	57,487	
報酬	23,155	館長(1人)、協議会委員(7人)、活動業務嘱託員(11人)
共済費	3,949	報酬及び賃金に係る社会保険料
賃金	5,279	臨時職員(3人)
報償費	238	講演会、講座 講師謝礼金、文芸賞審査謝礼金、記念品代
旅費	1,690	費用弁償(館長、活動業務嘱託員、協議会委員)
需用費	1,425	消耗品、印刷製本費
役務費	2,040	通信運搬費、移動図書館従事職員派遣手数料
委託料	1,445	図書集配委託料、コンピュータマーク作成委託料
使用料及び賃借料	10,109	コンピュータ賃借料
備品購入費	8,075	図書購入費
負担金、補助及び交付金	82	各種協会負担金及び分担金
図書館管理事業	21,409	
需用費	8,858	消耗品費、燃料費、光熱水費、施設修繕料、修繕料
役務費	1,009	通信運搬費、手数料、火災、自動車損害保険料
委託料	11,334	電気工作物、エレベーター、消防設備、清掃業務 警備業務、高架水槽清掃、環境衛生業務 電話設備保守点検
使用料及び賃借料	192	複写機賃借料、トイレ衛生維持用品賃借料
負担金、補助及び交付金	7	防火管理者講習会負担金
公課費	9	自動車重量税
地域資料(浦添・沖縄)活用事業	5,936	
報酬	3,840	沖縄学研究室嘱託員(2人)
共済費	578	報酬に係る社会保険料(2人)
報償費	58	沖縄学講座講師謝礼金
旅費	286	費用弁償(沖縄学研究室嘱託員)
需用費	132	消耗品費・修繕料
役務費	103	通信運搬費
備品購入費	925	図書購入費
負担金、補助及び交付金	14	各種協会負担金
合 計	86,488	

2. 統計

●浦添市立図書館刊行物一覧

浦添市立図書館では、市民の図書館利用及び図書館活動の推進のため、種々の行事を実施し、平成28年度は以下のような刊行物を発行しました。

刊行物名称	内 容	サイズ・ページ数	発行回数
浦添市立図書館報 第33号	事業内容・活動状況の報告及び統計(年報)	A4・108p	年1回
浦添市立図書館利用案内	利用案内	A3(3つ折)	年1回
浦添市立図書館行事案内・年間カレンダー	行事案内・カレンダー	A3(3つ折)	年1回
浦添市立図書館ミニカレンダー	カレンダー	A6(2つ折)	年2回
移動図書館としよまる巡回表	巡回案内表	A3(3つ折)	年1回
蔵書点検および年末年始における休館のお知らせ	案内チラシ	A7	年1回
はながわら	浦添市立図書館だより	A4	月1回
平成28年度 子ども読書週間のご案内	行事案内ポスター	A3・B4	年1回
夏休み行事 (一日図書館員・としよかんたんけん隊子ども映画会、としよまるおはなし会他)	行事案内チラシ 行事案内ポスター	A3・A4	年1回
YA!YA!YA!(ヤーヤーヤー)	YA通信	A3	不定期
2016うらそえYA文芸賞作品大募集	応募チラシ 案内ポスター	A3・A4	年1回
平成28年度浦添市立図書館 読書講演会 ご案内	案内チラシ 案内ポスター 読書講演会プログラム	A3(2つ折)・A5	年1回
2016うらそえYA文芸賞 受賞作品集	うらそえYA文芸賞 作品集	A5・56p	年1回
アメリカ情報コーナー行事 (留学説明会、英語多読、なつかしの映画会、アメリカ映画上映会)	行事案内チラシ	A3・A4	随時
沖縄学講座	講座案内チラシ 講座案内ポスター	A4 A3	年1回
まなびフェスタ浦添2017	行事案内チラシ	A4	年1回
まなびフェスタ浦添2017 おはなしのたから箱 スペシャル「沖縄・浦添の民話を語る」	案内チラシ 案内ポスター	A5 A3	
浦添市立図書館ボランティア募集	募集案内チラシ	A4	年1回
雑誌スポンサー制度	募集案内チラシ	A4	年1回

●地区別利用登録者状況

(各年度3月末現在)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
仲 間	2,214	2,320	2,167	2,274	2,350	2,416	2,508
安波茶	2,448	2,558	2,391	2,493	2,553	2,631	2,751
伊 祖	3,982	4,189	3,964	4,098	4,245	4,386	4,544
牧 港	3,681	3,829	3,629	3,815	3,960	4,089	4,208
港 川	3,238	3,415	3,321	3,499	3,616	3,732	3,870
城 間	4,399	4,651	4,463	4,723	4,924	5,095	5,295
屋富祖	1,953	2,061	1,929	2,043	2,119	2,171	2,237
宮 城	5,266	5,532	5,264	5,537	5,780	5,972	6,163
仲 西	1,549	1,614	1,572	1,655	1,710	1,760	1,828
小 湾	1	1	1	1	1	1	1
勢理客	1,531	1,600	1,482	1,567	1,651	1,713	1,792
内 間	3,958	4,098	4,040	4,264	4,433	4,545	4,713
沢 岷	2,069	2,163	2,072	2,194	2,278	2,337	2,418
経 塚	2,077	2,177	2,052	2,197	2,337	2,435	2,538
前 田	4,095	4,272	4,015	4,172	4,306	4,427	4,542
西 原	3,974	4,222	4,057	4,393	4,667	4,853	5,003
当 山	1,240	1,322	1,279	1,403	1,491	1,542	1,636
大 平	2,597	3,707	2,572	2,652	2,722	2,790	2,878
西 洲	2	2	1	1	1	1	0
基地内	35	41	44	47	54	62	65
伊奈武瀬	0	0	0	0	1	1	1
市 計	50,309	53,774	50,315	53,028	55,199	56,959	58,991
市外計	3,907	4,208	4,026	4,188	4,296	4,440	4,733
その他	254	261	239	249	250	616	280
合 計	54,470	58,243	54,580	57,465	59,745	62,015	64,004

※「地区別」とは自治会による区分ではなく、住居表示上の区分によるものである。

※「地区別利用登録者状況」のその他は国外・県外・県内の離島・本部町・金武町・今帰仁村・東村・恩納村・宜野座村・大宜味村を指す。

●月別利用統計【平成28年度】

(本館)

月	開館日数	貸出冊数										返却冊数	貸出人数
		一般	児童	沖縄学	YA	郷土一般	郷土児童	AV	雑誌	その他	合計		
4	24	13,421	10,449	24	1,250	769	187	757	1,112	267	28,236	27,754	6,269
5	23	13,674	11,290	30	1,134	797	288	761	1,259	267	29,500	27,580	6,464
6	24	13,487	11,815	45	1,121	851	354	726	1,349	313	30,061	28,304	6,709
7	27	14,639	14,870	27	1,652	885	466	767	1,333	339	34,978	32,042	7,705
8	25	14,156	14,446	35	1,507	1,159	505	707	1,175	299	33,989	32,587	7,674
9	24	13,552	11,273	18	1,093	744	233	697	1,151	204	28,965	29,109	6,309
10	25	14,333	12,269	23	1,170	802	247	657	1,351	250	31,102	29,666	6,641
11	24	13,035	10,765	20	989	669	188	569	1,234	177	27,646	27,558	6,153
12	22	12,130	9,001	74	931	651	161	676	921	271	24,816	24,338	5,599
1	23	14,159	10,905	31	1,274	742	267	607	1,221	367	29,573	26,984	6,381
2	14	11,251	9,078	8	978	517	169	510	932	270	23,713	22,586	4,841
3	25	13,903	10,715	19	1,372	758	108	700	1,126	286	28,987	29,169	6,682
合計	280	161,740	136,876	354	14,471	9,344	3,173	8,134	14,164	3,310	351,566	337,677	77,427
日平均		578	489	1	52	33	11	29	51	12	1,256	1,206	277
月平均		13,478	11,406	30	1,206	779	264	678	1,180	276	29,297	28,140	6,452
利用率(%)		46.0%	38.9%	0.1%	4.1%	2.7%	0.9%	2.3%	4.0%	0.9%	100.0%		

(移動図書館)

月	開館日数	貸出冊数										返却冊数	貸出人数
		一般	児童	沖縄学	YA	郷土一般	郷土児童	AV	雑誌	その他	合計		
4	24	719	1,225	0	40	50	23	36	160	2	2,255	1,916	446
5	23	824	1,329	0	77	50	24	50	158	0	2,512	2,175	496
6	22	806	1,570	0	87	58	31	56	146	2	2,756	2,648	585
7	24	801	1,472	0	81	53	27	60	153	3	2,650	2,731	526
8	20	626	631	2	47	50	23	47	83	0	1,509	1,498	291
9	22	602	1,299	0	91	47	18	46	100	0	2,203	2,022	503
10	22	798	1,616	0	82	55	27	47	128	0	2,753	2,455	555
11	20	690	1,587	3	86	57	39	52	134	1	2,649	2,606	563
12	20	728	1,476	2	80	62	22	68	143	1	2,582	2,640	509
1	21	595	1,400	1	62	48	16	55	115	0	2,292	2,165	458
2	13	429	781	0	40	31	9	44	59	0	1,393	1,356	271
3	23	630	1,334	0	57	40	15	35	121	1	2,233	2,046	438
合計	254	8,248	15,720	8	830	601	274	596	1,500	10	27,787	26,258	5,641
日平均		32	62	0	3	2	1	2	6	0	109	103	22
月平均		687	1,310	1	69	50	23	50	125	1	2,316	2,188	470
利用率(%)		29.7%	56.6%	0.0%	3.0%	2.2%	1.0%	2.1%	5.4%	0.0%	100.0%		

(全館)

月	開館日数	貸出冊数										返却冊数	貸出人数
		一般	児童	沖縄学	YA	郷土一般	郷土児童	AV	雑誌	その他	合計		
4	24	14,140	11,674	24	1,290	819	210	793	1,272	269	30,491	29,670	6,715
5	23	14,498	12,619	30	1,211	847	312	811	1,417	267	32,012	29,755	6,960
6	24	14,293	13,385	45	1,208	909	385	782	1,495	315	32,817	30,952	7,294
7	27	15,440	16,342	27	1,733	938	493	827	1,486	342	37,628	34,773	8,231
8	25	14,782	15,077	37	1,554	1,209	528	754	1,258	299	35,498	34,085	7,965
9	24	14,154	12,572	18	1,184	791	251	743	1,251	204	31,168	31,131	6,812
10	25	15,131	13,885	23	1,252	857	274	704	1,479	250	33,855	32,121	7,196
11	24	13,725	12,352	23	1,075	726	227	621	1,368	178	30,295	30,164	6,716
12	22	12,858	10,477	76	1,011	713	183	744	1,064	272	27,398	26,978	6,108
1	23	14,754	12,305	32	1,336	790	283	662	1,336	367	31,865	29,149	6,839
2	14	11,680	9,859	8	1,018	548	178	554	991	270	25,106	23,942	5,112
3	25	14,533	12,049	19	1,429	798	123	735	1,247	287	31,220	31,215	7,120
合計	280	169,988	152,596	362	15,301	9,945	3,447	8,730	15,664	3,320	379,353	363,935	83,068
日平均		607	545	1	55	36	12	31	56	12	1,355	1,300	297
月平均		14,166	12,716	30	1,275	829	287	728	1,305	277	31,613	30,328	6,922
利用率(%)		44.8%	40.2%	0.1%	4.0%	2.6%	0.9%	2.3%	4.1%	0.9%	100.0%		

●蔵書回転率(貸出冊数÷貸出できる蔵書冊数)

年度	貸出冊数			蔵書冊数			回転率		
	一般	児童	計	一般	児童	計	一般	児童	計
21年度	192,929	143,301	336,230	133,435	48,061	181,496	1.45	2.98	1.85
22年度	200,130	145,625	345,755	138,006	53,519	191,525	1.45	2.72	1.81
23年度	206,913	169,073	375,986	136,449	56,912	193,361	1.52	2.97	1.94
24年度	191,230	170,858	362,088	148,666	59,254	207,920	1.29	2.88	1.74
25年度	192,421	162,814	355,235	151,011	58,098	209,109	1.27	2.80	1.70
26年度	183,614	146,982	330,596	153,473	59,044	212,517	1.20	2.49	1.56
27年度	176,500	145,447	321,947	153,711	57,391	211,102	1.15	2.53	1.53
28年度	169,988	152,596	322,584	155,974	58,069	214,043	1.09	2.63	1.51

●人口1人当たりの貸出冊数

年度	人口1人当たりの貸出冊数
21年度	426,666冊 ÷ 110,894人 = 3.9冊
22年度	437,668冊 ÷ 111,145人 = 4.0冊
23年度	466,623冊 ÷ 112,413人 = 4.2冊
24年度	445,603冊 ÷ 113,752人 = 4.0冊
25年度	430,830冊 ÷ 113,893人 = 3.8冊
26年度	397,893冊 ÷ 113,974人 = 3.5冊
27年度	383,212冊 ÷ 113,580人 = 3.4冊
28年度	379,353冊 ÷ 113,578人 = 3.4冊

●団体利用統計(月別利用統計合計のうち)

年度	登録件数	利用回数	貸出冊数
21年度	139	717	4,569
22年度	156	769	4,868
23年度	182	720	5,191
24年度	198	1,035	7,265
25年度	214	1,019	7,403
26年度	221	973	7,142
27年度	233	836	7,173
28年度	210	848	8,086

●レファレンス及びコピーサービス【平成 28 年度】

レファレンス(参考業務)

情報を求めている個々の利用者に対して資料を提供するために、一般貸出室および沖縄学研究室には参考図書や郷土資料が揃っており、市民の生活の中から湧き起こる疑問や問題の解決、調査研究等のために、日々多くの方に利用されている。

[レファレンス件数及び質問方法] ※蔵書検索も含んだ件数

相 談 件 数 (件)		内 訳 (件)			
		口 頭	電 話	文 書	学 校
一 般	12,299	8,718	443	9	3,129
郷土・沖縄学	3,759	3,369	105	34	251

【レファレンス事例】

(1) 一般関係

- 1 細川碧という音楽家について書かれている資料はないか。
- 2 モモタマナ（桃玉名）が国語辞典に載っているか。また出版年を知りたい。
- 3 『黄塵と珊瑚礁』の巻末の折り込みページについて確認したい。

(2) 郷土関係

- 1 尚寧王妃と浦添ようどれについて教えてほしい。
- 2 琉球王朝時代のお菓子について知りたい。
- 3 宮古島南静園に当時の皇太后が訪問したらしいが、それはいつのことか。
- 4 戦後沖縄のスクラップブームについて知りたい。

【コピーサービス】

著作権法（昭和 45 年 5 月 6 日法律第 48 号）第 31 条に規定された範囲内で、図書館の資料に限りコピーサービスを実施する。その際利用者は「コピーサービス申込書」に記入しなければならない。平成 28 年度の利用状況は右表のとおりであり、コピーサービスの 1 日（開館日）当たりの利用は約 47 枚である。

- ・白黒コピー 10 円
- ・カラーコピー 50 円（B4 サイズまで）
80 円（A3 サイズ）

月	コピー枚数
平成 28 年 4 月	979
5 月	1,046
6 月	1,173
7 月	1,120
8 月	1,703
9 月	953
10 月	1,001
11 月	1,067
12 月	1,186
平成 29 年 1 月	1,144
2 月	620
3 月	1,133
合 計	13,125

●予約・リクエストサービス

利用者からの予約及びリクエストについては、可能な限り収集し、提供するよう努めている。
図書館に所蔵がない本の場合は購入、又は県内外の公共図書館との相互貸借により提供する

予約・リクエストの受付および処理状況【平成28年度】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
受付件数		1,151	1,505	1,433	1,503	1,247	1,538	1,448	1,513	1,320	1,800	1,316	1,690	17,464
提供 (冊)	所蔵	1,057	1,436	1,293	1,427	1,180	1,499	1,367	1,431	1,222	1,729	1,236	1,589	16,466
	購入	31	18	71	22	11	16	36	29	41	40	35	58	408
	相互貸借	22	20	37	15	4	5	9	15	20	11	28	28	214
未提供 (冊)	絶版/品切	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	41	31	32	39	52	18	36	38	37	20	17	15	376

※「その他」とは予約・リクエスト受付後、利用者によるキャンセル、取置期限を過ぎ予約解除となったケースや、当館がお断りをしたもの。

●相互貸借

未所蔵の資料でリクエストを受けたが購入できなかった(絶版・品切れ等)ものに関しては、他の図書館から借用して提供する。また、他の図書館からの依頼に応じて、貸出をしている。

【平成28年度】

図書館名	借受冊数	貸出冊数	図書館名	借受冊数	貸出冊数
沖縄県立図書館	41	84	福岡県 古賀市立図書館	3	0
名護市立中央図書館	26	14	福岡県 福岡大学図書館	1	0
うるま市立中央図書館	3	30	福岡県 福岡市総合図書館	2	0
沖縄市立図書館	9	30	福岡県 柳川市立図書館	1	0
宜野湾市民図書館	31	50	福岡県 福岡県立図書館	2	0
那覇市立中央図書館	89	22	福岡県 大宰府市民図書館	2	0
豊見城市立中央図書館	7	25	福岡県 行橋市立図書館	2	0
うるま市立石川図書館	0	1	福岡県 粕谷町立図書館	0	0
うるま市立勝連図書館	0	4	福岡県 中間市民図書館	0	0
南城市立図書館玉城分館	0	4	福岡県 志免町立町民図書館	0	0
南城市立図書館大里分館	0	28	福岡県 うきは市立図書館	0	0
南城市立知念図書館	0	4	大分県 大分県立図書館	2	0
南城市立図書館佐敷分館	0	2	鹿児島県 鹿児島国際大学附属図書館	1	0
恩納村文化情報センター	7	1	鹿児島県 南九州市立川辺図書館	0	0
八重瀬町中央公民館図書館	0	1	佐賀県 佐賀県立図書館	3	0
糸満市立中央図書館	5	5	長崎県 長崎市立図書館	0	0
宮古島市立平良図書館	0	8	長崎県 長崎大学附属図書館	1	0
石垣市立図書館	2	22	長崎県 長崎県立図書館	1	0
金武町立図書館	3	8	高知県 高知県立図書館	1	0
嘉手納町立図書館	1	23	山口県 山口大学図書館	1	0
北谷町立図書館	4	10	岡山県 総社市図書館	0	0
西原町立図書館	3	33	鳥取県 鳥取大学附属図書館	1	0
与那原町立図書館	3	20	和歌山県 和歌山県立図書館	1	0
中城村護佐丸歴史資料図書館	0	0	香川県 香川県立図書館	1	0
読谷村立図書館	1	34	広島県 広島大学西図書館	1	0
北中城村あやかりの杜図書館	8	11	岐阜県 岐阜大学図書館	2	0
南風原町立図書館	1	6	岐阜県 大垣市立図書館	0	0
本部町立図書館	0	1	徳島県 徳島県立図書館	1	0
琉球大学附属図書館	3	2	愛知県 名古屋市鶴舞中央図書館	1	0
沖縄国際大学図書館	0	0	埼玉県 さいたま市与野図書館	2	0
宜野座村文化センター図書館	2	1	埼玉県 埼玉県立熊谷図書館	0	0
福岡県 久留米市立図書館	1	0	東京都 小平市立中央図書館	0	0
福岡県 北九州市立図書館	3	0	北海道 札幌市中央図書館	0	0
合 計				286	484

●図書館ボランティア活動状況【平成28年度】

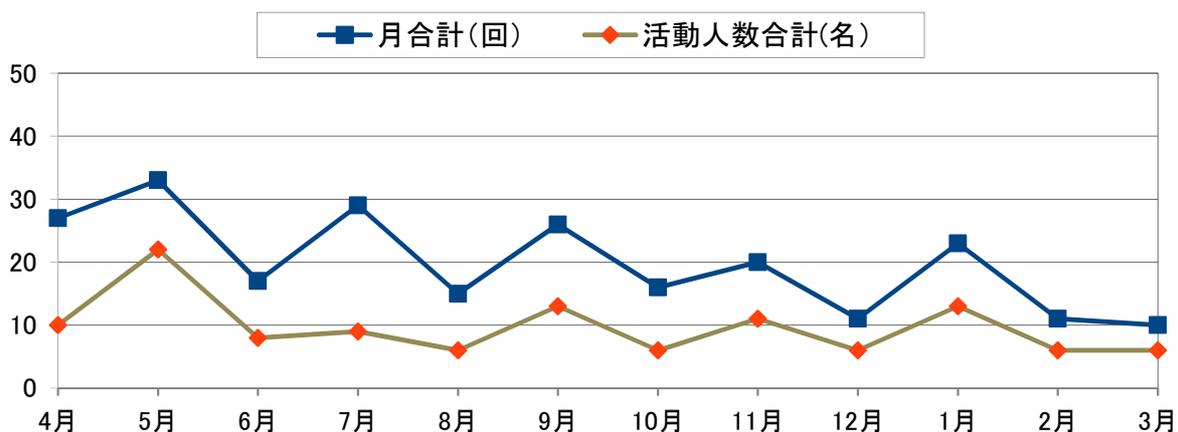
(目的)

浦添市立図書館におけるボランティア活動を積極的に受け入れ生涯学習の活動の場を提供することで、図書館業務の理解と協力を得て、図書館サービスの拡大と市民から親しみの持てる図書館づくりに寄与することを目的とする。

(活動内容)

活動内容は次に掲げるものとする。ただし、選書・除籍等の図書館の方針にかかる業務、個人情報に接する業務及びその他責任過重となる業務にかかる活動をさせてはならないものとする。

- (1) 書架整理に関すること
- (2) 本の修理・装備に関すること
- (3) おはなし会に関すること
- (4) 緑化活動等環境整備に関すること
- (5) その他、活動の活性化に資すると認められる活動で、館長が定めるもの



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月合計(回)	27	33	17	29	15	26	16	20	11	23	11	10	238
活動人数合計(名)	10	22	8	9	6	13	6	11	6	13	6	6	116
登録人数(名)	27	35	35	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36

《年度比較》

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
月合計(回)	204	258	287	238
活動人数合計(名)	103	130	147	116
登録人数(名)	21	30	44	36



●施設見学受入状況

主に幼稚園・小学生を対象に図書館の中を見学することで図書館への関心を高め、図書館の利用及び読書活動の推進を図ることを目的として受入・実施している。

受入状況は次のとおりである。

(単位：件)

年 度	保育園	幼稚園	小学校	中学校	高校	大学	特別支援学校	その他	合 計
平成 22 年度	2	3	4	0	0	0	1	3	13
平成 23 年度	1	4	6	0	0	0	1	2	14
平成 24 年度	0	5	7	1	0	1	1	2	17
平成 25 年度	1	2	5	0	0	0	0	0	8
平成 26 年度	1	1	6	0	0	0	0	1	9
平成 27 年度	0	3	6	0	0	0	0	1	10
平成 28 年度	0	1	4	0	0	0	1	0	6
合 計	5	19	38	1	0	1	4	9	77

見学者一覧（平成 28 年度）

	日 時	団体名	人 数	内 容
1	6 月 29 日(水)	神森小学校	110 人	施設見学
2	7 月 5 日(火)	内間小学校	96 人	〃
3	9 月 2 日(金)	牧港小学校	81 人	〃
4	10 月 14 日(金)	宮城小学校	137 人	〃
5	10 月 21 日(火)	浦添幼稚園	71 人	〃
6	1 月 20 日(金)	前田小学校（特別支援学校）	14 人	〃
	合 計	6 団体	509 人	

●業務体験受入状況

夏休み・秋休みの行事としての一泊図書館員や、中学・高校生の職場体験・インターンシップなど職業教育の一環として業務体験させ、司書という職業の実際を理解してもらうことを目的として受入・実施している。

受入状況は次のとおりである。

単位：件（人）

年 度	一日 図書館員	小学生	中学生	高校生	大学生・専門学生		
		職場体験	職場体験	インターンシップ (就業体験)	図書館 実習	社会教育 実習	インターン シップ
平成 22 年度	1(4)	0	5(16)	4(8)	0	0	0
平成 23 年度	1(4)	0	5(10)	3(5)	0	1(3)	3(7)
平成 24 年度	1(4)	0	4(7)	4(7)	0	1(1)	1(1)
平成 25 年度	2(9)	0	4(7)	3(5)	0	1(3)	0
平成 26 年度	2(8)	0	3(6)	3(6)	0	2(8)	0
平成 27 年度	2(8)	0	3(8)	3(6)	0	1(3)	0
平成 28 年度	1(4)	0	5(11)	7(14)	0	1(2)	0
合 計	10(41)	0	29(65)	27(51)	0	7(20)	4(8)

●ステーション別利用統計【平成28年度】

貸出ステーション		巡回 回数	貸出冊数									平均冊 ／月	冊数／冊数合計 全対比%	返却冊数
No.	ステーション名		一般書	児童書	Y・A	一般郷土	児童郷土	A・V	雑誌	その他	合計			
1	安川団地	25	187	541	18	7	6	17	59	0	835	70	3.0%	902
2	当山小学校	23	130	2,172	77	23	13	8	43	0	2,466	206	8.9%	2,059
3	西原児童センター	23	166	632	19	23	6	41	41	0	928	77	3.4%	943
4	浦西団地	25	1,542	969	103	82	24	66	195	1	2,982	249	10.8%	2,754
5	神森小学校	22	63	391	8	4	4	1	13	0	484	40	1.8%	440
6	前田自治会館	22	156	280	10	6	7	12	25	0	496	41	1.8%	484
7	県営港川団地	23	137	78	6	3	4	4	15	0	247	21	0.9%	249
8	県営経塚団地	22	167	36	5	33	5	16	20	0	282	24	1.0%	289
9	沢岬自治会館	23	325	635	26	54	17	34	124	0	1,215	101	4.4%	1,164
10	内間公民館	25	227	373	21	16	6	10	67	4	724	60	2.6%	716
11	丸大スーパー勢理客店	23	859	639	41	29	12	17	94	0	1,691	141	6.1%	1,632
12	サン・アビリティーズうらそえ	22	489	189	34	18	8	14	60	0	812	68	2.9%	773
13	県営神森団地	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0
14	仲西小学校	22	39	1,220	45	5	14	8	7	0	1,338	112	4.8%	1,342
15	屋富祖公民館	22	437	179	15	35	9	15	53	0	743	62	2.7%	653
16	城間公民館	24	326	327	24	31	10	21	17	1	757	63	2.7%	715
17	ユアサハイム	22	220	184	12	13	3	9	38	0	479	40	1.7%	524
18	港川自治会事務所	24	180	417	22	11	4	1	43	2	680	57	2.5%	692
19	まちなと児童センター	23	296	306	42	29	18	31	12	0	734	61	2.7%	722
20	マチナトタウン	25	149	154	12	9	5	3	100	0	432	36	1.6%	387
21	緑ヶ丘自治会館	24	306	133	10	32	3	39	62	0	585	49	2.1%	609
22	県営城間団地	23	274	428	18	16	3	2	105	1	847	71	3.1%	849
23	崎原自治会	22	92	360	8	1	7	10	42	0	520	43	1.9%	522
24	経塚ゆいまーるセンター	22	128	217	7	6	1	8	17	0	384	32	1.4%	446
25	県営浦添市街地住宅	25	163	171	50	3	3	35	41	0	466	39	1.7%	439
26	仲西公民館	24	138	301	30	38	7	3	35	0	552	46	2.0%	474
27	県営沢岬団地	25	314	160	9	4	3	24	63	0	577	48	2.1%	556
28	内間小学校	23	202	1,391	44	14	28	18	22	3	1,722	144	6.2%	1,512
29	宮城小学校	22	205	2,344	71	27	36	45	60	0	2,788	232	10.1%	2,367
30	鏡が丘特別支援学校本校	11	125	351	26	7	5	25	21	0	560	47	2.0%	668
31	鏡が丘特別支援学校分校	11	46	101	0	6	0	21	3	0	177	15	0.6%	205
32	浦添市産業振興センター・結の街	23	60	24	4	0	0	36	0	0	124	10	0.4%	77
	その他													
	合計	695	8,148	15,703	817	585	271	594	1,497	12	27,627	2,302	100%	26,164

※その他とは利用者よりレファレンスを受け、BM取置きとした資料。

●ステーション別予約・リクエスト統計【平成28年度】

貸出ステーション			予約・リクエスト受付								予約・リクエスト処理						
曜日	コース	ステーション名	一般書	児童書	郷土誌	雑誌	Y・A	A・V	未所蔵	合計	提供	キャンセル	期限切れ	断り	相互貸借	合計	
日曜日	A	9 沢岬自治会館	0	2	0	0	0	0	0	2	7	0	0	0	0	7	
		13 県営神森団地 (建築工事のため運休)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		7 県営港川団地	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		22 県営城間団地	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	1	0	0	0	36
水曜日	B	2 当山小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		19 まちなと児童センター	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
		3 西原児童センター	5	1	1	0	2	0	0	0	9	4	0	0	0	0	4
木曜日	C	29 宮城小学校	1	3	0	0	0	0	0	4	54	0	0	0	0	54	
		23 崎原自治会	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	2
		17 ユアサハイム	6	0	0	2	0	0	0	0	8	26	0	0	0	0	26
金曜日	D	28 内間小学校	6	3	0	0	1	0	0	10	36	2	0	0	0	38	
		11 丸大スーパー勢理客店	3	1	1	0	1	0	0	0	6	34	2	0	0	0	36
		15 屋富祖公民館	3	2	2	0	0	0	0	0	7	5	0	0	0	0	5
土曜日	E	27 県営沢岬団地	2	0	0	0	0	0	0	2	6	0	0	0	0	6	
		10 内間公民館	1	0	0	0	0	0	0	0	1	17	2	2	0	0	21
		26 仲西公民館	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3	7	0	0	0	10
日曜日	F	4 浦西団地	7	1	5	0	0	0	2	15	268	0	4	0	0	272	
		20 マチナトタウン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		25 県営浦添市街地住宅	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	0	3
		1 安川団地	4	0	0	14	0	0	0	5	23	85	3	0	0	0	88
木曜日	G	14 仲西小学校	0	19	0	0	0	0	0	19	9	2	0	0	0	11	
		12 サン・アビリティーズうらそえ	0	0	0	0	0	6	0	0	6	24	1	0	0	0	25
		24 経塚ゆいまるセンター	0	2	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	3
金曜日	H	6 前田自治会館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		8 県営経塚団地	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		5 神森小学校	30	11	0	0	0	0	0	0	41	33	0	0	0	0	33
土曜日	I	18 港川自治会事務所	4	0	0	2	0	0	0	6	10	1	0	0	0	11	
		21 緑ヶ丘自治会館	1	0	0	9	0	1	0	0	11	49	2	0	0	0	51
		16 城間公民館	1	1	0	0	0	0	0	0	2	10	0	0	0	0	10
月曜日	J	30 鏡が丘特別支援学校本校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
		31 鏡が丘特別支援学校分校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
水曜日	K	32 浦添市産業振興センター・結の街	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	25	
合計			76	49	9	27	4	7	7	179	747	25	6	0	0	778	

※各ステーションでの予約・リクエスト受付件数と貸出・キャンセル・相互貸借等提供数を示す。

●資料購入実績【平成28年度】

平成28年3月

No	資料種別	平成28年度 予算	割合 (%)	平成28年度購入予定		平成28年度購入実績	
				平均単価 (円)※	冊(点)数	購入金額	購入 冊(点)数
1	一般書	4,752,000	52.8	1,800	2,640	4,767,141	2,638
2	児童書	1,600,000	17.8	1,600	1,000	1,597,272	989
3	郷土書	785,000	8.7	2,500	314	785,199	295
4	AV資料	104,000	1.2	2,600	40	103,474	43
5	YA	596,000	6.6	1,500	397	595,443	428
6	沖縄学研究室	140,000	1.6	4,000	35	139,376	57
7	雑誌	797,864	7.8	613	1,302	577,299	1,152
	雑誌スポンサー制度	-97,184	-	-	-	109,812	-
8	その他	321,840	-	-	-	321,840	-
備品的資料費		9,000,000	-	-	5,728	8,996,856	5,602
9	新聞	726,000	-	-	-	728,888	22タイトル
消耗品的資料費		726,000	-	-	-	728,888	
資料費総額		9,726,000				9,725,744	

※平均単価・購入予定点数:平成27年度当館購入実績等より算出

※「8その他」は図書装備にかかる諸経費

※「備品的資料費」の割合は四捨五入の都合で合計は100%にならない

●資料購入費割振【平成29年度】

平成29年4月

No	資料種別	平成29年度 予算	割合 (%)	平均単価 (円)※	購入予定 数冊(点)	備考
1	一般書	4,716,000	52.4	1,800	2,620	
2	児童書	1,600,000	17.8	1,600	1,000	
3	郷土書	785,000	8.7	2,500	314	一般郷土・児童郷土
4	AV資料	104,000	1.2	2,600	40	音楽CD・録音図書等
5	YA	660,000	7.3	1,500	440	
6	沖縄学研究室	140,000	1.6	4,000	35	
7	雑誌	780,568	7.5	534	1,463	雑誌(購入分)71タイトル
	雑誌スポンサー制度	-108,316				雑誌スポンサー制度導入13タイトル
8	その他	321,840		-	-	再編交付金事業市負担分を含む
備品的資料費		9,000,000				
9	新聞	728,888	-	-	-	新聞(購入分)21タイトル
消耗品的資料費		729,000				
資料費総額		9,729,000				

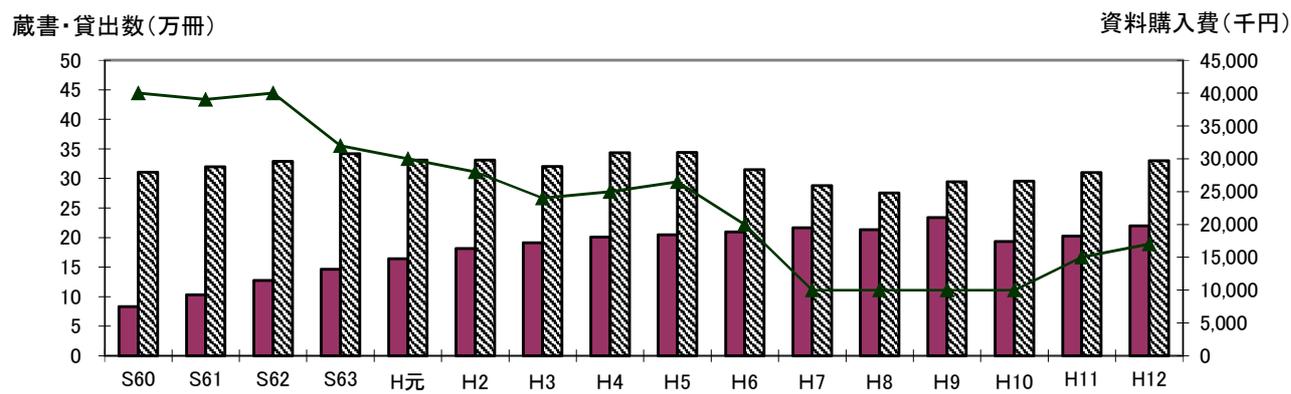
※平均単価・購入予定冊(点)数:平成28年度当館購入実績等より算出

※「8その他」は図書装備にかかる諸経費

※「備品的資料費」の割合は四捨五入の都合で合計は100%にならない

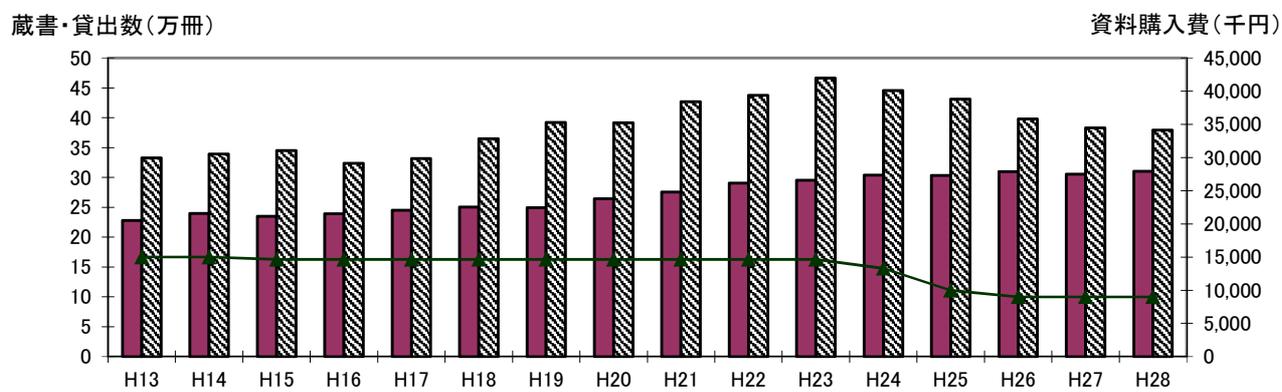
●蔵書数・貸出数・資料購入費等統計

【昭和60年度～平成12年度】



年度	S60	S61	S62	S63	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12
蔵書数(冊)	83,000	103,000	127,600	146,400	164,000	181,400	191,400	200,877	204,442	209,462	216,325	213,321	233,819	193,299	202,344	219,764
貸出数(冊) (個人・団体含む)	310,266	319,775	329,088	342,019	330,870	330,870	320,374	343,237	343,774	314,933	288,019	275,240	294,140	295,540	309,742	330,049
資料購入費 (千円)	40,000	39,035	40,000	32,000	30,000	28,000	24,000	25,000	26,500	20,000	10,000	10,000	10,000	10,000	15,000	17,000
市民1人あたり 冊数	1.00	1.20	1.46	1.66	1.84	2.00	2.08	2.14	2.16	2.18	2.22	2.16	2.23	1.90	1.96	2.11
市民1人あたり 資料購入費(円)	483	455	458	362	337	309	260	267	280	209	103	101	100	98	145	163
人口(人)	82,760	85,732	87,296	88,340	89,047	90,666	92,178	93,779	94,721	95,920	97,500	98,722	100,200	101,591	103,413	104,307

【平成13年度～平成28年度】



年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
蔵書数(冊)	228,103	239,464	234,698	239,133	245,260	250,445	249,532	264,018	275,532	290,575	295,320	303,722	303,375	309,597	305,539	310,281
貸出数(冊) (個人・団体含む)	332,685	339,326	345,061	323,477	331,471	364,968	392,108	391,449	426,698	437,668	466,620	445,603	430,830	397,893	383,212	379,353
資料購入費 (千円)	15,000	15,000	14,650	14,650	14,650	14,650	14,650	14,650	14,650	14,650	14,650	13,295	10,000	9,000	9,000	9,000
市民1人あたり 冊数	2.18	2.27	2.21	2.23	2.27	2.30	2.28	2.39	2.48	2.61	2.64	2.67	2.66	2.72	2.69	2.73
市民1人あたり 資料購入費(円)	143	142	138	137	136	135	134	133	132	132	131	117	88	79	80	80
人口(人)	104,707	105,532	106,270	107,026	107,980	108,707	109,373	110,285	110,894	111,145	111,575	113,752	113,893	113,974	113,580	113,578

※平成12年度より資料購入費に雑誌含む。

※人口は、各年度末現在。

●各種過去3年比較統計

■施設利用に関すること

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
開館日数	282	283	259	280
入館者数	179,047	166,266	155,665	163,937
1日平均入館者数	635	588	601	585
ICゲート退館時鳴動回数	1,548	1,142	786	813
自動貸出機貸出冊数	-	-	34,054	46,105
パスワード発行件数	448	470	566	704
閉館時受取ロッカー利用回数	46	28	53	74
かたりの部屋利用回数	12	21	8	32
授乳室利用回数	53	88	88	105

■BMに関すること

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
BM運行日数	237	234	219	243
ステーション数	33	33	32	32
うち学校	5	5	5	5
うち児童センター	3	3	2	2

■修理・弁償・督促に関すること

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
資料修理件数	5,953	7,347	6,182	5,189
資料修理1ヶ月平均	496	612	515	432
毀損届受理件数	333	285	243	244
弁償件数	257	190	162	197
督促件数	4,285	4,490	4,643	5,293
うち1ヶ月延滞督促	2,166	2,104	1,897	2,811
うち2ヶ月延滞督促	1,091	1,063	1,355	1,080
うち3ヶ月延滞督促	681	631	691	545
うち6ヶ月延滞督促	347	315	241	238
長期延滞督促件数	520	377	397	619

■児童・YA・学校サービスに関すること

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
児童0～12歳貸出冊数	97,128	85,725	82,438	81,866
児童書 貸出冊数	162,814	146,982	145,447	152,596
YA世代 貸出冊数	23,463	21,342	20,206	19,076
YA書 貸出冊数	20,907	19,987	17,294	15,301
集配サービス 予算	80,000	86,000	86,000	86,000
集配サービス 利用団体/集配先団体数	19/157	20/169	16/160	18/158
集配サービス 実績/回数	169	148	105	167
集配サービス 実績/金額	77,385	74,520	52,592	89,208

■団体に関すること

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
団体登録数/団体貸出数	214/7,403	221/7,142	233/7,173	210/8,086

■資料に関すること

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
受入図書冊数	8,203	7,702	7,619	7,720
受入図書冊数うち購入	6,239	5,716	5,767	5,602
年間除籍冊数	4,749	9,053	5,158	3,546
雑誌種数/うち購入	94/63	91/72	90/58	93/62
新聞種数/うち購入	26/22	30/26	29/25	31/27
購入図書等(備品購入費)平均単価	1,512	1,306	1,559	1,606
不明資料件数	134	87	265	70

■予約・リクエスト・相互貸借に関すること

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
予約件数	22,153	18,366	17,172	17,499
うち窓口受付	7,591	6,180	4,553	4,068
うちweb受付	12,413	10,509	10,886	11,567
うち館内OPAC受付	1,795	1,346	1,503	1,685
BM	354	331	230	179
うちリクエスト受付件数	843	913	742	678
うちリクエスト割合	3.80%	4.97%	4.32%	4.51%
リクエスト提供件数	購686/相279	購525/相287	購443/相218	購408/相214
相互貸借冊数	借456/貸433	借442/貸478	借324/貸329	借286/貸484
相互貸借郵送費	¥75,070	¥117,418	¥57,297	¥52,968
相互貸借郵送費うち県内	¥7,790	¥16,500	¥4,026	¥0
相互貸借郵送費うち県外	¥67,280	¥100,918	¥53,271	¥52,968

■YA文芸賞・講演会に関すること

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
YA文芸賞応募数	小説6/詩4	小説11/詩60	小説20/詩92	小説16/詩144
読書講演会参加人数	180	156	150	222

●蔵書統計【平成28年度】

単位:冊(点)

統計区分	本館	B M	全館	蔵書構成比
一般書	153,754	2,220	155,974	50%
児童書	54,491	3,578	58,069	19%
一般郷土	39,533	210	39,743	13%
児童郷土	2,917	102	3,019	1%
AV資料	3,160	446	3,606	1%
YA	14,690	281	14,971	5%
沖縄学研究室	21,412	0	21,412	7%
雑誌	8,504	197	8,701	3%
アメリカ情報コーナー	4,782	4	4,786	2%
合計	303,243	7,038	310,281	100%

◎平成29年度 浦添市立図書館年間カレンダー◎

4月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

28日(金)資料整理日
29日(土)昭和の日

5月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

※5日(金)こどもの日は開館
3日(水)憲法記念日
4日(木)みどりの日
5日(金)こどもの日〔開館〕
31日(水)資料整理日

6月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

23日(金)慰霊の日
30日(金)資料整理日

7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

17日(月)海の日

【開館時間】
午前9時30分～午後7時
【祝日開館日】
・こどもの日 5月5日
・文化の日 11月3日

【休館日】
＜黒塗りつぶし＞

- ・毎週月曜日
- ・国民の祝日及び慰霊の日(6月23日)
- ・年末年始

8月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11日(金)山の日

11月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

※3日(木)文化の日は開館
3日(金)文化の日〔開館〕
23日(木)勤労感謝の日
30日(木)資料整理日

10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

9日(月)体育の日
31日(火)資料整理日

12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

23日(土)天皇誕生日
28日(木)資料整理日
29日(金)～31日(日)年末休館日

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

21日(水)春分の日
30日(金)資料整理日

2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

11日(日)建国記念の日
13日(火)建国記念の日の
振替休館
6日(火)～17日(土)蔵書点検

【資料整理日】(毎月末日等)

＜灰色塗りつぶし＞

※末日が土・日曜日にあたる場合は
平日にずらしてあります。

※7,8月は資料整理日がありません。

※蔵書点検の月は、資料整理日がありません。

＜○印＞

蔵書点検(予定)

平成30年2月6日(火)～平成30年2月17日(土)

上記日程は、変更になる場合があります。

平成29年度 行事案内



読むトク!
 ～あなたの『知りたい!』に応える図書館～
 浦添市立図書館年間スローガン

- おはなし会**
- 時間：午前11時30分～正午 場所：かたりの部屋
- ◇おはなしの部屋 (偶数月第2土曜日) ※2月はお休み
 「おはなしの木の会」による素ばなしや絵本の読み聞かせ
 対象：4歳以上
 - ◇おはなしのたから箱 (奇数月第2土曜日)
 図書館ボランティアによる「浦添・沖繩の民話」の語り聞かせ等
 - ◇空とぶじゅうたんおはなし会 (偶数月第3日曜日)
 当館職員による絵本の読み聞かせ
- にこにこ赤ちゃんおはなし会**
- 日時：奇数月第3日曜日 午前11時30分～正午
 場所：かたりの部屋
 対象：0～2歳児とその保護者 (10組 申込先着順)
- 子ども読書ウィーク (4/15～5/7)**
- テーマ「小さな本の大きなせかい」
- 小さな本に広がる、大きな世界を感じ、心を豊かにする本を紹介します。
- ◇空とぶじゅうたんおはなし会【子ども読書ウィークver.】
 4/16 (日) 午前11時30分～正午 かたりの部屋にて
 - ◇としよまる公開 ※雨天中止
 5/5 (金) 午前10時～午前11時 図書館前広場にて
- 一般向けイベント**
- ◇暮らしに役立つ図書館 第8回
 12月開催予定 場所：2階 視聴覚室
 - ◇平成29年度 読書講演会
 読書月間 (10/29～11/24)
 2017うらそえY.A文芸表彰式
 日時：11/3 (金) 午後2時～午後4時30分
 場所：浦添市てだこホール 小ホール

夏休みイベント

- ◇夏休み子ども映画会
 日時：7/25 (火)・8/8 (火)
 午後1時30分～午後2時
 場所：2階 視聴覚室
- ◇としよまるおはなし会
 「おはなしの木の会」さんによる絵本の読み聞かせ等
 7/21 (金) 内間小学校
 時間：午後1時30分～
- 7/26 (水) 西原児童センター
 時間：午後3時30分～
- 8/24 (木) 経塚ゆいまーるセンター
 時間：午後3時40分～
- 8/15 (火) 神森小学校
 時間：午後3時30分～
- ◇としよかんたんけん隊
 グループに分かれ、館内を探検。普段入ることのできない開架書庫やとしよまるなどを探検!
 日時：8/9 (水) 午前11時～午前11時45分
 対象：小学生2年生～6年生 (要申込)



アメリカ情報コーナーイベント

- ◇英語のおはなし会 ※9,1,2月はお休み
 日時：毎月 第1火曜日 午後4時～午後4時30分
 場所：かたりの部屋
 浦添市国際交流員等による英語の絵本の読み聞かせ
- ◇やさしい本から読み始める英語多読
 日時：5月～12月 第1日曜日 (全8回)
 午前11時～正午
 場所：2階 視聴覚室
 対象：英語に興味のある方 (中学生位の英語から)
 定員：20名 (申込順)
 内容：講師を招いて、多読についての講座
- ◇アメリカ留学説明会 ※4月のみ第3水曜
 日時：毎月第1日曜日
 正午～午後1時
 場所：多文化コーナー内アメリカ情報コーナー
 対象：アメリカの大学留学に関心のある方
- ◇アメリカシネマ上映会※英語音声・日本語字幕
 日時：毎月 第2日曜日 午前10時～正午
 場所：2階 視聴覚室
- ◇映画 17グ リッパ上映会 ※英語音声・日本語字幕
 日時：毎月 第2日曜日 午後2時～午後4時
 場所：2階 視聴覚室



※図書館の行事は全て無料です。
 (一部は要申込・保険料負担あり)
 ※日程および内容に変更が出る場合があります
 ので、あらかじめご了承ください。
 ※行事の詳細につきましては、「広報うらそえ」
 当館HP又は館内の掲示物等をご覧ください。

沖縄学講座

- 場所：2階 視聴覚室 時間：午前10時～正午
- 第1回 6/3 「沖縄近現代文学入門」 講師：我部 聖 氏
- 第2回 6/10 「山之口隼の人と作品」 講師：高良 勉 氏
- 第3回 9/30 「すべては消滅からはじまった」(トークショー)
 講師：又吉 栄喜 氏 聞き手：佐藤 モニカ 氏

JICA沖縄国際センター共同イベント

- ◇二日図書館展
 日時：夏休み8/2 (水) 午前8時30分～午後4時
 内容：図書館やJICA図書資料室でのお仕事体験
 対象：小学4～6年生 (要申込、応募多数の際は抽選)
- ◇せかいのおはなし会(年2回)
 9月・2月開催予定 場所：かたりの部屋
 内容：JICA研修員による母国語と図書館員による日本語での読み聞かせ



平成29年度 移動図書館『としまる』巡回表 (平成29年4月～平成30年3月)

(Ver. 1)

コース	曜日	巡回ステーション	時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
A	日曜日	9. 沢岬自治会館	10:20～11:20	9	7	4	2	13	10	8	5	3	7	4	11		
		13. 県営神森団地(雑草工事のため運休)	1:20～2:00	23	21	18	16	27	24	22	19	17	17	21	25	25	
		7. 県営港川団地	2:20～3:10	19	10	14	12	9	6	4	1	13	13	17	21	7	
B	水曜日	22. 県営城間団地	3:30～4:20	19	24	28	26	23	20	18	29	27	17	21	27(火)		
		2. 当山小学校	1:20～2:10	6	11	8	6	3	14	12	9	7	7	11	22	8	
		19. まちなと児童センター	2:30～3:10	20	25	22	20	17	14	12	9	21	21	25	22	22	
C	木曜日	3. 西原児童センター	3:30～4:20	14	19	16	14	18	15	13	10	8	12	12	23	9	
		29. 宮城小学校	1:30～2:15	6	11	8	6	3	14	12	9	7	7	11	22	8	
		23. 崎原自治会	2:40～3:25	20	25	22	20	17	14	12	9	21	21	25	22	22	
D	金曜日	17. エアサハイム	3:40～4:30	14	19	16	14	18	15	13	10	8	12	12	23	9	
		28. 内間小学校	1:30～2:20	15	20	17	15	12	9	6	10	8	8	12	23	23	9
		11. 丸大スーパー 勢理客店	2:35～3:25	15	20	17	15	12	9	6	10	8	8	12	23	23	9
E	土曜日	15. 屋富租公民館	3:45～4:30	15	20	17	15	12	9	6	10	8	8	12	23	9	
		27. 県営沢岬団地	1:20～2:10	15	20	17	15	12	9	6	10	8	8	12	23	9	
		10. 内間公民館	2:30～3:10	15	20	17	15	12	9	6	10	8	8	12	23	9	
F	日曜日	26. 仲西公民館	3:30～4:20	16	14	11	9	6	3	1	12	10	14	14	18	4	
		4. 浦西団地	10:20～11:20	30	28	25	23	20	17	14	11	8	6	28	28	18	
		20. マチナタウン	1:20～2:00	13	18	15	13	10	7	5	2	14	14	18	1	1	
G	木曜日	25. 県営浦添市街地住宅	2:20～3:10	27	27	29	27	24	21	19	16	14	18	18	1	15	
		1. 安川団地	3:30～4:20	27	27	29	27	24	21	19	16	14	14	18	1	15	
		14. 仲西小学校	1:30～2:20	27	27	29	27	24	21	19	16	14	14	18	1	15	
H	金曜日	12. サン・ピリィースうらそえ	2:40～3:20	7	12	9	14	15(火)	8	13	17	1	5	2	2		
		24. 経塚ゆいまーるセンター	3:40～4:30	21	26	27(火)	28	25	22	27	17	15	1	5	2	16	
		6. 前田自治会館	1:20～2:00	21	26	27(火)	28	25	22	27	17	15	1	5	2	16	
I	土曜日	8. 県営経塚団地	2:20～3:10	8	13	10	8	5	2	7	4	2	13	24	3		
		5. 神森小学校	3:30～4:20	22	27	24	22	19	16	13	18	16	2	13	24	17	
		18. 港川自治会事務所	1:20～2:10	22	27	24	22	19	16	13	18	16	2	13	24	17	
J	月/火	21. 緑ヶ丘自治会館	2:30～3:10	11	9	6	4	-	5	3	14	5	16	20	6		
		16. 城間公民館	3:30～4:20	11	9	6	4	-	5	3	14	5	16	20	6		
		30. 鏡が丘特別支援学校本校	1:15～2:15	12	17	7	5	2	11	8	22	22	6	10	24	14	
K	水曜日	31. 鏡が丘特別支援学校分校	2:30～3:15	26	21	19	19	30	27	25	22	20	24	28	28		
		32. 浦添市産業振興センター・結の街	12:15～1:00	26	21	19	19	30	27	25	22	20	24	28	28		

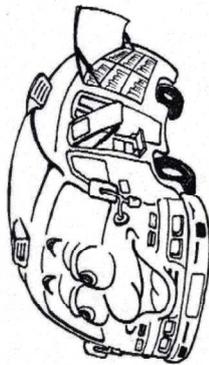
●年間カレンダー(開館スケジュール)に基づく為、巡回する曜日の変更もあります。

●車両の故障、悪天候、道路事情により予告なしに時間変更、または中止になる場合もありますのでご了承ください。

浦添市立図書館 TEL:098-876-4946

平成29年度 移動図書館 としよまる

りようあんなない
利用案内



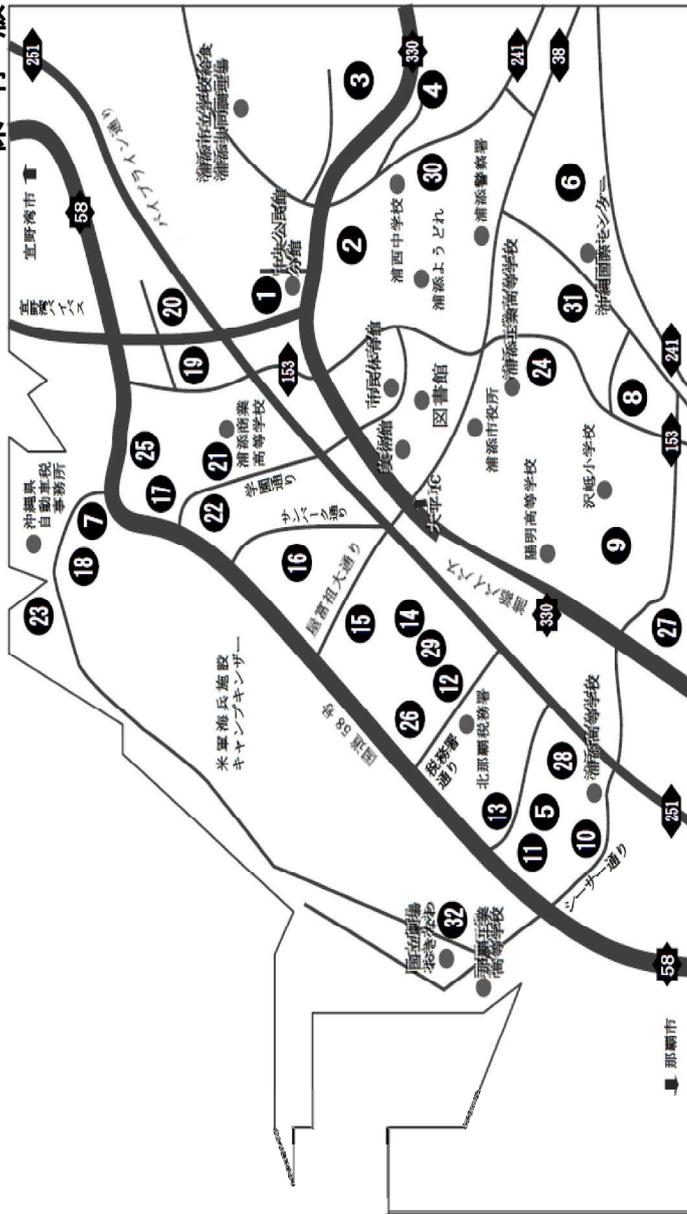
- はじめの方には利用カードを発行します。
- 利用カードは浦添市立図書館でも使えます。
- 借りたい本と利用カードをいっしょに職員にお渡し下さい。
- カード1枚で図書10冊、雑誌3冊、CD2点、合計15点まで借りることができます。 ※貸出期間は2週間です
- 本の返却は、浦添市立図書館、各ステーションのどちらでもできます。
- 車両の故障、悪天候、道路事情により予告なしに時間変更または中止になる場合もありますのでご了承ください。

浦添市立図書館

〒901-2114 沖縄県浦添市安波茶 2-2-1
よくよむ

TEL 098-876-4946

保存版



- 1 安川団地 (牧港3-30-8)
- 2 当山小学校 (当山2-32-1)
- 3 西原児童センター (西原4-11-8)
- 4 浦西公民館 (西原6-22-1)
- 5 神森小学校 (勢理客1-4-1)
- 6 前田自治会館 (前田1-28-7)
- 7 県営港川団地 (港川458-1)
- 8 県営経塚団地 (経塚560)
- 9 沢岫自治会館 (沢岫1-31-1)

- 10 内間公民館 (内間3-15-1)
- 11 丸大スーパー勢理客店 (勢理客2-9-13)
- 12 サン・アピリティーズ うらそえ(宮城4-11-1)
- 13 県営神森団地 (仲西3-11-6)
- 14 仲西小学校 (屋富相2-32-1)
- 15 屋富祖公民館 (屋富相3-1-1)
- 16 城間公民館 (城間1-9-1)
- 17 エアサハイム 港川2-22-6)
- 18 港川自治会事務所 (港川326)

- 19 まちなと児童センター (牧港2-38-2)
- 20 マチナトタウン (牧港4-1-15)
- 21 緑ヶ丘自治会館 (港川1-6-8)
- 22 県営城間団地 (城間4-36)
- 23 崎原自治会 (港川1577-4)
- 24 経塚ゆいまーるセンター (経塚1-17-1)
- 25 浦添市街地住宅 (牧港1-59-1)
- 26 仲西公民館 (仲西1-3-11)
- 27 県営沢岫団地 (沢岫2-18-1)

- 28 内間小学校 (内間4-2-1)
- 29 宮城小学校 (宮城3-7-3)
- 30 鏡が丘特別支援学校本校 (当山3-2-7)
- 31 鏡が丘特別支援学校分校 (経塚715)
- 32 浦添市産業振興センター 結の街 (勢理客4-13-1)

●移動図書館(としまる)貸出風景



県営経塚団地



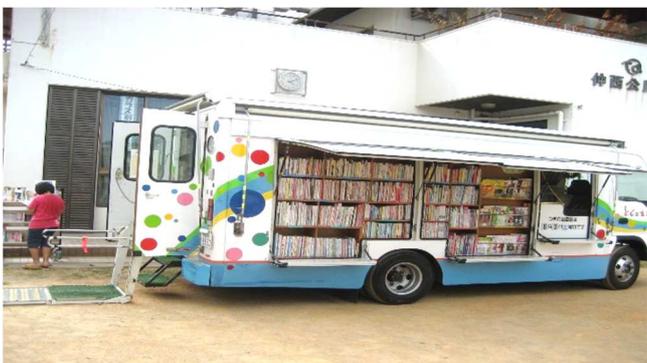
沢岬自治会館



経塚ゆいまーるセンター



西原児童センター



仲西公民館



県営沢岬団地



浦西公民館



ユアサハイム

●移動図書館（としまる）の運営基準

1. 趣旨

- ①図書館から遠い地域に居住する市民に対し、図書館サービスを行う。
- ②図書館からそう遠くないものの、河川、幹線道路、その他の障害物等によって時間的、あるいは心理的な距離が隔たっている市民に図書館サービスを保証する。
- ③身体の障がい、高齢、その他の事情により図書館を訪れることのできない市民に図書館サービスを保証する。
- ④分館の暫定的代替としての役割をはたしつつ、将来へ向けて図書館ネットワークの完成を目指す。

2. 方針

- ①図書館全体の奉仕計画に沿って、移動図書館の運営計画を立てる。
- ②移動図書館サービスは本館と同様とし、差異のないようにする。
- ③貸出サービスを中心にして、図書館の仕事と役割を直接利用体験を通じ、広く利用者に理解してもらう。

3. ステーションの設置基準

- ①本館から概ね1 km以上離れた場所を原則とする。
- ②既存ステーションから距離が0.5 km以上離れた場所を原則とする。
- ③その他、館長が必要と認めた場所。

4. ステーションの設定条件

- ①人口集中度を考慮し、多数市民の利用が見込まれる場所。
- ②移動図書館車の運行、供用に支障のない場所。
- ③利用者の安全が保たれ、かつ、業務が余裕を持って行える場所。
- ④定期的巡回供用に支障のない場所。
- ⑤地域においてある一定度の合意形成が得られた場所。
- ⑥公的機関においては所属長による承認が得られた場所。

5. 設置場所の廃止・変更

- ①分館等図書館施設が設置され、その利用圏内に含まれた場所。
- ②利用が極端に減少した場所。
- ③ステーションの設置条件各項に該当しなくなった場所。
- ④その他、利用上又は運営上廃止の必要を館長が認めた場合。

●学校連携

市立図書館と市内小・中学校と連携・協力をを行い、教育現場で必要な情報・資料提供の迅速化を図り、浦添市内の子どもの豊かな読書環境が育まれることを目的としている。

【内 容】

市立図書館では、市内小・中学校図書館がよりよいサービスを展開できるよう、学校図書館に対して次のサービスを実施している。

○浦添市図書館総合蔵書検索システム

市立図書館の蔵書を管理するサーバーに学校図書館の所蔵データを取り込む事により、市の図書資源の共有化を図る。市立図書館と学校図書館等類似機関の異なる蔵書管理システムのデータベース構造が共有化され、市立図書館のホームページや館内 OPAC から、市内小・中学校図書館の蔵書が検索することができる。

○学校レファレンス・団体貸出・図書集配サービス

学校からの団体貸出要望資料に関し、市立図書館の予算で集配サービスを実施している。

●JICA 沖縄国際センター連携

平成 24(2012)年 2 月 7 日(火)浦添市前田に所在する JICA 沖縄国際センターと浦添市教育委員会の間で連携協力に関する協定が締結された。本協定は両者の所蔵資料等の有効かつ効率的な活用を図り、地域の振興ならびに浦添市が掲げる「国際性ゆたかな文化都市」の実現に寄与することを目的としている。

(1) 掲示・広報活動

- ・浦添市立図書館内に JICA 沖縄国際センターの掲示スペースを設置し、定期的にお知らせを掲示。
- ・市立図書館 HP にバナーをつくり、常時お知らせを掲示。

(2) 相互貸借【平成 28 年度】

- ・JICA 沖縄国際センター図書資料室と浦添市立図書館の間で図書資料を中心に相互貸借を行う。

借受		貸出	
件数	冊数	件数	冊数
0	0	13	39

(3) 連携行事【平成 28 年度】

No	開催期日	内 容	参加人数
1	8 月 3 日 (水)	夏休み一日図書館(JICA 沖縄国際センター共同企画) 市内の各小学校から集まった児童による、浦添市立図書館と JICA 沖縄国際センター図書資料室でのお仕事体験	4 名
2	9 月 18 日 (日)	せかいのおはなし会(空とぶじゆうたんスペシャル) 図書館視聴覚室にて、JICA 沖縄国際センターの研修員による、外国語での絵本などの読み聞かせ 『ねことさる』 シン・サワンクワンテーパーリイ作 ホンサリ・シン・ダムロン絵	27 名
3	2 月 26 日 (日)	せかいのおはなし会(まなびフェスタスペシャル) JICA 沖縄国際センターの研修員による母国語と図書館職員による日本語での絵本などの読み聞かせ 『だるまさんの』 かがくひろし / 著	40 名

●雑誌スポンサー制度（寄贈提供）

雑誌のスポンサーを募集・活用することで新たな財源を確保し、図書館資料等の充実を図る目的で、平成25年度より雑誌スポンサー制度を導入している。

雑誌スポンサー制度とは、図書館で購読する雑誌の購入費用を負担していただき、提供雑誌の表紙にスポンサー名を掲載できる制度である。

県内で初めての制度であることから、平成24年10月から同制度の検討を始め、運営要領の制定、制度の広報活動等を行い、平成25年4月からの実施にいたった。

平成29年度は随時募集とし、現在雑誌スポンサーとして11事業所、13誌のご協力をいただいている。

（平成29年7月現在）

平成29年度 雑誌スポンサー一覧（申込順、敬称略）

No	雑誌スポンサー名	提供雑誌名	金額
1	有限会社 かわばた不動産	『旅の手帖』	¥6,816
2	株式会社 翁長設計	『暮らしの手帖』	¥5,292
3	株式会社 東設計工房	『致知』	¥10,300
4	医療法人 大平会	『文藝春秋』	¥10,056
5		『碁ワールド』	¥10,116
6	柳清本流 和華良舞の会 野原良子琉球舞踊鍛錬所	『婦人公論』	¥13,032
7	一般社団法人 蒼海伝統文化学院	『日経WOMAN』	¥6,624
8	宮城珠算学校	『かぞくのじかん』	¥3,124
9	公文浦添宮城公民館書写教室	『ESSE』	¥5,712
10		『ゆうゆう』	¥8,232
11	手作りパンの店 モンプチブーランジュリー	『クーヨン』	¥8,004
12	フラワーショップ フランシス	『ニコラ』	¥5,712
13	花の店 ブーバル	『クロワッサン』	¥9,114
合 計			¥102,134

※雑誌スポンサー制度の実績

年度	事業所数	提供誌数	金額
28年度	12	13	¥109,812
27年度	14	15	¥126,132
26年度	14	14	¥119,963
25年度	10	10	¥100,000

●うらそえYA文芸賞

平成4(1992)年4月1日(水)、浦添市立図書館では、YA(ヤングアダルト)世代に充分な読書サービスを提供するため、県内初のYA(ワイエー)コーナーを開設した。

また浦添市が平成20年度に掲げた「浦添市子どもの読書活動推進計画」策定を踏まえ、「大人でもなく子どもでもない、自我に目覚めるこの世代の方々に、より適切な本を手渡したい」(浦添市子どもの読書活動推進計画より抜粋)との思いを具体的実践すべく、平成21年度よりYA世代に対して、読書活動推進のキャンペーンを行うにあたり、「うらそえYA(ワイエー)文芸賞」を創設した。

この取り組みは、利用が伸び悩んでいるこの世代の読書意欲を刺激し、図書館をより身近な存在として感じてもらい、読書に対する好奇心を促すことを目的としている。

(1) 作品の種類及びテーマ

- ・短編小説部門

テーマ:浦添・図書館(読書)・その他自由

- ・詩部門

テーマ:浦添・図書館(読書)・その他自由

(2) 各賞

煌(きらめき)賞・輝(かがやき)賞・審査員特別賞・浦添市立図書館長賞
(各部門1編ずつ)

(3) 応募資格

- ・浦添市、那覇市、宜野湾市、西原町に在住、在勤、在学であること
- ・YA世代であること(当館では中学生(13歳)から大学生(22歳)をさす)

主催：浦添市立図書館

2017

ワイエー

うらそえYA文芸賞

作品募集!

読書活動からファンタジーまで・・・個性あふれる作品をおまかせします!

◆ 趣旨
浦添市立図書館では、平成4年に、県内初のYA(ワイエー)コーナーを設置し、中学生から大学生をYA世代と位置づけ、その世代を重視したサービスに努めて参りました。そこで、この世代の文学活動や読書活動を盛り上げ、「才能発掘」の場を提供するため、YA世代の文芸作品を募集いたします。

◆ 短編小説の部
400字程度原稿用紙
20枚以内
(～4,000字)

◆ 詩の部
400字程度原稿用紙
5枚以内
(2,000字以内)

◆ テーマ
「浦添」
「図書館(読書)」
「テーマ自由」

◆ 入賞作品
◆煌(きらめき)賞・・・浦添市長賞に相当
◆輝(かがやき)賞・・・浦添市教育長賞に相当
◆審査員特別賞

※ 入賞作品及び入賞者名は、浦添市立図書館ホームページにて公表します。入賞者には宛先からご連絡いたします。
※ 入賞者には謝状を授与します。
※ 入賞作品は製本し、当該書籍に掲載するほか、市内および近隣市町村内学校(中学・高校・大学)、県内公立図書館等へ配布します。

応募期間：平成29年 6月6日(火)～9月12日(火)

お問い合わせ先・応募先：浦添市立図書館 〒901-2114 浦添市安波高2-2-1
TEL：098-876-4946 FAX：098-875-1772
http://library.city.urasono.lg.jp/ eメールアドレス: tosyokan@city.urasono.lg.jp

2017 うらそえYA文芸賞作品募集要項

◆ 応募期間 平成29年6月6日(火)～平成29年9月12日(火) ※当日消印有効

◆ 応募資格 ①浦添市・那覇市・宜野湾市・西原町に在住・在勤・在学であること。
②YA世代であること(中学生・大学生・13歳～22歳まで)

◆ 応募規定 【短編小説部門】 400字程度の原稿用紙 20枚以内 (8,000文字以内)。
【詩部門】 400字程度の原稿用紙 5枚以内 (2,000文字以内)。
※ 数字・記号がある場合は、当該で訂正する場合があります。
※ 原稿は書き、貼付はワープロで作成してください。(縦書き原稿、鉛筆不可)
※ 原稿用紙にはタイトル、本文のみ。(名前、学校名等は応募用紙に明記し、原稿用紙に記入しなくて可也)
※ 応募作品は、自作未発表のものに限ります。
※ 応募作品は返却いたしません。
※ 応募作品の著作権は、浦添市立図書館に帰属します。

◆ 応募方法 **かならず下記の応募用紙を作品に添付し、応募すること。**
【個人】 応募部門にのせし、作品タイトル・テーマ・住所・年齢・性別・学年・住所・電話番号・メールアドレス・学校名・学年を明記し、宛封書に署名の上、ご応募ください。
※ 個人情報の取り扱いについて
応募にあたりお預かりいたします。住所、その他の個人情報は、主催者において、本文著者の署名、本人および所属校への連絡、本文著者資料や知覧の発送に利用いたします。お知らせいただいた個人情報を第三者に提供することはありません。

◆ 応募先 〒901-2114 浦添市安波高2-2-1 浦添市立図書館 2016 うらそえYA文芸賞係
※ 開館中(9:30～19:00)に受付。TELは別途 ※ 月曜日休館

◆ 審査員 審査員長 又宮栄喜(那覇市作務・市内在住) 審査員 眞らう(那覇市・市内在住)
審査員 トーマ・ヒロコ(那覇市・市内在住) 審査員 浦添市教育委員会文化部長

◆ 発表 10月中旬に入賞者が通知。主催者ホームページにおいて発表。
◆ 表彰式 日曜/平成29年11月3日(金) 午後2時 場所/てんこホール 小ホール(浦添市)

※ 応募作品は著作権のオリジナル作品である はい ・ いいえ
※ 他の作品からの引用は ない ・ ある 引用作品は
※ 応募作品の発表先、Webサイトの掲載権、その他二次的利用権等の権利関係は、主催者である浦添市立図書館に帰属します。

※ 以上応募用紙に別途記載のない限りご適用いたします。

受付日： 受付職員：
2017 うらそえYA文芸賞 応募用紙・応募作品に添付する誓約書

応募部門	短編小説部門	詩部門
作品タイトル	テーマ	浦添・図書館(読書)・自由
氏名	よみがな	
性別	男・女	年齢
住所	〒	市
連絡先 【自宅・携帯】	メールアドレス	
学校名	学年・組	町 組

発行 No. _____
平成 年 月 日 氏名 _____

●催し物【平成 28 年度】

(1) 読書月間・子ども読書週間

開催期間	名称(テーマ)	場所	備考
4月16日(土)～5月8日(日)	「あいてのきもち、じぶんのきもち ～みんなちがってみんないい～」	児童室、 おはなしコーナー	子ども読書週間
5月5日(木)	としよまる公開	浦添市立図書館 正面玄関前	子ども読書週間
10月29日(土)～11月24日(木)	「よくよむ～趣味に仕事に人生に～」	エントランスホール	読書月間
2月25日(土)～2月26日(日)	おはなしのたから箱 せかいのおはなし会 ～まなびフェスタスペシャル～	かたりの部屋	まなびフェスタ

(2) 読書案内

開催期間	名称(テーマ)	場所	備考
4月30日(土)～5月11日(水)	「ははのひ」	児童室	スポット企画 資料展示・貸出
6月1日(水)～6月29日(水)	暮らしに役立つ図書館 第7回「アロマテラピーで ハウスキーピング」	エントランスホール	暮らしに役立つ図書館 講座企画 資料展示・貸出
6月1日(水)～7月15日(金)	「18歳から選挙権 きみにもわ かる政治のしくみ」 「小説や詩を書いてみませんか うらそえ YA 文芸賞にチャレンジ」	多文化コーナー	スポット企画 資料展示・貸出
6月4日(土)～6月19日(日)	「ちちのひ」	児童室	スポット企画 資料展示・貸出
6月4日(土)～6月29日(水)	「平和について考えよう」	児童室	スポット企画 資料展示・貸出
6月11日(土)～6月29日(水)	「儀間比呂志」	2階沖縄学	郷土スポット企画 資料展示・貸出
6月24日(金)～7月10日(日)	「たなばた」	児童室	スポット企画 資料展示・貸出
7月16日(土)～9月4日(日)	「課題図書・指定図書 ・自由研究」	児童室	スポット企画 資料展示・貸出
7月16日(土)～8月31日(水)	「夏です！暑さ対策」	エントランスホール	スポット企画 資料展示・貸出
7月16日(土)～9月4日(日)	「夏休み！中高生いみが勝 負時！」	多文化コーナー	スポット企画 資料展示・貸出
7月22日(金)～8月31日(水)	「音楽で楽しむ夏」	AVコーナー	AVスポット企画 資料展示・貸出
8月3日(水)～8月31日(水)	「夏の怖い話」	エントランスホール	スポット企画 資料展示・貸出
9月8日(木)～11月3日(木)	「体験・読書を楽しもう 自分をつくる情報 ノート活用術」	エントランスホール	読書講演会・キャリアビジ ネス・読書案内関連企画 資料展示・貸出
9月14日(水)～9月29日(木)	「浦添の宝もの展」	2階沖縄学	郷土スポット企画 資料展示・貸出
10月1日(土)～11月2日(水)	「ハッピーハロウィン」	児童室	スポット企画 資料展示・貸出
10月1日(土)～10月30日(日)	「浦添の移民100年展」	2階沖縄学	郷土スポット企画 資料展示・貸出

11月1日(火)～11月29日(火)	「耳で楽しむ秋」	AVコーナー	AVスポット企画 資料展示・貸出
12月1日(木)～12月25日(日)	「Happy Christmas」	AVコーナー	AVスポット企画 資料展示・貸出
12月1日(木)～12月25日(日)	「メリークリスマス！」	児童室	スポット企画 資料展示・貸出
12月1日(木)～12月27日(火)	「メリークリスマス」	エントランスホール	スポット企画 資料展示・貸出
12月1日(木)～1月10日(火)	「良いお年を」	エントランスホール	スポット企画 資料展示・貸出
12月22日(木)～1月11日(水)	「おしょうがつ」	児童室	スポット企画 資料展示・貸出
1月4日(水)～1月29日(日)	「レインボー都市うらそえ ～性の多様性を 認めあうまち～」	エントランスホール	スポット企画 資料展示・貸出
1月11日(水)～1月29日(日)	「夏目漱石生誕150年 ～時を超えて漱石に 出会う～」	エントランスホール	スポット企画 資料展示・貸出
1月13日(金)～2月5日(日)	「ふくはうち おにはそと」	児童室	スポット企画 資料展示・貸出
1月21日(土)～2月5日(日)	「てだこのまちあるき」	2階沖縄学	郷土スポット企画 資料展示・貸出
1月20日(金)～2月5日(日)	「10代の甘いときめき バレンタイン特集」	多文化コーナー	スポット企画 資料展示・貸出
2月18日(土)～3月3日(金)	「ひなまつり」	児童室	スポット企画 資料展示・貸出
2月18日(土)～3月22日(水)	「アーノルド・ローベルの世界」	児童室	スポット企画 資料展示・貸出
3月8日(水)～4月12日(水)	「はる あたらしいこといっぱい」	児童室	スポット企画 資料展示・貸出
3月1日(水)～3月30日(木)	「卒業・入学 旅立ちの時」	AVコーナー	AVスポット企画 資料展示・貸出
3月2日(木)～4月12日(水)	「春！新入学・進学・進級」	エントランスホール	スポット企画 資料展示・貸出
3月7日(火)～3月30日(木)	「空手！唐手！KARATE！」	2階沖縄学	郷土スポット企画 資料展示・貸出
3月18日(土)～5月31日(水)	「春休みを満喫！強く、やさしく、 かっこいい大人になるために。～ 10代のためのYAが仆ブック」	多文化コーナー	スポット企画 資料展示・貸出

(3) 読書講演会 (敬称略)

開催期日	講演内容	講師	場所	参加人数
11月3日(木)	「本で調べる図書館の活用法 ～レファレンスの魅力～」	埜納 タオ	てだこ小ホール	222名

(4) 講習会 (敬称略)

開催期日	講習内容	講師	場所	参加人数
6月17日(金)	第7回 暮らしに役立つ図書館 アロマテラピーでハウスキーピング	アロマフォレスト 関根 希和	2階視聴覚室	27名

(5) その他イベント (敬称略)

開催期日	内 容	場 所	参加人数	備 考
8月9日(火)	としょかんたんけん隊	浦添市立図書館内 としょまる	12名	夏休み行事

開催期日	内 容	演 奏	場 所	参加人数
12月17日(土)	文化芸術の鑑賞事業 クリスマスライブラリーコンサート	阿波根 由紀 窪田 めぐみ	浦添市立図書館 1階一般貸出室 書架前	63名

(6) 沖縄学講座 (敬称略)

テーマ「世界にひろがるウチナー文化」場所:2階視聴覚室(第1回、第3回) 浦添市美術館(第2回)

回	開催期日	内 容	講 師	参加人数
1	6月12日(日)	海外で歌い継がれる沖縄の芸能	遠藤 美奈 (沖縄県立芸術大学附属研究所共同研究員)	27名
2	6月19日(日)	沖縄移民の美術	翁長 直樹 (元沖縄県立博物館・美術館副館長)	32名
3	6月26日(日)	日系2世、3世のいまと沖縄文化	新屋敷 幸福 (沖縄ブラジル協会副会長)	34名

(7) 沖縄学研究室関連企画展

開催期日	名称 (テーマ)	場 所	備 考
6月1日(水)～6月29日(水)	浦添の移民100年展	2階エレベーターホール	沖縄学講座関連企画展
6月16日(木)～6月26日(日)	内間安理のARTと 浦添の移民100年展	浦添市美術館	浦添市美術館との共同企画展
9月9日(金)～1月10日(火)	琉球漆器と浦添の宝もの	浦添市美術館	図書館所蔵資料25点を提供
10月12日(水)～11月2日(水)	浦添の移民100年展	浦添市役所1階ロビー	第6回世界のウチナーンチュ大会 関連企画展

●映画会【平成28年度】

図書館と利用者の結びつきを目的に名作映画を上映している。

◆ 夏休み子ども映画会 午後1時30分～午後2時30分 2階視聴覚室にて

開催期日	内 容	参加人数
7月16日(土)	「シャーロットのおくりもの」	15名
8月20日(土)	「おさるのジョージ」	21名

合計:36名

●おはなしの部屋【平成 28 年度】

語り聞かせ(ストーリーテリング)の機会をもつことで、子どもたちの聞く力と想像力を豊かに育て、お話を聞く楽しさや素晴らしさを伝える。

偶数月第2土曜日 午後3時30分～4時 かたりの部屋にて 読み手:おはなしの木の会

(敬称略)

実施日	内 容	担当者	参加者数
4/9 (土)	<p>テーマ◇「チャレンジ」</p> <p>『ラチとライオン』マレーク・ペロニカ/文・絵 とくながやすもと/訳 福音館書店 絵本</p> <p>『マーシャとくま』E・ラチョフ/絵 M・ブラートフ再話 福音館書店 絵本</p> <p>『はじめてのおつかい』筒井頼子/作 林明子/絵 福音館書店 絵本</p>	古謝	6名
6/11 (土)	<p>テーマ◇「おとうさんのおはなし」</p> <p>「瓜こひめこ」(『おはなしのろうそく12』) 東京子ども図書館 おはなし</p> <p>『くんちゃんのはたけしごと』ドロシー・マリノ/作 まさきりこ/訳 ペンギン社 絵本</p> <p>『かさ』太田大八/作・絵 文研出版 絵本</p>	古謝	10名
8/13 (土)	<p>テーマ◇「夏をたのしもう！」</p> <p>「ふたりのあさごはん」(『けんいちとみけやのおはなし』) ねぎしたかこ/作 子どもの本研究所 おはなし</p> <p>『ぐりとぐらのかいすいよく』中川季枝子/作 福音館書店 絵本</p> <p>「ふたりのケーキづくり」(『けんいちとみけやのおはなし』) ねぎしたかこ/作 子どもの本研究所 おはなし</p> <p>『ちいさなヒッポ』マーシャ・ブラウン/作 うちだりさこ/訳 偕成社 絵本</p>	古謝	23名
10/8 (土)	<p>テーマ◇「ハッピーハロウィン」</p> <p>「ならなし」(『やまなしもぎ』) 平野直/作 大田大八/絵 福音館書店 おはなし</p> <p>『ふしぎなナイフ』村牧江/作 林健造/作 福田隆義/絵 福音館書店 絵本</p> <p>『ねむりひめ(グリム童話)』フェリクス・ホフマン/絵 せたていじ/訳 福音館書店 絵本</p>	古謝	23名
12/10 (土)	<p>テーマ◇「ふゆがやってきた！」</p> <p>「やまのこもりうた」(『のはらうた1』) こぐまきょうこ/詩 童話屋 人形</p> <p>「ゆきんこ(ロシアの昔話)」(『ストーリーテリングについて』) 子ども文庫の会 おはなし</p> <p>『ゆきのひ』キーツ/文・絵 きじまはじめ/訳 偕成社 絵本</p> <p>『くまのビーティーくん』フリーマン/作 松岡享子/訳 偕成社 絵本</p>	古謝	8名

合計:70名

平均:14名

●空とぶじゅうたんおはなし会【平成 28 年度】

読み聞かせや手あそびなどをおして図書に親しみを持たせ、子どもたちに読書の楽しさや素晴らしさを知ってもらおう。

偶数月第3日曜日 午後3時30分～4時 かたりの部屋にて 読み手:当館職員

実施日	内 容		参加者数
4/17 (日)	<p>テーマ◇「あいてのきもち、みんなのきもち～みんなちがってみんないい～」</p> <p>『いいおかお』松谷みよ子/文 瀬川康男/画 童心社</p> <p>『どんなかんじかなあ』中山千夏/文 和田誠/絵 自由国民社</p> <p>ともだちになるために</p> <p>『メルローズとクロック ともだちっていいな』 エマ・チチェスター・クラーク/作 たなかまや/訳 評論社</p> <p>『ちょっとだけ』瀧村有子/作 鈴木永子/絵 福音館書店</p>	<p>絵本</p> <p>絵本</p> <p>手話ソング</p> <p>絵本</p> <p>絵本</p>	15名
6/19 (日)	<p>テーマ◇「あめのおはなし」</p> <p>『のはらうた』くどうなおこ/著 童話屋</p> <p>『かえるくんのうんどうかい』當間千晃/作・絵</p> <p>『あめぼぼぼ』ひがしなおこ/作 きうちたつろう/絵 くもん出版</p> <p>『あめふりうります』平田昌広/文 野村たかあき/絵・原案 講談社</p> <p>かたつむり</p> <p>『おじさんのかさ』さのようこ/作・文 銀河社</p> <p>『あめがふるひに…』イ・ヘリ/絵 ビヨン・キジャ/訳 くもん出版</p>	<p>詩</p> <p>手作り絵本</p> <p>絵本</p> <p>絵本</p> <p>手遊び</p> <p>絵本</p> <p>絵本</p>	17名
8/21 (日)	<p>テーマ◇「おまつりのおはなし」</p> <p>『はなびドーン』カズコ G.ストーン/作 童心社</p> <p>『はらっぱむらのなつまつり』かとうまふみ/作・絵 フレーベル館</p> <p>『きんぎょのおまつり』高部晴市/作 フレーベル館</p> <p>カリカリかきごおり</p> <p>イカイカスイカ</p> <p>『うみのおまつり』宮下昌樹/作 長島克夫/画 教育画劇</p> <p>『ねこのはなびや』渡辺有一/作 フレーベル館</p>	<p>絵本</p> <p>絵本</p> <p>絵本</p> <p>手遊び</p> <p>手遊び</p> <p>紙芝居</p> <p>絵本</p>	14名
10/16 (日)	<p>テーマ◇「よーいどん！運動会」</p> <p>はじまるよ</p> <p>『へんしんおてんき』あきやただし/作・絵 金の星社</p> <p>『もりのうんどうかい』宮崎二美枝/脚本 夏目尚吾/絵 童心社</p> <p>『べべべんべんとう』さいとうしのぶ/作・絵 教育画劇</p> <p>おべんとうばこのうた</p> <p>『よーいどん』わたなべひろみ/作 ポプラ社</p>	<p>歌</p> <p>絵本</p> <p>紙芝居</p> <p>歌</p> <p>手遊び</p> <p>絵本</p>	17名

12/18 (日)	テーマ◇「ハッピークリスマス」 『100にんのサンタクロース』 谷口智則/作・絵 文溪堂 We Wish a Merry X'mas 『クリスマスのまえのぼん』 クレメント・ムア/文 ターシャ・テューター/絵 BL出版 赤鼻のトナカイ クリスマスカード、葉づくり	絵本 歌リミック 絵本 パペット 工作	11名
2/19 (日)	テーマ◇「おにはそと！ふくはうち！」 『まめのかぞえうた』 西内 ミナミ/作 和歌山静/絵 鈴木出版 『おにはそと』 せなけいこ/作・絵 金の星社 『まめっこぼりぼりおにはそと』 渡辺節子/作 間瀬なおたか/画 教育画劇 おにのパンツ 『せつぶんのひのおにいっか』 青山友美/作 講談社	絵本 絵本 紙芝居 手遊び 絵本	8名

合計:82名
平均:14名

●にこにこ赤ちゃんおはなし会【平成28年度】

おはなし会を通して、絵本を読むことの楽しさや大切さに触れ、赤ちゃんの心と体が豊かに育つよう絵本を開く“きっかけ”を作る。また、絵本を介して親子の触れ合いを高め、読み聞かせの仕方を伝えることにより、親に本と出会う機会を提供する。

奇数月第3日曜日 午前11時30分～12時 かたりの部屋にて 定員:親子15組
読み手:読み聞かせボランティア・当館職員

(敬称略)

実施日	内 容	担当者	参加者数	
5/15 (日)	とんとんとんひげじいさん 『にこちゃん』 南くうく/著 アリス館 おはながわらった 『どんどこももんちゃん』 とよたかずひこ/作・絵 童心社 『おててがでたよ』 林明子/作 福音館書店 てをたたきましょう 『ぎったんぼっこん』 なかえよしを/作・絵 上野紀子/絵 文化出版局 『ぴょーん』 まつおかたつひで/作・絵 ポプラ社 こいのぼり	手遊び 絵本 手話ソング 絵本 絵本 手遊び 絵本 大型絵本 歌	恩河 稲福	41名
7/17 (日)	とんとんとんひげじいさん 『いないいないばあ』 松谷みよ子/作 瀬川康男/絵 童心社 おつむてんてん かみしばいのうた 『まてまてまて』 宮崎二美枝/脚本 童心社 『はなびドーン』 ガズコ・G.ストーン/作 童心社	手遊び 絵本 手遊び 手遊び 紙芝居 絵本	平良	25名

	むすんでひらいて 『いろいろおすし』 山岡ひかる/作 くもん出版 おぼけなんてないさ 『だるまさんが』 かがくいひろし/作 ブロンズ新社	手遊び 絵本 手遊び 大型絵本		
9/18 (日)	台風 16 号の影響で悪天候の為、中止			
11/20 (日)	とんとんとんとんひげじいさん 『おつきさまこんばんは』 林明子/作 福音館書店 『おもちゃのチャチャチャ』 市原淳/構成・絵 ひさかたチャイルド 『くだもの』 平山和子/作 福音館書店 おおきなくりのきのしたで 『わたしの』 三浦太郎/作・絵 こぐま社 『ぞうくんのさんぽ』 なかのひろたか/作・絵 福音館書店 ぞうさん	手遊び 絵本 歌絵本 絵本 手遊び 絵本 絵本 手遊び	平良	24 名
1/15 (日)	とんとんとんとんひげじいさん 『いやだいやだ』 せなけいこ/作・絵 福音館書店 まあるいたまご 『ととけっこうよがあけた』 こばやしえみこ/案 こぐま社 「かわいいかくれんぼ」 『のせてのせて』 松谷みよ子/文 東光寺啓/絵 童心社 おててパチパチ 『おしくら・まんじゅう』 かがくいひろし/作 ブロンズ新社 こぶたぬきつねこ	手遊び 絵本 手遊び 絵本 エプロンアター 絵本 手遊び 絵本 人形ポードビル	恩河	21 名

合計:111 名
平均: 28 名

●おはなしのたから箱【平成 28 年度】

浦添・沖縄の民話を中心としたおはなし会、郷土の文化にふれるきっかけとする。
 奇数月第2土曜日 午後3時30分～4時 かたりの部屋にて
 読み手:読み聞かせボランティア

実施日	内 容		参加者数
5/14 (土)	<p>テーマ◇ 「浦添・沖縄の民話 ハーリー・ユッカヌヒーのおはなし」</p> <p>「あたまかたひぎボン (うちなーぐち Ver.)」</p> <p>『エイサー!ハーリー』(九州国立博物館 企画・原案 山崎克己 絵)</p> <p>『ねずみのハーリー』(儀間比呂志 さく・え)</p>	<p>手遊び</p> <p>絵本</p> <p>絵本</p>	13名
7/9 (土)	<p>テーマ◇ 「浦添・沖縄の民話 マジムンのおはなし」</p> <p>「むすんでひらいて (うちなーぐち Ver.)」(『しまくとうばであそぼう』 金城春子 文 磯崎主佳 絵)</p> <p>『バキムン退治』 (具志川市学校図書館司書研究会 文)</p> <p>「池城親方と逆立ちゆうれい」(『まあじぬ んかしばなし』那覇市教育委員会 編集)</p> <p>「クスケーの由来」(『21世紀に残したい沖縄の民話21話』遠藤庄治 文 安室二三雄 絵)</p>	<p>手遊び</p> <p>紙芝居</p> <p>素話</p> <p>素話</p>	13名
9/10 (土)	<p>テーマ◇ 「浦添・沖縄の民話 カミムン (たべもの) のおはなし」</p> <p>「5本の指のはくしゅ」(『しまくとうばであそぼう』 金城春子 文 磯崎主佳 絵)</p> <p>『サンダーとキジムナー』 (沖縄県立那覇工業高等学校グラフィックアート科)</p> <p>「トーカチのはじまり」(『新・おきなわ昔ばなし②』7ふるづかだるま 監修)</p>	<p>手遊び</p> <p>絵本</p> <p>絵本</p>	31名
11/12 (土)	<p>テーマ◇ 「浦添・沖縄の民話 おうさまのおはなし」</p> <p>「はじまるよ!」(ウチナーグチのかぞえ歌手遊び 赤嶺さん Ver.)</p> <p>「伊祖^{わかていーだ}め若太陽」(『伊祖め若太陽-英祖王ものがたり-』しまくとうばを楽しむ会～言い語れーぐあー～)</p> <p>「あーみーどーい」(『おきなわのこどもあそびうた』著 高江洲義寛)</p> <p>『天女の子 察度』(沖縄県立那覇工業高等学校グラフィックアート科)</p>	<p>手遊び</p> <p>大型紙芝居</p> <p>素話</p>	17名
1/14 (土)	<p>テーマ◇ 「浦添・沖縄の民話 ムーチー・旧正月のおはなし」</p> <p>「はじまるよ!」(ウチナーグチのかぞえ歌手遊び 赤嶺さん Ver.)</p> <p>「ノミとシラミ」(『新・おきなわ昔ばなし②』1ふるづかだるま 監修)</p> <p>「城間ナーカと盗人」(『城間の昔ばなし』 城間字誌編集委員会 編)</p> <p>「いー^{そーぐあち}正月や」(『沖縄のわらべうた』より 著 高江洲義寛)</p> <p>『おにムーチー』(鎌田佐多子 文 大湾宗弘 絵)</p>	<p>手遊び</p> <p>絵本</p> <p>絵本</p> <p>わらべうた</p>	11名
3/11 (土)	<p>テーマ◇ 「浦添・沖縄の民話 浜下りのおはなし」</p> <p>「はじまるよ!」(ウチナーグチのかぞえ歌手遊び 赤嶺さん Ver.)</p> <p>「アカマターものがたり」(参考「浜下りのはじまり」(『新・おきなわ昔ばなし②』3ふるづかだるま 監修)</p> <p>「あかな」(『おきなわのこどもあそびうた』著 高江洲義寛)</p>	<p>手遊び</p> <p>素話</p> <p>わらべうた</p>	10名

「エビ・カニ・マンタ」(『新・おきなわ昔ばなし②』 1ふるづかだるま 監修)	絵本	
--	----	--

合計：95名
平均：16名

●としまるおはなし会【平成28年度】

夏休みのとしまるにおける特別おはなし会。読み手:おはなしの木の会

実施日	内 容	ステーション名 時 間	参加者数	
7/22 (金)	<p>テーマ◇ おばけがでるぞ～</p> <p>「くまさんのおでかけ」(『おはなしのろうそく1』 東京子ども図書館)</p> <p>「ちいちゃいちいちゃい」(『おはなしのろうそく1』 東京子ども図書館)</p> <p>「アナシと五」(『子どもに聞かせる世界の民話』 実業之日本社)</p> <p>「めっきらもつきらどおんどん」 長谷川摂子/作 ふりやなな/画 福音館書店</p> <p>『うみやまがっせん』 長谷川摂子/文 大島英太郎/絵 福音館書店</p>	<p>おはなし</p> <p>おはなし</p> <p>おはなし</p> <p>絵本</p> <p>絵本</p>	<p>内間小学校</p> <p>13:20～14:20</p>	37名
7/27 (水)	<p>テーマ◇ おばけがでるぞ～</p> <p>『のはらうた』 くだうなおことのはらみんな/作 童話屋</p> <p>「ひなどりのネコ」(ミャンマーの昔話) (『子どもに聞かせる世界の民話』 矢崎源九郎/編 実業之日本社)</p> <p>「まほうの馬(ロシアの昔話)」 岩波書店</p> <p>『ふしぎなナイフ』 村牧江/作 林健造/作 福田隆義/絵 福音館書店</p> <p>『ダチョウのくびはなぜながい?』 ヴァーナ・アーダマ/文 マーシャ・ブラウン/絵 まつおかきょうこ/訳 富山房</p>	<p>詩</p> <p>おはなし</p> <p>おはなし</p> <p>絵本</p> <p>絵本</p>	<p>西原児童 センター</p> <p>15:30～16:20</p>	36名
7/28 (木)	<p>テーマ◇ おばけがでるぞ～</p> <p>「くまさんのおでかけ」(『おはなしのろうそく1』 東京子ども図書館)</p> <p>「ちいちゃいちいちゃい」(『おはなしのろうそく1』 東京子ども図書館)</p> <p>「アナシと五」(『子どもに聞かせる世界の民話』 実業之日本社)</p> <p>「ついでにペロリ」(『おはなしのろうそく6』 東京子ども図書館)</p> <p>『うみやまがっせん』 長谷川摂子/文 大島英太郎/絵 福音館書店</p>	<p>おはなし</p> <p>おはなし</p> <p>おはなし</p> <p>おはなし</p> <p>絵本</p>	<p>経塚ゆいまーる センター</p> <p>15:40～16:30</p>	14名
7/29 (金)	<p>テーマ◇ おばけがでるぞ～</p> <p>「あいさつ」へびいちのすけ/詩 (『のはらうた』 くだうなおこ/編)</p> <p>「ひなどりのネコ」(ミャンマーの昔話) (『子どもに聞かせる世界の民話』 矢崎源九郎/編 実業之日本社)</p> <p>「ついでにペロリ」(『おはなしのろうそく6』 東京子ども図書館)</p> <p>『ふしぎなナイフ』 村牧江/作 林健造/作 福田隆義/絵 福音館書店</p> <p>『ダチョウのくびはなぜながい?』 ヴァーナ・アーダマ/文 マーシャ・ブラウン/絵 まつおかきょうこ/訳 富山房</p>	<p>詩</p> <p>おはなし</p> <p>おはなし</p> <p>絵本</p> <p>絵本</p>	<p>神森小学校</p> <p>15:30～16:20</p>	15名

合計:102名
平均:26名

●英語のおはなし会【平成 28 年度】

図書館児童室・アメリカ情報コーナーの絵本を利用し、浦添市の国際交流職員等による英語の絵本の読み聞かせを実施している。

毎月第1火曜日 午後4時～午後4時30分 かたりの部屋にて

読み手:ジェレミー・エックスタイン(浦添市国際交流員) 安全管理:図書館職員

実施日	内 容		参加者数
4/5 (火)	『Frog and toad together (Cookies)』 Arnold Lobel / 作・絵 『Did I ever tell you How Lucky you are』 Dr.Seuss/作 『Stone Soup』 Marica Brown / 作・絵	和書と洋書 洋書 洋書	12名
6/7 (火)	『Frog and toad all year』 Arnold Lobel / 作・絵 『I hate English!』 Ellen Levine / 著 Steve Bjorkman / 絵 『Millions of cats』 Wanda Gag / 作・絵	和書と洋書 洋書 洋書	5名
7/19 (火)	『Frog and Toad are friends』 Arnold Lobe / 作・絵 『The Giving Tree』 Shel Silverstein / 作	和書と洋書 洋書	5名
8/2 (火)	『Frog and Toad are friends』 Arnold Lobe / 作・絵 『The cat in the hat』 Dr. Seuss / 作・絵	和書と洋書 洋書	16名
9/6 (火)	『Frog and Toad are friends』 (「A Lost Button」「A Swim」) Arnold Lobel / 作・絵 『When sophie gets angry—Really, really angry』 Molly Bang / 作	和書と洋書 洋書	3名
10/4 (火)	『Days with frog and toad』 (Tomorrow) Arnold Lobel / 作・絵 『Yoko Writes Her Name』 Rosemary Wells / 作	和書と洋書 洋書	7名
11/1 (火)	『Days with frog and toad 』 (THE KITE) Arnold Lobel / 作・絵 『Once upon a Home upon a home』 Kato Kunio / 作	和書と洋書 洋書	9名
12/6 (火)	『Yoko's Show—And—Tell』 Rosemary Wells / 作・絵 『Green eggs and ham』 Dr. Seuss / 作	洋書 洋書	6名
3/7 (火)	『The Toys' Party』 Roderick Hunt // 著 『Quin and peep play hide and seek』 Perry Mia Lynn // 著 『The Emperor's New Clothes』 Yoko Imoto // 著	洋書 洋書 洋書	2名

合計:65名

平均:7名

●アメリカ情報コーナーの概要

- ・沖縄と米国との友好親善の促進を目指し、平成 16 年 9 月 14 日浦添市立図書館 2 階に設置。
(平成 27 年 7 月 16 日、1 階多文化コーナー内に移設)
- ・資料や備品は在沖米国総領事館からの寄贈による。
- ・米国に関する資料を中心に、CD・DVD・iPad・Kindle を所蔵。
- ・毎月、英語のおはなし会・留学説明会・展示企画・文化イベント・講演会等を開催。

平成 28 年度資料構成

蔵書	点数
全資料冊数	4,760
雑誌タイトル	49
AV (CD・DVD)	185

平成 28 年度受入冊数

図書	682
雑誌	218

■平成 28 年度アメリカ情報コーナー行事

	開催期日	内 容	講 師 等	参加人数
1	4 月 1 日(金) ～17 日(日)	企画展『”READ”ポスター展』	—	110 名
2	4 月 16 日(土)	なつかしの映画会『Stanley & Iris』 (邦題:アイリスへの手紙)	—	6 名
3	”	アメリカ映画上映会『Ferngully』 (邦題:不思議の森の妖精たち)	—	15 名
4	4 月 20 日(水) ～5 月 8 日(日)	企画展『Earth Day ポスター展』	—	97 名
5	5 月 1 日(日)	やさしい本から読み始める英語多読	新川 智清氏	17 名
6	5 月 21 日(土)	なつかしの映画会『The China Syndrome』 (邦題:チャイナシンドローム)	—	6 名
7	”	アメリカ映画上映会『Saving Mr. Banks』 (邦題:ウォルト・ディズニーの約束)	—	13 名
8	6 月 5 日(日)	やさしい本から読み始める英語多読	新川 智清氏	10 名
9	6 月 18 日(土)	なつかしの映画会『Back to the Future』 (邦題:バック・トゥー・ザ・フューチャー)	—	12 名
10	”	アメリカ映画上映会『Happy Feet』 (邦題:ハッピー・フィート)	—	16 名
11	7 月 3 日(日)	やさしい本から読み始める英語多読	新川 智清氏	14 名
12	7 月 16 日(土)	なつかしの映画会 『2001:A Space Odyssey』 (邦題:2001年宇宙の旅)	—	11 名

13	〃	アメリカ映画上映会『Charlotte's Web』 (邦題:シャーロットのおくりもの)	—	9名
14	8月3日(水) ~31日(水)	企画展『オリンピックポスター展』	—	270名
15	8月5日(金) ~26日(金)	企画展『世界ゾウの日ポスター展』	—	206名
16	8月7日(日)	やさしい本から読み始める英語多読	新川 智清氏	16名
17	8月14日(日)	空とぶじゅうたんおはなし会 米の司書によるスペシャルおはなし会	フォスターライブラリー より司書	42名
18	8月20日(土)	なつかしの映画会 『For the Love of the Elephants』 (邦題:ゾウ 野生への旅路~永遠なる愛~)	—	22名
19	〃	アメリカ映画上映会『Curious George』 (邦題:おさるのジョージ)	—	21名
20	9月4日(日)	やさしい本から読み始める英語多読	新川 智清氏	16名
21	9月13日(火) ~28日(水)	留学特集展示	—	110名
22	9月17日(土)	なつかしの映画会『Mr. Smith Goes to Washington』 (邦題:スミス都へ行く)	—	4名
23	〃	アメリカ映画上映会『To Kill a Mockingbird』 (邦題:アラバマ物語)	—	5名
24	10月2日(日)	やさしい本から読み始める英語多読	新川 智清氏	13名
25	10月12日(水) ~30日(日)	ハロウィン企画展示	—	127名
26	10月15日(土)	なつかしの映画会『The Sound of Music』 (邦題:サウンド・オブ・ミュージック)	—	0名
27	〃	アメリカ映画上映会『A Nightmare before Christmas』 (邦題:ナイトメア・ビフォア・クリスマス)	—	11名
28	11月1日(火)	やさしい本から読み始める英語多読	新川 智清氏	13名
29	11月19日(土)	なつかしの映画会『Casablanca』 (邦題:カサブランカ)	—	6名
30	〃	アメリカ映画上映会『Lincoln』 (邦題:リンカーン)	—	8名
31	11月9日(水) ~25日(金)	感謝祭企画展示	—	105名
32	12月1日(木) ~25日(日)	クリスマス特集展示	—	145名

33	12月4日(日)	やさしい本から読み始める英語多読	新川 智清氏	9名
34	12月17日(土)	なつかしの映画会『Miracle of 34th Street』 (邦題:三十四丁目の奇跡)	—	8名
35	〃	アメリカ映画上映会『A Christmas Carol』 (邦題:クリスマス・キャロル)	—	8名
36	12月21日(水)	アメリカ留学説明会	在沖縄米国 総領事館職員	2名
37	1月18日(水) ~31日(火)	アメリカ大統領特集展示	—	89名
38	1月21日(土)	なつかしの映画会『Driving Miss Daisy』 (邦題:ドライビング Miss デイジー)	—	7名
39	〃	アメリカ映画上映会『The Help』 (邦題:ザ・ヘルプ)	—	12名
40	2月3日(金) ~2月26日(日)	企画展『African American History Month』	—	277名
41	2月18日(土)	なつかしの映画会『All About Eve』 (邦題:イブの総て)	—	7名
42	〃	アメリカ映画上映会『The Blind Side』 (邦題:しあわせの隠れ場所)	—	10名
43	2月25日(土)	ウインターコンサート	糸村 葵氏 長間 彩可氏	36名
44	3月1日(水) ~3月26日(日)	企画展『Women's History Month』	—	172名
45	3月15日(水)	アメリカ留学説明会	在沖縄米国 総領事館職員	1名
46	3月18日(土)	なつかしの映画会『The Miracle Worker』 (邦題:奇跡の人)	—	10名
47	〃	アメリカ映画上映会『Erin Brockovich』 (邦題:エリン・ブロコビッチ)	—	11名



●資料部門

□収集方針・選択方針・収集の流れ・選択基準

○図書館運営の原則

浦添市立図書館は、市民の幼児期から高齢期にいたるライフサイクル全体にわたる創造性豊かな自己教育の場であり、住民自治と地域文化の発展に寄与する自治体図書館として本来的な使命に立脚し、情報化社会にダイナミックに対応する「教育・文化・情報のための民主的機関」である。そして、図書館サービスは「いつでも、どこでも、だれでも、なんでも」の民主的サービスの原則によって運営される。

[資料収集規定]

(1) 資料収集方針

図書館運営の原則の考え方を受け、資料収集は、次の基本方針に沿って収集する。

基本方針

- ①市民の要求に基づいて、広く偏らずに資料を収集し、いろいろな立場の思想を包容することが大前提である。公共図書館の任務は、「基本的な人権の一つとして知る自由を持つ市民に資料を提供する」ことが第一義である。したがって、広範は市民の要求、特に潜在化している市民の要求や将来想定される市民の要求にも十分配慮することが求められる。さらに学校図書館をはじめとする各種団体等にも応じられるよう必要な資料を広範囲に収集するよう努める。なお、公共図書館として、この収集方針の範囲を超えていると思われるような資料の請求をうけた場合は、図書館の相互協力システムで他館から借用して提供するよう努める。
- ②図書、逐次刊行物、小冊子、パンフレット類、ビデオやDVD、CDなどの視聴覚資料等、多様な形態の資料を収集する。
- ③正確で信頼のおける情報を収集する。
- ④社会情勢に即した最新の資料を収集する。
- ⑤市民のリクエストに応じて、資料を収集する。
- ⑥利用に応じて、複本を備える。
- ⑦浦添市美術館、浦添市立教育研究所、文化課等の類似機関との相互の連携、協力体制に基づく役割分担や他の図書館（室）との相互協力を踏まえ資料を収集する。
- ⑧資料の収集方法については、購入・寄贈などの手段を活用する。

(2) 資料の選択方針と留意点

資料選択の基本的な方法は、著作者、内容、出版社などの観点から具体的な以下の評価基準を設け、図書館資料の選択に際して採否を判断するものである。

①資料選択方針

著作事項

- ア. 著作者・出版社に信頼のおけるものを選択する。
- イ. 著者が専門、または得意とすることがらについて書いたものを選択する。
- ウ. 発行所は、良心的な出版をしているところを選択する。
- エ. 発行所は商業主義が露骨でないところを選択する。
- オ. 発行年・版次は新しいものを選択する。

②内容

- ア. 俗悪なものに流れず健全なものを選択する。
- イ. その分野の対象に適して、読みやすく健全なものを選択する。
- ウ. 知識を得るための図書。
 - ・新しい知識や研究が述べられたり、新しい方法が紹介されていたりするものを選択する。
 - ・主題について巧みにまとめられているものを選択する。
 - ・一貫した論理で体系づけられ、論旨が明確であるものを選択する。
 - ・事実の叙述は、科学的に正確で実際的であるものを選択する。
 - ・各分野の基本となるものを選択する。
 - ・編集や執筆の態度が良心的であるものを選択する。
 - ・市民の要求にあっているものを選択する。
 - ・取り扱っている範囲は、その主題について市民が学習や研究をするのに適切であるものを

選択する。

- ・異見・異説などのある場合は、必要に応じてこれを紹介し、かつ原拠が明示してあるものを選択する。
- ・引用文・さし絵・写真・図表などは、明確・適切で必要に応じ原拠が示してあるものを選択する。
- ・統計は正確で、調査年度及び原拠が明示してあるものを選択する。
- ・資料の収集が充分になされているか。それらはその主題を解明するのに適切なものであるものを選択する。
- ・主題の取り扱い方は、新しく適切なものを選択する。
- ・主題の取り扱い方法が、研究・実験・観察などの目的を達成するのにふさわしいものを選択する。

エ. 教養・レクリエーションのための図書。

- ・親しみ易く、楽しく読めるものを選択する。
- ・市民の豊かな情操・判断力・鑑賞力・探究心・向上心を伸ばす内容であるものを選択する。
- ・事実を物語っているものを選択する。
- ・正しい道徳、正しい社会的正義感に立脚して書かれているものを選択する。
- ・内容の取り扱いに片寄りが無い。また、前向きであるものを選択する。
- ・市民の興味にあっているものを選択する。

③表現

- ア. 表現のしかたが著者の意図している読者層に即しているものを選択する。
- イ. 正しい語句が使用され明瞭でわかり易いものを選択する。
- ウ. 文章は内容を表現するのにふさわしく、しかも具体的であるものを選択する。
- エ. 翻訳においては、原意をよく伝える文章になっていて、また、原文に忠実であるとともに原作の意図するところを正しく伝えているものを選択する。
- オ. 絵画・写真・グラフ・図表などが、本文の理解を助けるよう工夫されている。また、その置かれている位置が適切なものを選択する。

④構成

- ア. 図書の構成は適切であるものを選択する。
- イ. 書名は内容をよく表しているものを選択する。
- ウ. 索引がついている。また、索引は必要な種類のものが完備しており、選択されている項目は必要にして充分であり、引き易いものを選択する。
- エ. 参考図書が掲げられているものを選択する。

⑤形態

- ア. 製本・外観・大きさが適切で、かつ書誌的な体裁が整っているものを選択する。
- イ. 装丁や表紙のデザインは、内容にふさわしいものを選択する。
- ウ. 製本は堅牢で図書館での長期の使用に耐えられるものを選択する。
- エ. ページ数は内容にふさわしいものを選択する。
- オ. 版のくみ方は、行間・字詰ともに余裕があり、読み易いものを選択する。
- カ. 乱丁・落丁などの事故がないものを選択する。
- キ. 誤植がないものを選択する。
- ク. 印刷は鮮明で見やすいものを選択する。
- ケ. さし絵・写真・地図などは色彩が鮮明で調和がとれ、大きさも適切であるものを選択する。
- コ. 用紙は良質で丈夫であるものを選択する。

⑥価格

- ア. 資料に対して適正なものを選択する。
- イ. 価格だけで安易な選択をしない。

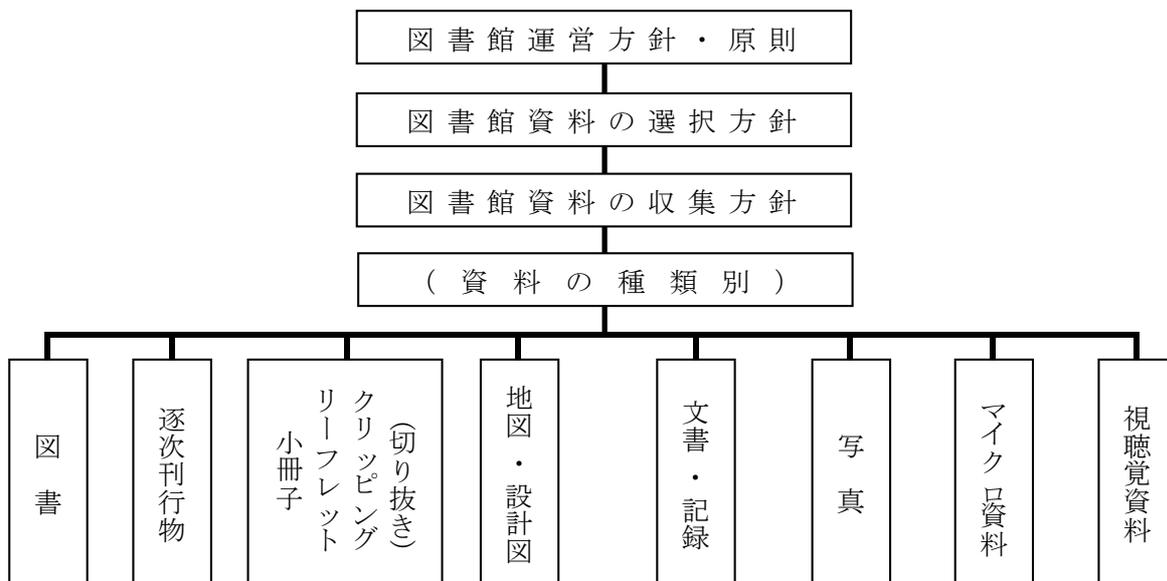
⑦寄贈資料

- ア. 他の図書館資料と同様に扱い、選択する。
- イ. 浦添市に関するすべての資料を選択する。
- ウ. 郷土に関する資料は積極的に選択する。

(3) 資料選択にあたっての留意点

- ①多様な対立する意見のある問題については、それぞれの観点に立つ資料を幅広く収集する。
 - ②著作者の思想的、宗教的立場にとらわれて、その著作を排除しない。
 - ③図書館員の個人的な関心や好みによって選択しない。
 - ④個人、組織、団体からの圧力や干渉によって、収集すべき資料を放棄したり、紛糾を恐れて自己規制をしない。
- ※ 以上のような方針で収集された資料がどのような思想や主張をもっていようとも、それは図書館及び図書館員が支持することを意味しない。資料の持つ思想や主張は、読者であるひとりひとりの市民の自由な思想と判断にゆだねられるものである。そのためにも、図書館ではあらゆる思想、主張が共存するように、資料収集が行われねばならない。
- ※ 「〇〇は収集するな」という形での提案ではなく、「〇〇を収集せよ」「〇〇を収集するならば〇〇をも収集せよ」、「〇〇を収集する際には〇〇に留意せよ」という形での提案が望ましい。そのことによって、図書館の蔵書がより豊かな広がりをもつことが可能となるのである。
- ※ 収集方針は常に市民の議論の対象となるよう市民に公開され、より豊かで実質的な内容あるものとしていく必要がある。
- ※ 以上のような資料選択の留意点も踏まえ、資料の収集・選択方針等は、時代に相応するよう形成されていくものである。

(4) 資料収集の流れ (参考文献『新・図書館ハンドブック』『図書館用語辞典』)



(5) 選書の組織 (体制)

選書は、奉仕係職員を中心に、基本的に図書館職員の合議による選書(「選書会議」)を行う。また、必要に応じ他の職員等を含めた会議(「拡大選書会議」)をもつことができる。「選書会議」「拡大選書会議」は会議の開催による意見交換等を原則とするが、次の場合、文書等で代替することができる。

- ①提案文書に選書提案者名の明示がある。
- ②提案文書に選書対象資料の書誌的事項の明示がある。
- ③提案文書に選書理由の明示がある。
- ④上記①～③に対し、「選書会議」「拡大選書会議」参加対象職員全員の合意が得られている。

いずれの場合においても、選書の結果については『浦添市教育委員会事務決裁規程』(昭和56年6月1日教育委員会訓令甲第2号)第3条の手順を経、第6条別表第2に基づき決裁(課長決裁事項)を受ける。なお、選書に携わるものは、次の事項に留意し、常に公平で適切な選書を行い、バランスのとれた蔵書構成と共に、資料(情報)提供の迅速化をめざす。

- 図書、出版、書籍販売等の歴史的な発展と現状についての歴史
- 利用者や地域社会についての知識

- 館の蔵書についての知識
- 収集のための道具（参考資料）についての知識とそれを使いこなす技術
- 選書ツール収集の技術
 - ・各種刊行物目録、論文の引用文献、出版案内、各図書館の資料目録、古書店の目録等
 - ・新聞、TV、ラジオ、インターネット、雑誌、パンフレット等各種メディアによる書評等
- 思想・信条などにおける公平性
- 各主題についての知識

(6) 資料の種類別選択基準（選書基準）

○図書

- ①継続図書購入をきめ、優先し収集する。
- ②読書案内の各テーマ・著者の本を計画的に収集する。
- ③世の中の動きに即した、時宜の得た本も適宜収集する。
- ④国内出版の和書を中心に、洋書も適宜検討し収集する。
- ⑤レファレンス資料は、基本的な参考図書に加え、最新のものを適宜収集する。
- ⑥多年度にわたり活用が見込まれる資料を優先し収集する。
- ⑦既蔵全集・シリーズ・セットもの等の欠本は、極力補充する。
- ⑧浦添市が活発に取り組む分野に関する図書も収集するよう努める。
- ⑨ドリル等の学校教材、書込式問題集、試験用参考書は収集しない。

一般書（対象：概ね20歳以上、または社会人）

- ①市民の教養、調査研究、レクリエーション等に役立つ資料を各分野にわたり、体系的に収集する。
- ②洋書は市民の要望に即し、適宜収集する。
- ③各分野にわたり、人間の尊厳を損なうおそれのある資料を除き、基礎的なものを収集する。
- ④「名著・古典」から「最新の資料」までをバランスよく収集する。
- ⑤図書館法でいうところの教養（評論・概説書・入門書等）、調査研究（参考図書・学術書等）、レクリエーション（趣味・娯楽・文芸書等）の各ジャンルをバランスよく収集する。
- ⑥大活字本を積極的に収集する。
- ⑦利用対象の年代に合ったものを、バランスよく収集する。

0類 総記

- ①百科辞典、年鑑、新聞等は、レファレンスに利用される頻度が高いため、豊富な資料を収集する。
- ②図書館に関する資料、書誌・目録類、類縁機関に関する資料は積極的に収集する。
- ③叢書・全集は、必要なものは積極的に収集する。
- ④技術革新が著しく、社会的影響も大きい情報科学は、最新の情報を積極的に収集する。

1類 哲学

- ①哲学、心理学、倫理学、宗教については、各分野の基本書を体系的に収集する。
- ②初学者のための入門書・概説書に留意する。
- ③研究書・解説書だけでなく、必要があれば各分野の代表的原点も収集する。
- ④学界、マスコミ等で話題になっているテーマや著者、著作に留意する。
- ⑤心の充足を読書に求める市民のために、人生論、一般向けに書かれたわかりやすい宗教書などに留意する。
- ⑥宗教、占い、姓名判断、オカルトなどのジャンルには留意する。（全ての宗教、占い等を収集することは実際難しく、また資料による読み手への影響がときにはとりざたされるジャンルでもあるので、注意深い選書が望ましい。）

2類 歴史・地理

- ①歴史は、各分野の基本書を体系的に収集する。
- ②歴史はよく利用されるので、一般向けに書かれた歴史読物から入門書、啓蒙書、研究書、史料まで、多様なレベルのものを収集する。
- ③歴史は、歴史観による立論の対立があるので、それぞれの観点に立つ、多様な史料を収集する。
- ④歴史書は、信頼性と正確さを確かめ、特定の史観に偏らないように注意し収集する。
- ⑤通史は正しく史実をふまえているものを収集する。
- ⑥時代史は極めて学術的な著作が多いので、一般読者にも理解できるような平易なものも収集

する。但し、沖縄学研究室との兼ねあいにもよりジャンルによっては専門書も考えられる。

- ⑦伝記は、自伝は詳細な生の資料を使用しているというすぐれた点があるが、自己評価、記述の客観性については、問題がありうる（近親者による伝記もこれに近い）。第三者が著者の場合は、客観的記述の可能性は高いが被伝者に対する著者の評価を伴うので、注意深い選書が望ましい。
- ⑧人々の地理的情報への要求は高まっているため、それに応え、旅行・紀行・案内記などに関する図書を、地理学とその周辺の図書・地図とともに収集する。

3類 社会科学

- ①社会科学は各分野の基本書を体系的に収集する。
- ②社会科学はさまざまな学説や主張が抗争している分野なので、多様な観点に立つ多様な資料を幅広く収集する。
- ③社会科学はその時々時代の時代性と深く結びついている分野なので、今日的主題を重視して収集する。
- ④入門書、概説書は常に新鮮な資料をそろえ、利用の多い分野については、多様な類書を用意する。
- ⑤社会科学は、市民が高度の調査研究に進み得る分野なので、専門の研究者にもある程度のサービスが提供できるよう、必要な専門書は積極的に収集する。
- ⑥日常生活及び実務上必要な実用書、実務書は、豊富に収集する。
- ⑦年間出版点数的には9類文学の次に多く、利用者層や読書傾向を把握し絞り込んで選書する必要がある。

4類 自然科学

- ①自然科学はその進展が著しい分野なので、最新の情報を常に提供できるよう留意する。
- ②自然科学の分野は、非常に細分化・専門化されているので、個別分野の高度な専門書は収集しない。グレードは、大学の一般教養課程程度のもを中心とする。
- ③市民が自然科学全般及び主要な個別分野の状況を概観できるような入門書、概説書を中心に収集する。
- ④自然科学の最新分野について、わかりやすく書かれた本は、積極的に収集する。
- ⑤科学読み物、ドキュメンタリー、ルポタージュ、随筆、写真集、科学を応用したゲーム、遊びなどの一般向けの資料は、積極的に多種多様なものを収集する。
- ⑥科学関係のスタンダードな図書は、書き手によってテーマへのアプローチの仕方に違いがあり、いく通りかの資料をそろえる必要がある。
- ⑦この類は児童の利用も多い。場合によっては、児童書としても受入れることができる。

5類 工学・技術

- ①科学技術はその進展が著しいので、最新の情報を常に提供できるよう留意する。
- ②技術者と工学系学生が使用する高度で専門的な工学書は、利用の見込める資料のみ収集する。
- ③科学技術の最近の動向について、わかりやすく書かれた資料は、積極的に収集する。
- ④趣味や実用に役立つ資料は利用も多いが、蔵書全体のバランスを考え超過しないよう留意し収集する。
- ⑤実用書は図版のよい資料を多様に収集する。
- ⑥定評のある出版社の版を重ねた資料は、一定の水準をもっている。
- ⑦5類は蔵書が古くなりやすいので、最新情報を必要とするものには、特に蔵書更新を心がけ、全体の資料の新鮮度を保つようにする。

6類 産業

- ①社会科学との関連で、商業、運輸交通、通信事業を特に重視する。
- ②趣味に役立つ資料を積極的に収集する。
- ③ビジネスマンや商店主に役立つ資料を積極的に収集する。
- ④産業社会の新しい動向について分かりやすく書かれた資料は積極的に収集する。
- ⑤他の分野と比較しても出版点数が少ないジャンルであるが、多くの利用が期待される分野は充実させ、基本的なものの一部専門的なのが適当な構成になるよう配慮する。

7類 芸術

- ①市民の教養、趣味、娯楽に役立つ資料を鑑賞・研究と製作・実技等との両面にわたり、幅広く収集する。

- ②美術全集・画集・写真集・工芸名品集等は、基本的なものを中心に収集する。専門書については美術館でも収集すると考えられるので、美術館とのバランスに留意する。ただし、何年か経て色があせたもの等は更新するようにする。
- ③趣味として手がける人の多い分野については、入門書を中心に豊富に収集する。
- ④市民の動向・流行に留意し、新しい分野についての情報も迅速に提供できるように努める。また、利用の集中する部分には、十分な量の資料を用意する。
- ⑤著名な画家、彫刻家、写真家、工芸家、音楽家の作品集・伝記は、利用が多いので、なるべく収集する。
- ⑥大型本は、利用に耐えられるよう製本がしっかりしているかどうかをみる。

8類 言語

- ①市民の教養、学習、実用に役立つ資料を収集する。
- ②辞典類、実用書類、外国語習得のための入門書類を中心に収集する。
- ③辞典類はこの分野の核となる資料なので、重点をおいて収集する。
- ④辞典類の改訂については注意を払い、改訂された場合、速やかに更新することが必要である。
- ⑤大活字の事典は積極的に収集する。
- ⑥様々な言語に対して利用者の要求が高まっているため、適宜必要な資料を積極的に収集する。

9類 文学

- ①市民の関心がもっとも高く、また、最も出版点数、利用共に多い分野なので、各分野について豊富な資料を収集する。
- ②文学全般について、多様な資料要求に応えられる蔵書構成を心がける。
- ③日本文学を代表する古典の現代語訳は、様々な訳者が訳本を出版しており、それ自体が文学作品であるため、代表的な訳と思われるものは何点かそろえたい。
- ④全集、作品集に入っている作品でも、利用が多く見込まれるもの、また、単行本・文庫本の形態のほうが利用しやすい作品については単行本・文庫本を複本として収集する。
- ⑤受賞作品や話題になっている作品は、もれなく収集する。
- ⑥利用頻度が高く消耗の激しい文芸書については、必要に応じ買い換える。

児童書（対象：未出産児・0歳～小学生）

- ①図書館を利用する子どもは、ことに幼い子ほど館の蔵書に依存した読書生活を営むことが多く、この時代にふれる書物の影響は大人になってからの読書にはない深い永続的なものがあることから一般図書同様、慎重に収集する。
- ②次代を担う子どもたちのために、優れた児童図書の選択を広く行う。
- ③各ジャンルについて、速報性や時宜を得たものも必要であるが、児童書という性格上、児童の心理や成長発達を考え、より適切なものを選び収集する。
- ④各分野の評価の定まった基本図書や古典的な名著から新刊まで、幅広く優れた図書を収集する。また、日常的に維持・更新し、欠本が生じないように努める。
- ⑤子どもの興味や知的好奇心を満たすような図書を収集する。
- ⑥児童文化研究のための専門書やそのほかの関連資料もあわせて収集する。
- ⑦復刻（復刊）本は、積極的に収集する。
- ⑧利用頻度が高く消耗の激しいものについては、必要に応じ買い換える。
- ⑨調べ学習に対応できる国際理解、情報、環境、福祉、健康等のジャンルに関して、適切なものを選び収集する。
- ⑩性的、洗脳的、暴力・破壊的なもの等、子どもへの影響力が強いものについては慎重に考慮する。

絵本

- ①子供の知的・情緒的経験を広げ、想像力を豊かに養うものを中心に、幅広く収集する。
- ②「よい絵本」など各ブックリストなどにあげられる絵本はできるだけもれなく収集し、必要に応じて複本をそろえる。
- ③評価の定まった絵本作家の作品は、できるだけもれなく収集・保存する。
- ④評価の高い作品、評価の定まった絵本作家の作品を中心にできるだけ原書の絵本も収集する。
- ⑤絵が見るものに訴えかけるものを持っているものを選び収集する。
- ⑥絵がストーリーを語るものを選び収集する。
- ⑦絵と文がきちんと一体化されているものを選び収集する。

- ⑧構図がしっかりしていて、色もきちんとしているものを選び収集する。
- ⑨子どもにふさわしい、暖かみのある絵が描かれているものを選び収集する。
- ⑩ストーリーは子供にふさわしいものを選び収集する。
- ⑪長年にわたって読みつがれてきたものを選び収集する。
- ⑫古典・名作・昔話等を無理に対象年齢を下げた絵本化していないものを選び収集する。

紙芝居

- ①紙芝居の「ぬく」という性質を十分に生かしたものを選び収集する。
- ②画面の絵と語られる文が調和しているものを選び収集する。
- ③子どもの生活に密接した題材を扱ったものを選び収集する。
- ④子どもの生活を高められるものを選び収集する。
- ⑤子どもの想像の世界を広げられるものを選び収集する。

ノンフィクション全般

- ①子どもの興味を引きつける書き方の本、また、さらに興味を広げる本を選び収集する。
- ②子どもの発達段階に応じて、理解しやすい内容、表現方法の工夫のあるものを選び収集する。
- ③最新の資料で書かれている本（少なくとも3年以内）を選び収集する。
- ④適切な挿絵、写真が使われていて、内容の理解を助けるものを選び収集する。
- ⑤専門用語や難解な語句には、フリガナがふってあり、分かりやすい説明があるものを選び収集する。
- ⑥参考文献等が示されているものを選び収集する。
- ⑦学習参考書は選択しない。

J0類 総記

- ①子どもたちの調べ学習等にこたえられるよう、百科事典を中心に、調査研究のための資料を収集する。

J1類 哲学

- ①出版点数が少ないが、分かりやすい哲学、倫理、思想、宗教の資料を収集する。
- ②子どもたちの悩みにこたえられる人生論や心理の資料を収集する。

J2類 歴史

- ①利用も多く、出版点数も多いので、体系的に収集する。
- ②教科学習にも役立つ資料を収集する。
- ③利用の多い資料については、必要に応じて複本を収集する。
- ④図版、写真、イラスト、マンガなどを使った資料に留意する。

J3類 社会学

- ①子どもの社会に対する見方を広げ深める資料を体系的に収集する。
- ②社会の動向について記述されている資料に留意する。
- ③多様な対立する意見のある問題については、それぞれの観点に立つ資料を幅広く収集する。
- ④教科学習にも役立つ資料を収集する。

J4類 自然科学

- ①利用が多く、出版点数も多い分野なので、子どもに科学的な物の見方、考え方を育てる資料を基本に体系的に収集する。
- ②科学・技術の進歩にあわせ、内容の新しさに十分留意する。
- ③子どもの旺盛な知識欲にこたえられるよう幅広い多様なテーマの資料を収集する。
- ④自然に対する興味や関心を深め、子どもと自然とのふれあいの手引きとなるような資料を収集する。
- ⑤子どもの発達段階に応じた資料をそろえる。
- ⑥テーマが明確なものを選び収集する。
- ⑦正確な知識に基づいて書かれているものを選び収集する。
- ⑧実験に関するは、子どもが行っても安全性が高いものを選び収集する。
- ⑨結果だけでなく、過程や考え方詳しく書かれているものを選び収集する。
- ⑩図鑑ものについては、目次・索引が整備されていて、ひきやすいものを選び収集する。

J5類 工学

- ①子どもたちに知的刺激を与え、創造や製作への意欲を高めるような、科学技術とその応用について、分かりやすく書かれた資料を収集する。

②工作や料理・手芸等の分野では、子どもたちが心から楽しみ遊べるような娯楽性、実用性の高い資料を収集する。

③科学技術の進展にあわせ、新しい内容の資料に留意する。

J6類 産業

①教科学習に役立つ多様な資料を収集する。

②ペットの飼い方や草花の栽培は、実用性の高い資料を収集する。

③情報化社会等産業界の新しい動向にふれた資料に留意する。

J7類 芸術

①利用が多いので、各分野の基本書を体系的に収集する。

②子どもたちが心から楽しみ遊べるような、娯楽性、実用性の高い資料を収集する。

③子どもたちの趣向や流行に留意し、最新情報を提供できるよう資料を収集する。

④図版、写真、イラスト、マンガを使用した資料に留意する。

⑤より豊かな生活を営む契機となりえるものを選び収集する。

⑥実際にできるように、基礎的なことから分かりやすく説明されているものを選び収集する。

⑦内容が正確なものを選び収集する。(折紙、あやとりで実際にできるもの等)

⑧身近なものを使ってでき、材料・道具の大切さと、正しい扱い方が書かれているものを選び収集する。

J8類 語学

①出版点数の少ない分野だが、教科学習に役立つ資料を中心に収集する。

②言葉を正しく理解し、表現することを目的とするものを選び収集する。

③分かりやすい表現で、興味深く学べるものを選び収集する。

④外国語は英語を主に収集する。

J9類 文学

①豊かな想像力を養えるもの、子どもの視野を広げて、より高度な読書の世界へと誘えるものを中心に幅広く収集する。

②『子どもの本棚』や各ブックリストなどにあげられた資料はなるべく収集し、必要に応じて複本をそろえる。

③評価の定まった作家の作品は、できるだけもれなく収集・保存する。

④子どもに人気のある作品は、必要に応じ複本をそろえる。

⑤筋運びが独創的で起承転結があり、話の中に引き込まれるものを選び収集する。

⑥登場人物が生き生きとして明確であり、子どもが共感できるものを選び収集する。

⑦作者の言いたいことが子どもにわかるように書いてあるものを選び収集する。

⑧不自然な飛躍や省略がなく、結末がはぐらかされず、子どもが読み終わって満足できるものを選び収集する。

⑨状況設定が暗くとも前向きに書かれていて、明日に希望と勇気をもたせてくれるもの、また、子どもの成長を促すものを選び収集する。

⑩挿絵が文章と一体となって、イメージを膨らませる手助けになっているものを選び収集する。

⑪言葉は美しく、簡潔な文章で書かれているものを選び収集する。

⑫行間、フリガナ、字の大きさ等にも留意し、子どもが読みやすいものを選び収集する。

RJ 参考図書(調べ学習用)

①子どもの調査研究に役立つ資料を収集する。

②基本的に貸出はしない。(貸出に対する要望については、必要に応じ複本を揃え応える。)

③最新の情報に留意し、資料の更新に努める。

④調べ物学習で使えるヤングアダルトの参考図書も必要に応じてここに排架し、活用を図る。

ヤングアダルト(対象：中学生～大学生)

①ヤングアダルト世代に必要な心理・成長・発達を考え、より適切なものを選び収集する。また、児童書と一般書の橋渡しとなる蔵書構成をめざすし収集する。

②調べ学習に対応できる国際理解、情報、環境、福祉、健康等のジャンルに関して、適切なものを選び収集する。

③ヤングアダルト世代が興味をもつジャンルに関しては、適宜収集する。

④不明、汚破損の可能性が高い資料(文庫本、アニメ本、芸能人本等)については考慮し収集する。

- ⑤写真、イラスト、マンガを使用した資料、入門書的な資料に留意する。
 - ⑥各分野の評価の定まった基本図書や古典的な名著から新刊まで、幅広く優れた図書を収集する。また、日常的に維持・更新し、欠本が生じないように努める。
 - ⑦各種進学案内、就職案内など進路の手助けとなる資料は、最新の情報を必要とするため、年度毎にバランスよく更新する。
 - ⑧性的、洗脳的、暴力・破壊的なもの等、読み手への影響力が強いものについては慎重に考慮する。
- ※一般書・児童書双方の選択基準を参照

郷土資料

- ①郷土資料とは「郷土と郷土関係者などに関する文献、視聴覚資料、博物館的資料などの当該地域に関する一切の資料」(『最新 図書館用語大辞典』柏書房 より)を指すが、当館で指す郷土資料の範囲は、以下のものを言う。
 - ア 現在の行政区域である沖縄県の全地域。
 - イ 奄美大島諸島と一部鹿児島県を準郷土資料とし郷土と同様に扱う。
 - ウ 郷土、その他郷土の事物現象を主題とした資料。
 - エ 一部に郷土関係の掲載及び郷土出身者の掲載がある資料。
 - オ 郷土において出版された資料。
 - カ 郷土出身者、郷土在住者の著作物。(内容が全く郷土と関係なくても。)
- ②郷土資料を計画的・網羅的に収集する。特に浦添市に関する資料や浦添市で刊行された資料(冊子、パンフレット、リーフレット等)は、もれなく積極的に収集する。(浦添市に関する資料は、一般的資料と異なり、他図書館に頼ることができないため、その収集は当館が負う重要な責務であると考える。)
- ③市民の調査、研究、教養その他生活情報に資するため、また郷土の歴史を後世につたえるため、郷土に関する多様な資料を積極的に収集する。
- ④必要に応じて複本を収集する。
- ⑤郷土資料の充実は、図書館だけの収集努力では限界があるので、資料に関する情報、寄贈、執筆等あらゆる面で、市民及び関係機関との協力を仰ぎながら収集する。
- ⑥郷土資料は別置記号を与え、整理する。浦添市関連資料は「S」、一般的郷土資料は「K」とする。

沖縄学研究室所蔵は、沖縄関係「UK」、県外関係機関資料を「U」とする。分類については、浦添市関連資料と一般的郷土資料は共通とする。
- ⑦分担収集については、沖縄学研究室、美術館などとも調整をはかりながら行う。特に本館郷土と沖縄学研究室は、適宜協議しながら収集する。
 - ア 本館は、原則として新刊書を中心に収集するが、沖縄学研究室以外の資料全般を可能な限り収集し、必要に応じ複本などの補充に努める。
 - ・浦添市が活発に取り組む分野についても収集するよう努める。
 - ・一般書・雑誌等で一部分郷土の記載があるものについても収集する。
 - イ 沖縄学研究室は、専門書、研究論文や本館未所蔵の古書等を中心に、必要に応じ新刊も収集する。

(収集範囲：沖縄関係・沖縄に関する中国をはじめとするアジア関係資料、県内外関係機関資料等。)

K0類 総記

K1類 哲学

K2類 歴史

- ①利用の多い分野なので、積極的に収集する。
- ②通史、時代史はすべて収集する。
- ③郷土の各地域史は、収集もれないよう特に留意する。

K3類 社会科学

- ①この分野は、自治体発行の行政資料や政府刊行物が大部分を占める。
- ②行政の動勢を知る基本資料であるので、必要なものは極力収集する。
- ③行政の刊行する資料だけでなく、住民団体、市民団体などが刊行する資料に留意する。
- ④浦添市議会議事録はすべて収集する。
- ⑤沖縄県財政、浦添市財政を概観できる予算書・決算書をはじめとする資料は、積極的に収集する。

- K4類 自然科学
- K5類 工学・工業
- K6類 産業

- ①利用が多い分野は、重点的に収集する。
- ②郷土の特産的なものに関しては重点をおいて収集する。
- ③浦添市内の企業、事業所の沿革等、関連資料を積極的に収集する。

K7類 芸術

- ①利用が多いので、積極的に収集する。
- ②『沖展』は開催地が浦添市となっているため、毎年収集するよう努める。
- ③芸術家、美術家、スポーツ選手の伝記などは極力収集するよう努める。

K8類 琉球方言

- ①積極的に収集する。
- ②利用が多いので、必要に応じて複本を収集する。

K9類 琉球文学

- ①郷土の文学を総括的に扱っている資料は積極的に収集する。
- ②郷土の文学者の伝記、作家論は極力収集するよう努める。
- ③郷土発行の文学雑誌、同人誌などは図書として扱う。

JK 児童郷土/EK 郷土絵本

- ①子どもの調査研究に役立つよう、郷土に関する資料を収集する。
- ②郷土を概観できる資料を収集する。
- ③浦添市関係資料については JK では収集しない。
- ④利用が集中する主題や資料については、複本や類書を必要に応じて収集する。
- ⑤成人向け資料であっても、子どもの利用に適する資料を収集する。

参考図書

参考図書は「特定の知識・情報について調べるための図書。各項目の簡潔な説明が一定の体系順に配列してあり、求める知識・情報を容易に探し出せるように編纂してある。通読するのではなく、必要な箇所だけを読めばよいもの」(『最新 図書館用語大辞典』柏書房 より)である。図書館のレファレンスサービスを効果的に行うために重要な資料であり、参考図書の充実がレファレンスサービスを充実させる大きな要素である。当館では概ね、参考図書は、百科事典・総合年鑑などの一般参考図書と、専門事典・専門年鑑などの専門参考図書とに大別する。

- ①市民の調査研究に役立つ参考図書は、積極的に収集する。
- ②参考図書は原則として貸し出しを行わない。

○視聴覚資料

- ①比較的長期・多利用に耐えうる CD (コンパクトディスク) 資料を基本とする。
CT (カセットテープ) は、特に必要な場合に限り収集する。
- ②郷土資料はジャンルを問わず、網羅的に収集し、浦添市出身、浦添市に関係のある人物・作品はもれなく収集する。
- ③レンタル業との競合を避け、発売開始後一定期間経たものを、下記のジャンルでバランス良く収集する。
 - ア 郷土(琉球民謡・県出身者の音楽・インディーズ盤等、図書の郷土の範囲に準ずるもの。)
 - イ クラシック音楽 (古典派音楽・バレエ音楽・声楽曲・歌劇・行進曲・宗教音楽等。)
 - ウ 児童音楽 (アニメーション音楽を除く、唱歌・式・祭典音楽等、他児童に関するもの。)
 - エ 自然音・効果音
 - オ イージー・リスニング等 (インストルメンタル・ムード音楽・実用音楽・フュージョン・ボーカルなしのジャズ及び映画音楽及び放送音楽等。)
 - カ 文学作品の朗読・解説等 (文芸・口頭表現・語学・演芸・演劇等。)
 - キ 民族音楽 (日本民謡・外国音楽・純邦楽等。)
- ④映像資料は、DVD の普及により市民の要求が高まっているため、DVD 資料を基本とする。但し、DVD では発売されず、ビデオ等の媒体のみで発売される資料については必要に応じて収集する。
- ⑤映像資料は、図書館行事に使用するもので上映許諾を得たもののみを選択する。
- ⑥CD-ROM は、著作権に配慮し、当分の間収集を見合わせる。

○雑誌・新聞・逐次刊行物

- ①発行の目的が誠実であるものを選択する。
- ②編集者に企画力や取材力があるものを選択する。
- ③伝統の有無も考慮し選択する。
- ④対象としている読者層を見極めているものを選択する。
- ⑤切り取りの多い趣味的なものは避ける。
- ⑥広告の占める割合の多いものは避ける。

○マンガ

- ①マンガは大衆文化のひとつとして確固たる地位を獲得しており、図書館として保存・提供するのに対応しい資料を収集する。
- ②日本のマンガ史上、重要とされる作品、各時代を代表する資料的価値の高い作品、社会的評価を得ている作品を選び収集する。
- ③原則として刊行が終了しており、評価の定まっているものを選び収集する。ただし、刊行が始まって15年経過し、すでに評価が定まっているものについては、刊行途中でも選書対象とする。
(例、『ガラスの仮面』『ドラえもん』『美味しんぼ』『小さな恋のものがたり』など。)
- ④文化庁メディア芸術祭・マンガ部門、手塚治虫文化賞、小学館漫画賞、講談社漫画賞、日本漫画家協会賞等を受賞した作品、候補にあがったものには留意する。その他、国内外の賞などで話題になったものには留意する。
- ⑤定評のある作家でも、名前だけで選ぶことはせず、個々の作品について選択する。
- ⑥演劇など他の芸術領域に影響を及ぼしているものには留意し、選択する。
- ⑦マンガの視覚的な特性を考慮し選択する。
- ⑧暴力及び性表現の露骨なものは慎重に選択する。
- ⑨反社会的・非道徳的な事柄を扱っているものは慎重に選択する。
- ⑩人間や生命の尊厳を脅かすもの、人権侵害・差別について配慮を欠くと認められるものについては選択の対象から外す。
- ⑪利用対象にあったものを選択する。
- ⑫児童向けについては、人間性を育み、教育上価値のあると思われるものを選択して収集する。
また、多巻ものが多いため、購入の際にはタイトル選択に気をつける。

○ムック (mook)

①趣旨

一般的にムック (mook) とは「雑誌 (magazine) と図書 (book) の合成語で、雑誌風の図書、あるいは図書風の雑誌のこと。— 中略 — 雑誌的な内容・レイアウトのもので、号数をもちながら1冊1冊は図書の性質を持つもの」(『最新 図書館用語大辞典』柏書房)をいう。当館では、雑誌同様終期を予期せず継続刊行されているが、雑誌扱いではなく図書として受け入れを要する資料を指す。

②受入基準

各資料の種類別選択基準に準じる。

ムックは雑誌同様継続購読が予想されるため、選書には細心の注意をはらうこととする。但し、以下に該当する資料は資料の購入を控える。

ア 選択基準外。(CD-ROM、DVD 等付録付き。)

イ 利用が見込めない(回転しない)ジャンル。

ウ 専門的すぎる資料。

エ 高価すぎるため、貸出用資料に適さないもの。

オ 不明、破損、汚損などになりやすいジャンル。

カ 書誌情報不詳。

キ 蔵書バランスを崩す恐れのある、特定ジャンルの資料。

○寄贈資料

- ①資料の収集、選択方針に準じて収集する。
- ②官公庁や研究機関等の刊行する各種の統計書や報告書等は、市販されていないものが多く、寄贈依頼、又は資料交換等によって積極的に収集する。
- ③本館と沖縄学研究室は、それぞれの収集方針により協議しながら収集に努める。
ア 本館は、個人、出版社の刊行物及び官公庁発行の統計書や報告書等を収集する。

イ 沖縄学研究室は、官公庁発行の市町村史、文化財報告書、大学・各研究機関発行の紀要及び論文集等の専門的なものを収集する。

(7) リクエスト受入基準

①趣旨

一般的にリクエストとは「要求された資料に対して、所蔵の有無にかかわらず図書館側が何らかの方法により一定期間内に提供すること」(『最新 図書館用語大事典』柏書房)をいう。当館でいうリクエストは基本的には、所蔵しない資料を購入することを指し、相互貸借で他館から借用することも含む。

②受付件数

・年度で1利用者5点まで。

③購入提供点数

リクエストを受けた資料は極力提供するよう努める。

しかし、特定の利用者が特定のジャンルを集中的にリクエストする傾向がある。その場合、蔵書バランスを崩す恐れがあるため、リクエストを受けた資料をすべて購入することは予算的にも実際困難である。あくまでも、全体の蔵書バランスを崩さないよう考慮したうえで、資料の購入を検討する。

④受入基準

各資料の種類別選択基準に準じる。

但し、以下に該当する資料の購入は控え、相互貸借による提供とする。

ア 選択基準外。(CD-ROM、DVD、漫画、参考書等。)

イ 利用が見込めない(回転しない)ジャンル。

ウ 専門的すぎる資料。

エ 全集、シリーズ、多巻ものの中の1冊。(1冊入れると全部入れる必要が生じる。)

オ 高価すぎるため、貸出用資料に適さないもの。

カ 不明、破損、汚損等になりやすいジャンル。

キ 書誌情報不詳。(書誌や版・刷の情報が不明。)

ク 入手不可。(品切れ・絶版等。)

ケ 利用者が相互貸借を希望している資料。

コ 蔵書バランスを崩す恐れのある、特定ジャンルの資料。

(8) 弁償資料代替指定基準

①趣旨

「公立図書館の蔵書は、住民の共有する貴重な知的財産であり、公立図書館は住民の信託に基づいて、資料の提供の任にあたっているものと考えられる。したがって、利用者が故意または不注意によって、利用中の図書館資料を汚損、破損または亡失したときは、弁償の責任を負わなければならない」(『最新 図書館用語大事典』柏書房) 当館もまた公立図書館として市民の知的財産を守る使命があり、利用者が図書館資料を汚損、破損または亡失したときには当該者による弁償の基準について必要な事項を以下に定める。

②弁償の原則

- ・亡失等資料と同一のものを弁償する。
- ・現物弁償を原則として、現金弁償は行わない。

③代替資料による弁償

・同一資料が絶版等の理由により入手不可能な場合は、館長の指定する代替資料にて弁償を指定する。

ア 図書

- ・当館選択基準に準じた資料。
- ・亡失等資料の相当額(価格内)資料。
- ・購入・入手可能な資料。
- ・同分類で該当資料がない場合はこの限りではない。
- ・官公庁発行資料で非売品の場合は、発行先に在庫を確認した上で指定。
- ・亡失等資料の価格が不明、または貴重で時価が出版当時の定価と著しく異なる場合、古

書店へ現在の流通価格を確認した上で指定。

イ 雑誌

- ・絶版になるサイクルが早く、また現物資料での購入が可能だとしても、保存年限切れで確実に数年後には除籍になってしまうため、現物の入手可・不可に関わらず図書での指定に代える。
- ・図書の代替指定に準じる。
- ・沖縄関係の雑誌は除籍後製本化し永年保存となるため、入手の有無を確認し、できるだけ現物弁償とする。

ウ 視聴覚資料

- ・図書の代替指定に準じる。
- ・視聴覚資料選択基準内の範囲内で、弁償資料の価格内で購入可能な資料を指定する。但し、廃盤等により貴重資料となった視聴覚資料の場合は、時価の価格での指定とする。

(9) 館外貸出禁止資料（禁帯出・貴重資料）指定基準

①趣旨

当館における館外貸出禁止資料（禁帯出・貴重資料）の指定基準を定める。

②指定

- ・次項に掲げる基準に従い、館長がこれを行う。
- ・館長は、必要に応じて館外貸出禁止資料（禁帯出・貴重資料）の指定を解除することができる。

③館外貸出禁止資料（禁帯出・貴重資料）の指定基準

- ・参考図書など利用が頻繁なもの
- ・高価なもの
- ・欠本を生じた場合に、集書としての価値を失い、かつ補充が困難となるもの
- ・資料的・歴史的価値があるもの
- ・一括して取扱うことによって資料的価値の生ずるもの
- ・特殊なしかけ絵本等貸出用資料として適さないもの
- ・新聞原紙、雑誌・逐次刊行物の最新号
- ・レファレンス資料として活用できるもの
- ・貴重資料においては、特に入手困難なもの
- ・その他、館長が必要と認めたもの

(10) 書架移動に関するマニュアル

目的

- ・開架書架において新鮮な魅力あるよりよい書架づくりをめざす。
- ・開架書架、閉架書庫への移動作業の効率化を図る。
- 除架（開架書架から抜き取りを行う際の目安）→閉架書庫へ
- ・個々の資料について、その資料的価値、利用頻度、類書の多寡などを考慮しながら総合的に評価する。
- ・抜き取りの判断は現物にあたって行う。
- ・判断に迷うときには複数の職員にて判断する。

※閉架書庫へ移動した資料でも、開架書架の状態や、時宜、出版流通状況等にあわせ柔軟に開架書架⇔閉架書庫の移動を行う。

[本館]

一般書

①複本・・・基本的に閉架書庫へ

- ・出版年の古い方を抜く。
- ・同じ出版年の場合は傷み具合を加味。
- ・出版年が前後する場合には傷みが激しい方を抜く。
- ・改版が出た場合には旧版を抜く。

※但し以下の場合は除く。

- ・同タイトルで出版社違い。
- ・同タイトルの単行本と文庫本、単行本と全集。(収録。)
- ・利用頻度の高いもの。

②新版が出た旧版資料

- ・年鑑、シリーズもの等。

③受入後相当期間を経過し、かつ利用頻度が低いもの。

- ・平成7年(1995)〈開館10年〉以前に購入したもの。
- ・過去3年間貸出が一度もないもの。

※但し、基本図書についてはその限りでない。

④書架不明になる可能性が高いもの。

⑤類書が多いもの。

⑥開架書架への排架にそぐわないもの。

- ・資料の内容に修正・変更があったもの。(数値データ等にズレがある等。)
- ・内容が時代に適さない実用書。
- ・季節感がずれている実用書。
- ・多巻もので巻号が揃わないもの。
- ・「シミあり」「落書きあり」等シール貼付資料のうち、状態が悪いもの。
- ・背文字が焼けたもの。
- ・型紙、付録がないもの。
- ・その他、利用者の読書意欲を阻害するようなもの。

YA

①複本・・・基本的に閉架書庫へ。

- ・出版年の古い方を抜く。
- ・同じ出版年の場合は傷み具合を加味。
- ・出版年が前後する場合には傷みが激しい方を抜く。
- ・1冊はBM、その他は閉架書庫へ。

②新版が出た旧版資料。

- ・『なるには』シリーズ、留学・学校案内、レファレンス資料等。

※但し、禁帯資料である留学・学校案内、レファレンス資料の旧版は貸出用へ。

③受入後相当期間を経過し、かつ利用頻度が低いもの。

- ・平成7年(1995)〈開館10年〉以前に購入したもの。
- ・過去3年間貸出が一度もないもの。

※但し、岩波少年文庫等の基本図書についてはその限りでない。

④書架不明になる可能性が高いもの。

⑤類書が多いもの。

⑥開架書架への排架にそぐわないもの。

- ・資料の内容に修正・変更があったもの。(数値データ等にズレがある等。)
- ・内容が時代に適さない実用書。
- ・季節感がずれている実用書。
- ・多巻もので巻号が揃わないもの。
- ・「シミあり」「落書きあり」等シール貼付資料のうち、状態が悪いもの。
- ・背文字が焼けたもの。
- ・型紙、付録がないもの。
- ・その他、児童・生徒の読書意欲を阻害するようなもの。

児童書

①複本・・・基本的に閉架書庫へ。

- ・0～9類：利用頻度に関わらず複本は全て閉架書庫へ。

※但し、4類と9類については除く、特に9類について、以下3点に関しては除く。

(1)ハードカバーと文庫版の出版社が異なる。

- (2) 翻訳者が異なる。
- (3) 前記(1)で出版社が同じだが利用頻度の高いもの。
 - ・絵本
- (1) 利用頻度が低いもの・・・過去5年間の貸出累計数が全館で10回以上ならば複本1冊以上残し、その他は閉架書庫へ。
- (2) 出版から3年経過した本・・・複本を開架書庫に残し、あとは閉架書庫へ。
 - (冊数は状況により異なる。)
 - (これまでの平均回転数を参考にし10回とする。)
- (3) 状態が悪いもの以外は抜き取りを行わない。
 - (利用頻度が高いため。)
- (4) JK・EK・・・1～2冊を開架書庫に残し、あとは閉架書庫へ。
 - (総合学習等調べものの状況により異なる。)
- ②新版が出た旧版資料、情報が古いもの。
 - ・年鑑、シリーズもの、児童レファレンス資料等。
- ※但し、禁帯資料である児童レファレンス資料の旧版は貸出用へ、旧旧版は閉架書庫へ。
- ③開架書庫への排架にそぐわないもの。
 - ・資料の内容に修正・変更があったもの。(数値データ等にズレがある等。)
 - ・内容が時代に適さない実用書。
 - ・「シミあり」「落書きあり」等シール貼付資料のうち、児童の利用に不適切と思われる状態の悪いもの。
 - ・背文字が焼けたもの。
 - ・型紙、付録がないもの。

レファレンス資料(郷土資料含)

- ①複本・・・基本的に閉架書庫へ。
 - ※但し、利用頻度の高いものは除く。
- ②新版が出た旧版資料。
 - ・年鑑、統計、シリーズもの等。
- ※但し、禁帯資料である資格関連、家庭の医学関連の旧版は貸出用へ、旧旧版は閉架書庫へ。
 - ・平成7年(1995)〈開館10年〉以前に購入したもの。
 - ・過去3年間貸出が一度もないもの。(禁帯資料を除く。)
- ※但し、ジャンルが少ないものに関してはこの限りでない。
- ③類書が多いもの。
- ④開架書庫への排架にそぐわないもの。
 - ・「シミあり」「落書きあり」等シール貼付資料のうち、著しく状態が悪いもの。

雑誌

- ・原則として雑誌書庫の半分を目安とし、それを超えるようであれば閉架書庫へ移動、雑誌の厚み・大きさ等で書庫がすぐにいっぱいになるものは随時古いものから移動。
- ①受入後相当期間を経過したもの。
 - (1) 月刊誌・・・出版6ヶ月後。
 - (2) 週刊誌・・・出版3ヵ月後。
 - (3) 隔月刊誌・季刊誌・不定期刊誌・・・雑誌書庫の半分を目安とする。
- ②書庫不明になる可能性が高いもの。(最新号の紛失が続くもの等。)
- ③季節感がずれているもの。
- ④汚損・破損の激しいもの。

AV

- ①複本はBMへ移動。
- ②提供が困難と思われる資料(1曲以上音飛び、歌詞カードや解説書なしのもの、CD枚数が不足等)については閉架書庫へ移動。提供が困難な資料につき、貸出禁止の状態にする。
- ③録音図書(逐次)は保存年限が1年のため毎年蔵書点検前に前年度分を閉架書庫へ。

[BM]

BM(車)→BM(BMコーナー)、BM(BMコーナー)→開架、BM(車)→開架、開架→BM(車)

- ・原則として、BMからすぐ閉架書庫へ移動とはせず、まずは開架書庫へ移動する。BM書架の状況や利用者動向に注目し、適宜BM(車)⇔BM(BMコーナー)⇔開架の移動をする。その際にはBM・本館協力の上で行う。

一般書

- ・BM利用者の多様なニーズに併せ、定期的の本館との入替を行う。
- ・BMで利用の少ないものを本館へ移動する。その際には以下のことを考慮する。
※但し、BMと本館合意の上で必要に応じての移動についてはその限りではない。また、BMに所蔵がないもので必要なものを適宜本館から補充移動する。
 - (1) BM(車)→BM(BMコーナー)
- ・としまる書架へ入りきれなくなったもの。
- ・過去1年間貸出が一度もないもの。
 - (2) BM(車)→開架
- ・所蔵状態が悪いもの。

YA

- ・BM(車)に関しては随時、本館YA書架から補充する。また絶えず担当間で調整を行い、各書架移動動向に注目し、資料の移動を行う。

児童書

- ・本館からBMにない資料を、開架書架からは所蔵状態がよいものをBMへ移動。BMからの開架書架へ移動する際には、本館児童担当に引き継ぐ。
本館児童担当は本館開架資料の状態と比較し、状態のよいものを開架書架へ出し、その他は閉架書庫へ移動する。複本の状況も考慮する。

郷土書

- ・複本があるもののうち、過去1年間貸出が一度もないものは閉架書庫へ。

雑誌

- ・出版後半年を越えるものに関しては本館へ移動。但し、回転数が多いものについては10ヶ月を越えてもよい。

AV

- ・提供が困難と思われる資料(1曲以上音飛び、歌詞カードや解説書なしのもの、CD枚数が不足等)については閉架書庫へ移動。提供困難な資料につき、貸出禁止の状態にする。
- ・補充は随時本館AV書架から行う。また絶えずBM・本館AVで調整を行い、各書架の利用動向に注目し、BM⇔AV開架書架での資料の移動を行う。

除籍提案

前項までの基準により閉架書庫へ移動した資料で、特に次のことに留意し、除籍する。

- ①衛生面で問題のあるもの。
- ②復元不能なもの。
- ③内容が時代に適さないもの。
- ④閉架書庫を占有し、書庫(書架)を圧迫しているもの。
- ⑤著しく利用頻度が低いもの。
- ⑥その他、資料提供・書架管理業務において新たに発生した原因により所蔵が適切と思われるもの等、「除籍基準」の各項目に該当するものを、奉仕係各担当とおし館長への除籍提案をすることができる。提案の際には、資料の状態を「除汚」とする。

●文化部紀要『よのつち』図書館関係執筆者一覧

◆執筆職員【執筆順】

号	執筆者	タイトル
創刊号	森田牧子・石川典子 神山睦美・又吉愛子	凶南の鵬翼 ～働く場・育てる場としての公共図書館～Vol. 1
	玉城伸子	オモロに見る神女 —高級神女三十三君と地方神女—
2	當銘めぐみ	アメリカ公共図書館視察報告
4	津波 清	家譜に見る士族の位階と職
	前津政廣	浦添市移民史編集刊行事業について
5	津波 清	浦添の今昔と移住者の軌跡
	森田牧子	図書館サービスの一年 —そしてここに至るまでの数年—
	前津政廣	南米ブラジル・アルゼンチンにおける移民現地調査報告
6	前津政廣	南米(ペルー・ボリビア・ブラジル)移民調査概要報告(Ⅱ)
	平良元輝	次代に架ける喜びの虹 —移動図書館[としょまる]のあゆみ—
7	津波 清	ハワイ諸島・北米移民移住調査概要
	新城恵理	アメリカ情報コーナー開設と図書館行事
	比嘉要一・口野美由紀 森田牧子・銘苺千賀代	「新おはなしコーナー(仮称)増築のことなど —児童サービスの充実を期して—
8	砂川郁子	開館 26 周年を経て図書館管理を考える
9	栗野慎一郎	幕末維新期の「琉球情報」に関する史料学的研究Ⅱ —『島津斉彬文書』に見る「評定所文書」関連記事—
10	栗野慎一郎	幕末維新期の「琉球情報」に関する史料学的研究Ⅲ —『尚家文書』に見る「評定所文書」関係記事 (異国船関係資料を中心に)—
11	仲地清	沖縄の日本復帰とそれが在沖フィリピン人社会へ与えた影響
	森田牧子・宇良留美	アメリカ情報コーナーの10年
12	鈴木悠・安和吉則 栗野慎一郎	呉姓我那覇家の家族史 —泊家伝承の厨子甕と家譜から—
	栗野慎一郎	尚維衡の浦添隠棲について—関係史料を読む—
	石川友紀	カナダへの沖縄出身移民の歴史と実態

『よのつち』とは、浦添と沖縄の歴史、文化美術、工芸、自然などに関する調査・研究と、浦添市の文化財、文化振興、図書館、美術館の将来展望につながる調査・研究などを通して浦添市や沖縄県の文化・学術・文化行政の振興と発展に寄与することを目的に浦添市教育委員会文化部が発行する。また、その発行を通して浦添市文化部職員の資質向上を図るとともにその趣旨に賛同する者を支援することを目的とする。

沖縄学研究室

●沖縄学研究室の概要

開 室 平成2年4月1日

所蔵資料 約30,000点(図書資料、マイクロフィルム、写真、パネル等)

●沖縄学研究室の運営方針

沖縄学研究室の運営方針を「浦添市立図書館の設置および管理に関する条例施行規則第2条14号、15号」と「浦添市立図書館の努力目標(4)」に基づいて次のように定める。

1. 施行規則第2条

14号「郷土資料及び地方行政資料の収集並びに貸出し」

15号「沖縄学の研究」

2. 図書館の努力目標

(4)「浦添市に関する全ての資料を収集する。また、市の地域的・歴史的特性を踏まえ沖縄学研究の拠点となる図書館を目指す」

●平成29年度沖縄学研究室の重点目標と主な事業計画

平成29年度沖縄学研究室の重点目標を次のように設定し、主な事業を次のように計画する。

1. 重点目標及び努力目標

浦添市立図書館の施行規則及び努力目標の規定を受け、重点目標を次のように定める。

- (1) 沖縄学に関するレファレンスの充実、強化を図る。
- (2) 沖縄(琉球)・中国・朝鮮半島及び東南アジアに関する資料の充実、強化を図る。
- (3) 歴史資料(古文書・行政文書等)の収集・保存・活用に努める。
- (4) 浦添の歴史文化整備保存事業の成果の普及に努める。
- (5) 琉球王国評定所文書の成果の普及に努める。
- (6) 関係機関、団体との連絡調整を図り連携を強化する。

2. 主な事業計画

浦添市立図書館の運営方針及び努力目標を受け、次のような事業を実施する。

- (1) 沖縄学に関するレファレンス
 - ①浦添・沖縄に関するレファレンス
 - ②沖縄学講座・展示会の開催
- (2) 沖縄(琉球)・中国・朝鮮半島及び東南アジアに関する資料収集
 - ①沖縄(琉球)・中国・朝鮮半島及び東南アジアに関する図書資料等の収集
 - ②沖縄学に関する研究論文等の収集
 - ③友好都市である中国福建省泉州市の資料収集
- (3) 歴史資料(古文書・行政文書等)の収集とその保存活用
 - ①沖縄及び浦添に関する古文書の収集

- ②浦添市行政文書から歴史資料となる文書の選別収集及び保存
- (4) 浦添の歴史文化整備保存事業の成果の普及を図る
 - ①浦添の歴史資料の収集・整備・保存
 - ②浦添の歴史資料の活用・普及（展示会・講演会等の開催・所蔵写真のホームページ掲載）
 - ③『浦添市移民史 証言・資料編』『浦添市移民史 本編』の普及を図る
 - ④浦添市内字誌編集に対する資料の提供および協力
- (5) 浦添市史事業の成果の普及を図る
- (6) 琉球王国評定所文書刊行事業の成果の普及を図る
- (7) 浦添市移民史編集刊行事業の成果の普及を図る
- (8) 県内外の関係機関との連携
 - ①県内外の関係機関の事業への協力・参加
 - ②関係機関・団体等の機関誌、会誌、資料等の収集
- (9) 又吉栄喜文庫の開設

●沖縄学研究室所蔵資料と利用方法

研究室の資料は約 30,000 点、浦添市に関連する文献資料をはじめ、沖縄（琉球）・中国・朝鮮半島及び東南アジアの歴史・文化に関する資料を所蔵している。

あわせて浦添市史の編集・刊行のために収集した写真や地図、戦前の新聞資料（マイクロ複製）および琉球王国評定所文書の編集・刊行のために収集した影印本（マイクロ複製）などを所蔵している。

また平成 19 年度から 24 年度までに実施した移民史編集刊行事業に伴い外務省外交史料館をはじめ、JICA 横浜海外移住資料館、県内市町村史等から移民出稼ぎ移住関係資料を収集した。

郷土レファレンス資料もあわせて排架し利用者の調査・研究の利便性を図っている。

平成 28 年度沖縄学講座「世界にひろがるウチナー文化」のようす



第 1 回「海外で歌い継がれる沖縄の芸能」
講師：遠藤美奈氏 6 月 12 日（日）



第 3 回「日系 2 世、3 世のいまとウチナー文化」
講師：新屋敷幸福氏 6 月 26 日（日）



第 2 回「沖縄移民の美術」
講師：翁長直樹氏 6 月 19 日（日）
※浦添市美術館で開催。



館内で行われた沖縄学講座関連展示
「浦添の移民 100 年」展
6 月 1 日（水）～29 日（水）

●沖縄学研究室刊行物の紹介

- ①『沖縄学研究室－利用あんない』1990年7月発行
- ②『沖縄学研究室所蔵未公開・新収蔵写真展－写真のむこう側 ウラソエ・沖縄』（図録）2001年9月発行
- ③『平成14年度浦添市立図書館沖縄学研究室企画展－行政資料にみる浦添の戦後』（図録）2002年11月発行
- ④『浦添市立図書館特別企画展 ウラシーンチュの「移民・出稼・移住」展』（図録）2006年10月発行
- ⑤『浦添市移民史ビジュアル版その1 海外移民編 世界に羽ばたいたウラシーンチュたち』2011年9月発行
- ⑥『浦添市移民史ビジュアル版その2 アジア太平洋・国内編 もうひとつのウラシーンチュたちの体験－渡航・戦争・戦後－』2013年3月発行
- ⑦『浦添市移民史 証言・資料編』2014年3月発行
- ⑧『浦添市移民史 本編』2015年3月発行

【紀要】

- ①『浦添市立図書館紀要』第1号～15号 1989年12月～2004年3月発行
- ②『浦添市文化部紀要 よのつち』第1号～12号 2005年3月～2016年3月発行

【琉球王国評定所文書】

- ①『琉球王国評定所文書』（全18巻、補遺別巻、総索引）1988年3月～2003年3月発行
2002年12月に沖縄タイムス社特別文化賞受賞
- ②『旧琉球藩評定所書類目録』（『琉球王国評定所文書』別冊）1989年3月発行
- ③『琉球王国評定所文書刊行事業完了記念シンポジウム報告書 百田紙に記された琉球の近世』2002年7月発行



『琉球王国評定所文書』
(1988年3月～2003年3月発行)



『浦添市移民史ビジュアル版その1』
『浦添市移民史ビジュアル版その2』
『浦添市移民史 証言・資料編』
『浦添市移民史 本編』

●浦添の歴史文化整備保存事業

本市は、「浦添市史」通史編、資料編、別巻の全8巻を完結し10余年の歳月をかけて浦添市史編集事業を平成2年度に終了した。加えて昭和63年に『写真で見る浦添のあゆみ』を発刊し、市史編集事業の成果とした。

平成19年度から24年度までに実施した浦添市移民史編集刊行事業においては移民・出稼ぎにおける一世、二世の聴取調査及び戦後60年を経て浦添市の発展の礎となった移住についての聴取調査、資料収集を実施し、平成23年度に『浦添市移民史ビジュアル版その1 海外移民編 世界に羽ばたいたウラシーンチュたち』、平成24年度は『浦添市移民史ビジュアル版その2 アジア太平洋・国内編 もうひとつのウラシーンチュたちの体験―渡航・戦争・戦後―』を刊行した。

『浦添市史』、『浦添市移民史ビジュアル版』の刊行をもって歴史や文化に関心のある市民のニーズに応じてきたが、事業過程で収集した口承民話、戦争体験、移民体験、移住等の聴き取り記録や収集した写真資料等の多くがいまだ市民の目に触れないでいる。

「浦添の歴史文化整備保存事業」はこれらを「浦添の歴史文化資料」とし市民共有の財産として整備保存管理し、後世に引き継ぐために実施した。

平成25年度は『浦添市移民史ビジュアル版』を深く掘り下げ浦添の移民にかかる多くの証言や資料を盛り込んだ『浦添市移民史 証言・資料編』を刊行した。

平成26年度は『浦添市移民史 本編』を刊行し、浦添市における海外移民・移住や出稼ぎ等の実相や、それが浦添市の各面に及ぼした影響等について、当時の経済的・社会的背景も踏まえて検証し、これを明らかにした。

これら成果物を普及し移民先の浦添出身者や移民先国の人々と交流を行うことで、互いの国の歴史・文化の相互理解に繋がり国際化時代に対応できる人材を育成するとともに、浦添・沖縄の歴史と文化を国内外へ周知することに寄与する。



浦添市美術館との共同企画「内間安理のARTと浦添の移民100年」展のようす
(開催期間：平成28年6月16日～26日)



本庁1階ロビーでおこなった「浦添の移民100年」展のようす
(開催期間：平成28年10月12日～11月2日)

●寄贈総数表【平成28年度】

■本館寄贈

内 訳		郵 送		持 込		合 計	
		件 数	539	件 数	622	件 数	1,161
資 料 区 分		受 付	受 入	受 付	受 入	受 付	受 入
		部 数	部 数	部 数	部 数	部 数	部 数
図書資料	一般資料	82	44	268	82	350	126
	郷土資料	227	223	296	254	523	477
	児童資料	25	25	28	18	53	43
	YA資料	7	4	40	39	47	43
	洋書	0	0	5	2	5	2
小 計		341	296	637	395	978	691
A V 資料		3	1	2	0	5	1
雑誌資料		8	2	0	0	8	2
逐次資料		576	382	996	615	1,572	997
新聞資料		0	0	0	0	0	0
その他		0	0	12	6	12	6
合 計		928	681	1,647	1,016	2,575	1,697

総合計 1,161 件 (2,575部 うち受入 1,697部)

■アメリカ情報コーナー寄贈

内 訳		郵 送		持 込		合 計	
		件 数	0	件 数	17	件 数	17
資 料 区 分		受 付	受 入	受 付	受 入	受 付	受 入
		部 数	部 数	部 数	部 数	部 数	部 数
図書資料		0	0	652	652	652	652
A V 資料		0	0	30	30	30	30
雑誌資料		0	0	218	218	218	218
新聞資料		0	0	169	169	169	169
その他		0	0	0	0	0	0
合 計		0	0	1,069	1,069	1,069	1,069

総合計 17 件 (受入 1,069部)

■沖縄学研究室寄贈

内 訳		郵 送		持 込		合 計	
		件 数	105	件 数	40	件 数	145
資 料 区 分		受 付	受 入	受 付	受 入	受 付	受 入
		部 数	部 数	部 数	部 数	部 数	部 数
図書資料		92	85	60	60	152	145
A V 資料		4	4	1	1	5	5
雑誌資料		6	6	0	0	6	6
逐次資料		60	37	0	0	60	37
新聞資料		0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0
合 計		162	132	61	61	223	193

総合計 145 件 (223部 うち受入 193部)

●個人寄贈者一覧【平成28年度 敬称略】

ア行	赤嶺 なをみ	大田 昌秀	翁長 直樹	恩河幸子・恩河喜久子	石井 義人
サ行	下地 智子	新里 敏子	新城 恵理	新城 開生	島袋
タ行	高良 順子	谷口 英裕	友利 克	豊里 友行	田中 春江
ナ行	仲西 正勝	仲原 玉江	仲程 昌徳	仲田 順一	
ハ行	比嘉 雄一	蓋盛 春乃	又吉 盛清	宮城 安子	松本 智
マ行	前田 禎昭	又吉 隆			
ヤ行	山里 正一				

A.M	E.M	H.Y	K.A	K.M	M.E	M.S	M.K	M.T	N.Y	S.A	S.E	S.M	S.S	T.H	T.N	U.E	Y.T
A.N	G.I	I.M	K.H	K.M	M.H	M.T	M.K	N.S	N.T	S.A	S.G	S.M	S.T	T.H	T.N	U.R	Y.Y
A.N	H.M	I.S	K.H	K.N	M.K	M.Y	M.M	N.S	N.T	S.A	S.K	S.M	S.T	T.K	T.T	Y.A	Y.Y
A.Y	H.M	J.Y	K.H	M.A	M.M	M.Y	M.M	N.T	O.T	S.A	S.K	S.N	T.H	T.K	T.T	Y.M	Y.Y
E.K	H.T	K.A	K.J	M.E	M.S	M.A	M.T	N.T	O.T	S.C	S.M	S.S	T.H	T.M	T.T	Y.S	Y.Y

Tempu-Kai

※氏名掲載を希望しない方は、イニシャルで掲載しています。アルファベット順[姓・名の順]

※団体寄贈者に関しましては、掲載を割愛しています。

●ベストリーダー【平成 28 年度】

資料区分別に、貸出回数が多かった資料上位 10 位まで表示しています。

(マンガを除く。)

<児童書>

順位	貸出回数	資料名	編著者	出版社	分類
1	110	かくしたの だあれ	五味/太郎 // さく	文化出版局	EA
2	109	ぶくちゃんのすてきなばんつ	ひろかわ/さえこ // さく	アリス館	EA
3	108	がたんことんがたんごとん	安西/水丸 // さく	福音館書店	EA
4	107	ぞうくんのさんぽ	なかの/ひろたか // ぶん・え	福音館書店	EA
5	102	かいけつゾロリきょうふのサッカー	原/ゆたか // さく・え	ポプラ社	J913
6	101	しろくまちゃんのほっとけーき	わかやま/けん // [絵]	こぐま社	EA
7	99	こぐまちゃんおはよう	わかやま/けん // [え]	こぐま社	EA
7	99	かいけつゾロリきょうふのカーレース	原/ゆたか // さく・え	ポプラ社	J913
9	97	ぴょーん	原/ゆたか // さく・え	ポプラ社	EA
10	96	うさこちゃんとどうぶつえん	ディック・ブルーナ // さく・え	福音館書店	EA
10	96	かいけつゾロリにんじゃ大さくせん	原/ゆたか // さく・え	ポプラ社	J913
10	96	かいけつゾロリテレビゲームききいっぱつ	原/ゆたか // さく・え	ポプラ社	J913

<児童郷土>

順位	貸出回数	資料名	編著者	出版社	分類
1	40	へいわってすてきだね	安里/有生 // 詩	ブロンズ新社	EK
2	31	バキムン退治	具志川市学校図書館司 書研究会 // 文	具志川市教育 委員会	P
3	26	わすれたって、いいんだよ	上條/さなえ // 文	光村教育図書	EK
4	25	47 都道府県あなたの県の怖い話 下巻	並木/伸一郎 // 著	理論社	JK387
4	25	りゅうとにわとり	平田/恵美子 // 脚本	童心社	P
6	22	ようかいオジジあらわれる	よなは/かんた // ぶん	くもん出版	EK
7	20	エイサーの心	志いさ一(藤木勇人) // 文	沖縄市	EK
7	20	都道府県がわかる	藤子・F・不二雄 // キャラ クター原作	小学館	JK291
7	20	がらがらっぺ	あむろ/ふみお // 絵	月桃茶屋	P
10	19	21 世紀に残したい沖縄の民話 21 話	遠藤/庄治 // 文	琉球新報社	JK38

<YA>

順位	貸出回数	資料名	編著者	出版社	分類
1	32	報道写真に生きる	桑原/史成 // 写真と文	草の根出版会	Y081
2	30	何がなんでも新人賞獲らせませす!	鈴木/輝一郎 // 著	河出書房新社	Y901
3	27	学年ビリのギャルが 1 年で偏差値を 40 上げて慶應大学に現役合格した話	坪田/信貴 // 著	KADOKAWA	Y376
4	26	ボールペンでちょこっとイラスト帖	あらい/のりこ // 著	永岡書店	Y726.5
5	22	マララ	マララ・ユスフザイ // 著	岩崎書店	Y289

5	22	かわいい!デコ文字イラストレッスン	mizutama // 著	玄光社	Y727
7	19	ぐでたま哲学	サンリオ // 著	大和書房	Y726.5
7	19	君の臍臓をたべたい	住野 よる // 著	双葉社	Y913.6
9	18	はやみねかおる公式ファンブック	はやみね かおる // 作	講談社	Y913.6
9	18	掟上今日子の退職願	西尾 維新 // 著	講談社	Y913.6

<一般書>

順位	貸出回数	資料名	編著者	出版社	分類
1	70	人生がときめく片づけの魔法	近藤/麻理恵 // 著	サンマーク出版	597
2	65	マスカレード・ホテル	東野/圭吾 // 著	集英社	913.6
2	65	告白	湊/かなえ // 著	双葉社	913.6
4	56	新参者	東野 圭吾 // 著	講談社	913.6
5	49	カッコウの卵は誰のもの	東野/圭吾 // 著	光文社	913.6
5	49	夜行観覧車	湊/かなえ // 著	双葉社	913.6
7	47	秘密	東野/圭吾著	文芸春秋	913.6
8	47	贖罪	湊/かなえ // 著	東京創元社	913.6
9	46	麒麟の翼	東野/圭吾 // 著	講談社	913.6
9	46	1Q84 BOOK1	村上/春樹 // 著	新潮社	913.6

<AV>

順位	貸出回数	資料名	演奏者等	出版社	分類
1	24	うたぬ美らさ	知名/定男 // [ほか]演奏	日本コロムビア	A370
2	21	秋色クラシック	ヨーロッパ・ハロック・ソロイスト // [ほか]演奏	日本コロムビア	A101
2	21	わくわくあそびうた	大和田りつこ // [ほか] うた	日本コロムビア	A990
4	20	ジャズ・ナウ 2014	グレゴリー・ポーター // [ほか]演奏	ユニバーサルミュージック	A230
4	20	心にしみる教科書の歌	鮫島有美子 // [ほか]歌	コロムビアミュージックエンタテインメント	A430
6	19	よいこのどうよう	斉藤/伸子 // うた,三線	King Record	A990
7	18	こどもヒット!ヒット!ソング	ウリウレン // [ほか]演奏	King Record	A990
7	18	イマージュ クラシーク	ポール・クロスリー // [ほか]演奏	Sony music Japan International	A101
7	18	BEST SONGS	夏川/りみ // 歌	ビクターエンタテインメント	A290
7	18	KOTOドリームメロディー	絹の会 // 演奏	日本コロムビア	A350
7	18	沖縄音の缶詰決定盤	ネーネズ // [ほか]演奏	リスペクトレコード	A350

<一般郷土>

順位	貸出回数	資料名	編著者	出版社	分類
1	24	まんぷく沖縄	てらい/まき // 著	KADOKAWA	K596
2	20	沖縄県民(ウチナーンチュ)のオキテ	書浪人善隆 // 著	KADOKAWA	K360
3	18	風水でゼッタイ変わるあなたの運命	はる // 著	ロングセラーズ	K148
4	18	人生には「まさか」の坂がある	安里/賢次 // 著	二見書房	K150
5	17	家庭でつくる沖縄の漬物とおやつ	家庭料理友の会	むぎ社	K596
5	17	沖縄の怖い話2	小原/猛 // 編	TOブックス	K388
5	17	アンマーとぼくら	有川/浩 // 著	講談社	K930
5	16	一瞬で夢が叶う「奇跡」が起こる本	越智/啓子 // 編	三笠書房	K140
9	16	沖縄お散歩マップ		学研パブリッシング	K290.9
9	16	基本とマナー	安田/ゆう子 // 著	那覇出版	K596
9	16	沖縄を変えた男	松永/多佳倫 // 著	集英社	K783.7

<雑誌>

順位	貸出回数	資料名	巻次	出版社	分類
1	23	サンキュ!	2015年1月号	ベネッセコーポレーション	婦人
2	22	サンキュ!	2015年3月号	ベネッセコーポレーション	婦人
2	22	エッセ	2011年2月号	フジテレビジョン	婦人
2	22	edu	2014年2・3月号	小学館	児童
2	22	edu	2014年1月号	小学館	児童
6	20	エッセ	2014年2月号	フジテレビジョン	婦人
6	20	エッセ	2015年6月号	フジテレビジョン	婦人
6	20	CHANTO	2016年4月号	主婦と生活社	婦人
6	20	エッセ	2016年2月号	フジテレビジョン	婦人
6	20	Tarzan	2015年12月10日号	マガジンハウス	スポーツ

●所蔵雑誌 タイトル一覧 五十音順【平成28年度】

	タイトル	分類	発行頻度	受入区分	保存年限	備考
1	あうる	総合	隔月	寄贈	10年	H23年3月まで
2	AERA	総合	週刊	購入	1年	
3	アクアライフ	趣味	月刊	購入	3年	H18年3月まで購入
4	アグリおきなわ	総合	月刊	寄贈	10年	H21年3月まで
5	アサヒカメラ	趣味	月刊	購入	3年	
6	ALBAアルパトロスビュー	スポーツ	月2	購入	3年	
7	anan	婦人	週刊	購入	3年	
8	家の光	婦人	月刊	寄贈	5年	
9	ViVi	婦人	月刊	購入	3年	
10	Walking Life	スポーツ	月刊	寄贈	5年	H23年4月まで
11	栄養と料理	婦人	月刊	購入	3年	
12	ESSE	婦人	月刊	寄贈	3年	
13	edu	総合	月刊	寄贈	3年	
14	NHKきょうの健康	総合	月刊	購入	3年	H25年3月まで購入、H27年4月より再度購入
☆15	NHKきょうの料理	婦人	月刊	寄贈	3年	
16	NHK趣味の園芸	趣味	月刊	購入	3年	H25年3月まで購入
17	NHK趣味の園芸やさいの時間	趣味	月刊	購入	3年	
18	NHKすてきにハンドメイド	婦人	月刊	購入	3年	
19	NHK住まい自分流	趣味	月刊	購入	3年	H23年3月以降休刊
20	FQ JAPAN	総合	季刊	購入	3年	H24年度Vol. 25まで購入
21	おきなわ倶楽部	総合	月刊	寄贈	10年	
22	おきなわグラフ	総合	月刊	購入	3年	H25年3月まで購入
23	沖縄県医師会報	総合	月刊	寄贈	10年	
24	おきなわJOHO	総合	月刊	購入	3年	H23年3月休刊
25	おきなわ釣り大国	趣味	隔月	購入	3年	
26	沖縄パシフィックプレス	総合	季刊	購入	3年	H23年3月まで
27	オートバイ	趣味	月刊	購入	3年	H25年3月まで購入
28	おはよう奥さん	婦人	月刊	購入	3年	H25年10月以降休刊
29	おひさま	児童	隔月	購入	5年	
30	会社 四季報	総合	季刊	購入	5年	
31	Casa BRUTUS	総合	月刊	購入	3年	
32	活字倶楽部	総合	季刊	購入	3年	
33	家電批評	総合	月刊	購入	3年	
34	空手道	スポーツ	月刊	購入	5年	
☆35	かぞくのじかん	総合	季刊	寄贈	3年	
36	季刊 沖縄	総合	季刊	寄贈	10年	
37	Gb(ギターブック)	趣味	月刊	購入	永年	H15年5月以降休刊
38	キネマ旬報	趣味	月2	購入	永年	
39	季報情報公開個人情報保護	総合	季刊	寄贈	5年	
☆40	クーヨン	児童	月刊	寄贈	5年	
☆41	暮らしの手帖	婦人	隔月	寄贈	永年	
42	GLITTER	婦人	月刊	購入	3年	H25年3月まで購入
☆43	クロワッサン	婦人	月刊	寄贈	3年	
44	芸術新潮	趣味	月刊	購入	永年	H24年3月まで購入
45	Gainer	総合	月刊	購入	3年	H24年3月まで購入
46	月刊書写書道	趣味	月刊	寄贈	3年	
47	月刊ポプラディア	児童	月刊	購入	5年	H23年4月以降休刊
48	健康365	総合	月刊	寄贈	3年	H25年8月まで
49	現代	総合	月刊	購入	永年	H21年1月以降休刊
50	現代思想	総合	月刊	購入	永年	H24年3月まで購入
51	現代の図書館	総合	季刊	寄贈	10年	
52	航空ファン	趣味	月刊	購入	3年	H25年3月まで購入
53	Co-Colife	総合	季刊	購入	3年	H23年1月以降休刊
54	子どもの科学	児童	月刊	購入	5年	
55	子どもの本棚	児童	月刊	購入	5年	H25年3月まで購入
56	この本読んで	児童	季刊	購入	5年	
57	コーラルウェイ	総合	隔月	寄贈	10年	製本S60～H15年
☆58	碁ワールド	趣味	月刊	寄贈	3年	
59	財界九州	総合	月刊	購入	10年	H25年3月まで購入
60	SOCCER MAGAZINE ZONE	スポーツ	月刊	購入	1年	H25年11月以降『サッカーマガジン』からタイトル名を変更し、月刊誌となる。
61	Samurai Magazine	総合	月刊	購入	3年	H24年3月まで購入
62	サライ	総合	月刊	購入	3年	
63	サンキュ	婦人	月刊	購入	3年	

	タイトル	分類	発行頻度	受入区分	保存年限	備 考
64	サンデー毎日	総合	週刊	購入	1年	
65	3・4・5歳児の保育	児童	隔月	購入	3年	H23年休刊、『新幼児と保育』に合併
66	JTB時刻表	総合	月刊	購入	1年	H24年3月まで購入
67	CNN ENGLISH EXPRESS	総合	月刊	購入	10年	
68	自治おきなわ	総合	季刊	寄贈	10年	
69	自治新報	総合	月刊	寄贈	3年	H16年4月まで
70	JAZZ LIFE	趣味	月刊	購入	永年	H18年3月まで購入
71	ZIPPER	婦人	月刊	購入	3年	H25年3月まで購入
72	週刊朝日	総合	週刊	購入	1年	
73	週刊サッカーマガジン	スポーツ	週刊	購入	1年	H25年11月以降『SOCCER MAGAZINE ZONE』とタイトル名を変更し、月刊誌となる。
74	週刊新潮	総合	週刊	購入	1年	
75	週刊ダイヤモンド	総合	週刊	購入	1年	
76	週刊東洋経済	総合	週刊	購入	1年	
77	週刊文春	総合	週刊	購入	1年	
78	週刊ベースボール	スポーツ	週刊	購入	1年	
79	JUNON	婦人	月刊	購入	3年	H24年3月まで購入
80	ジュリスト	総合	月2	購入	3年	H24年3月まで購入
81	将棋世界	趣味	月刊	購入	3年	H25年3月まで購入
82	諸君！	総合	月刊	購入	5年	H21年6月以降休刊
83	新建築	趣味	月刊	購入	永年	
84	新潮	総合	月刊	購入	5年	H24年3月まで購入
85	新 幼児と保育	児童	隔月	購入	3年	H23年4月『3・4・5歳児の保育』と『0・1・2歳児の保育』が合併H24年3月まで購入
86	スカイワード	総合	月刊	寄贈	5年	
87	スクリーン	趣味	月刊	購入	3年	
88	すてきな奥さん	婦人	月刊	購入	3年	H26年5月以降『CHANTO』とタイトル名を変更
89	Street JACK	総合	月刊	購入	3年	H25年3月まで購入
90	Soup	婦人	月刊	購入	3年	
91	スポーツイベント ハンドボール	スポーツ	月刊	購入	3年	
92	スポーツグラフィック ナンバー	スポーツ	隔週	購入	3年	
93	SUMAI no SEKKEI	趣味	隔月	購入	3年	
94	世界	総合	月刊	購入	永年	H25年3月まで購入
95	SEVEVTEEN	婦人	月刊	購入	3年	
96	0・1・2歳児の保育	児童	隔月	購入	3年	H23年2月以降休刊、『新幼児と保育』に合併
97	ダイビングワールド	趣味	月刊	購入	5年	H20年6月休刊
98	TIME	総合	週刊	購入	1年	H25年3月まで購入
99	ダ・ヴィンチ	総合	月刊	購入	3年	
☆100	ターザン	スポーツ	月2	寄贈	3年	
☆101	旅の手帖	趣味	月刊	寄贈	3年	
102	dancyu	婦人	月刊	購入	3年	H24年3月まで購入
103	地球温暖化	趣味	月刊	購入	3年	H23年3月まで購入
☆104	致知	総合	月刊	寄贈	5年	
105	ちゃぐりん	児童	月刊	寄贈	5年	
106	CHANTO	婦人	月刊	購入	3年	H26年6月以降『すてきな奥さん』からタイトル名を変更
107	中央公論	総合	月刊	購入	5年	H24年3月まで購入
108	テニスマガジン	スポーツ	月刊	購入	3年	H25年3月まで購入
109	ドゥーパ！	趣味	隔月	購入	3年	H25年3月まで購入
110	図書	総合	月刊	寄贈	3年	
111	図書館雑誌	総合	月刊	寄贈	10年	
112	図書館の学校	総合	隔月	寄贈	10年	H19年3月まで
☆113	nicora	婦人	月刊	寄贈	3年	
☆114	日経WOMAN	婦人	月刊	寄贈	3年	
115	日経エンターテイメント	総合	月刊	購入	3年	
116	日経TRENDY	総合	月刊	購入	3年	
117	日経パソコン	趣味	月2	購入	3年	
118	日経ビジネス	総合	週刊	購入	1年	
119	日経ヘルス	婦人	月刊	購入	3年	
120	日経マネー	総合	月刊	購入	3年	
121	News week 英語版	総合	週刊	購入	永年	H24年12月まで購入
122	News week 日本版	総合	週刊	購入	1年	
123	ニュースがわかる	児童	月刊	購入	5年	
124	Newton	趣味	月刊	購入	3年	
125	NONSTOP ENGLISH WAVE	総合	月刊	購入	10年	H23年3月以降休刊
126	non-no	婦人	月刊	購入	3年	

	タイトル	分類	発行頻度	受入区分	保存年限	備 考
127	俳句界	趣味	月刊	寄贈	3年	
128	バスケットボール	スポーツ	月刊	購入	3年	H25年3月まで購入
129	華風	総合	月刊	寄贈	3年	
130	バレーボール	スポーツ	月刊	購入	3年	H25年3月まで購入
131	Hands	趣味	月刊	購入	3年	H21年5月以降休刊
132	Piano	趣味	月刊	購入	3年	
133	PHP	総合	月刊	購入	3年	
134	PS	婦人	月刊	購入	3年	H23年12月以降休刊
135	PC Japan	趣味	月刊	購入	3年	H22年3月以降休刊
136	ビジネスチャンス	総合	月刊	購入	3年	H25年3月まで購入
137	PCファン	趣味	月刊	購入	3年	H23年9月以降休刊
138	美術手帖	趣味	月刊	購入	10年	H16年3月まで購入
139	BE-PAL	趣味	月刊	購入	3年	
140	Fishing Cafe	趣味	季刊	寄贈	5年	
☆141	婦人公論	婦人	月2	寄贈	3年	
142	婦人之友	婦人	月刊	購入	3年	
143	武道	スポーツ	月刊	寄贈	3年	
144	PRESIDENT	総合	月2	購入	3年	
145	Pre-mo	婦人	季刊	購入	3年	
☆146	文藝春秋	総合	月刊	寄贈	5年	
147	BaseBall Okinawa	スポーツ	月刊	購入	3年	
148	Bady-mo	婦人	季刊	購入	3年	
149	本	総合	月刊	寄贈	3年	
150	本の雑誌	総合	月刊	購入	3年	H24年3月まで購入
151	マンスリーよしもと	総合	月刊	購入	3年	H24年3月まで購入
152	みすず	総合	月刊	寄贈	3年	
153	ミセス	婦人	月刊	購入	3年	
154	ムー	趣味	月刊	購入	3年	H24年3月まで購入
155	メンズクラブ	総合	月刊	購入	3年	H24年3月まで購入
156	メンズノンノ	総合	月刊	購入	3年	H25年3月まで購入
157	MOE	総合	月刊	購入	5年	
158	モーターマガジン	趣味	月刊	購入	3年	H25年3月まで購入
159	ゆうゆう	婦人	月刊	購入	3年	
160	ゆほびか	総合	月刊	購入	3年	
161	LA MER	趣味	隔月	寄贈	3年	
162	ランナーズ	スポーツ	月刊	購入	3年	
163	LEE	婦人	月刊	購入	3年	
164	レタスクラブ	婦人	月2	購入	3年	

☆はスポンサー制度による雑誌。

●アメリカ情報コーナー所蔵雑誌 タイトル一覧

平成28年度受入雑誌一覧

No.	タイトル	分類	発行頻度	受入区分	保存年限	備考1	備考2	備考3
1	American Road	アメリカ	季刊	寄贈	3年	2013年冬号～		欠号あり
2	Art in America	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2013年1月～		欠号あり
3	Better Homes and Gardens	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2011年1月～	平成23年度中止 平成25年度再開	欠号あり
4	Bon Appetit	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2013年1月～	平成24年度中止 平成25年度再開	欠号あり
5	Bookmarks	アメリカ	隔月	寄贈	3年	2014年1-2月号～		欠号あり
6	Community College Journal	アメリカ	隔月	寄贈	3年	2014年2-3月号～		欠号あり
7	Entertainment Weekly	アメリカ	週刊	寄贈	3年	2012年12月28日号～		欠号あり
8	Fortune	アメリカ	月2	寄贈	3年	2014年12月号～	平成26年度開始	欠号あり
9	Highlights for Children	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2013年2月号～	平成25年度中止 平成28年度再開	欠号あり
10	InStyle	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2013年1月号～		欠号あり
11	J-14(Just for Teens)	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2015年1月号～	平成26年度開始	欠号あり
12	Muse	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2013年1月号～		欠号あり
13	National Geographic Kids	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2012年12月・2013年1月号～		欠号あり
14	National Geographic Traveler	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2012年12月号～		欠号あり
15	The Oprah Magazine	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2013年1月号～		欠号あり
16	Real Simple	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2014年12月号～	平成25年度中止 平成26年度再開	欠号あり
17	Rolling Stone	アメリカ	隔週	寄贈	3年	2012年12月20日号～		欠号あり
18	Smithsonian	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2013年1月号～		欠号あり
19	Sports Illustrated Kids	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2012年12月号～		欠号あり
20	Teen Vogue	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2014年10月号～	平成26年度開始	欠号あり
21	The Week	アメリカ	週刊	寄贈	3年	2012年12月28日号～		欠号あり
22	Time(米国版)	アメリカ	週刊	寄贈	3年	2013年1月14日号～	平成26年度再開	欠号あり
23	Zoo Books	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2014年10月号～	平成26年度開始	欠号あり
24	留学ジャーナル	アメリカ	隔月	寄贈	3年	2014年7月号～	平成26年度開始	欠号あり

受入中止雑誌一覧

25	Architectural Record	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2013年1月～2014年1月号	平成26年度中止	欠号あり
26	Baseball America	アメリカ	隔週	寄贈	3年	2013年1月1-22日号～2013年12月号	平成26年度中止	欠号あり
27	Basketball Times	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2012年12月号～2013年12月号	平成26年度中止	欠号あり
28	Business Week	アメリカ	週刊	寄贈	3年	2011年10月3-9日号～2013年4月号		欠号あり
29	Discover	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2013年1月～2013年11月号	平成26年度中止	欠号あり
30	Golf Digest	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2013年1月～2013年10月号	平成26年度中止	欠号あり
31	Interior Design	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2013年1月号～2013年9月号	平成26年度中止	欠号あり
32	Martha Stewart Living	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2013年1月号～2013年2月号		欠号あり
33	Men's Health	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2012年3月号～2012年12月号		欠号あり
34	MIT Technology Review	アメリカ	隔月	寄贈	3年	2013年1月・2月号～2013年11-12月号	平成26年度中止	欠号あり
35	PC World	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2013年1月号～2013年8月号	平成26年度中止	欠号あり
36	People	アメリカ	週刊	寄贈	3年	2013年1月14日号～2014年1月号	平成26年度中止	欠号あり
37	Popular Mechanics	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2013年1月号		欠号あり
38	Prevention	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2012年4月号～2013年1月号		欠号あり
39	Reader's Digest	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2013年2月号～2013年3月号		欠号あり
40	Runners World	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2013年2月号		欠号あり
41	Running Times	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2013年4月号～2015年3月号	平成28年度中止	欠号あり
42	Scientific American	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2013年1月号		欠号あり
43	Self	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2013年1月号～2013年4月号		欠号あり
44	Seventeen	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2013年2月号～2013年3月号		欠号あり
45	Sports Illustrated	アメリカ	週刊	寄贈	3年	2013年1月14日～2013年2月号		欠号あり
46	The New Yorker	アメリカ	週刊	寄贈	3年	2013年1月7日号～2013年11月18日号		欠号あり
47	Vogue	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2013年1月号～2013年10月号	平成26年度中止	欠号あり
48	Women's Health	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2012年3月号～2012年12月号		欠号あり
49	Wired	アメリカ	月刊	寄贈	3年	2013年1月号～2016年3月号	平成26年度中止	欠号あり

●所蔵逐次刊行物 タイトル一覧

◎ 円柱書架(一般) 逐次刊行物タイトル一覧 (バックナンバーは新聞・雑誌コーナーに保管)

No.	タイトル	発行元	刊行 頻度	保存 年限	備考 製本・図書登録→製
1	AFF(アフ)	農林統計協会	月刊	1年	
2	with PETs(ウイズ'ペット)	日本愛玩動物協会	隔月	1年	
3	エルモ	駐留軍等労働者労務管理機構那覇支部	季刊	1年	
4	環境	九州大学環境安全センター	年1回	1年	
5	環境儀	国立環境研究所	季刊	1年	
6	くらし塾金融塾	金融広報中央委員会	季刊	1年	
7	クローバー	ジェイ・ブロード	季刊	1年	
8	広報	日本広報協会	月刊	1年	
9	菜果フォーラム	日本青果物輸入安全推進協会	季刊	1年	
10	自治体国際フォーラム	文部科学省	月刊	1年	
11	司法の窓	最高裁判所	年2回	1年	
12	JAXA航空マガジン	宇宙航空研究開発機構	隔月	1年	
13	JAXA's(ジャクサス)	宇宙航空研究開発機構	季刊	1年	
14	食品安全	食品安全委員会	季刊	1年	
15	書齋の窓	有斐閣	季刊	1年	
16	総務省	総務省	月刊	1年	
17	mundi(ムンディ)	国際協力事業団	月刊	1年	旧「JICA's World」
18	育てる	育てる会	月刊	1年	
19	点字 厚生	日本盲人会連合	不定期	1年	
20	地域づくり	地域活性化センター	月刊	1年	
21	日展ニュース	日展	季刊	1年	
22	日本オーケストラ連盟ニュース	日本オーケストラ連盟	季刊	1年	
23	日本教育	日本教育会	月刊	1年	
24	防災ニュース	日本防災協会	季刊	1年	
25	ほうてらす	日本司法支援センター	季刊	1年	
26	まち・むら	あしたの日本を創る協会	季刊	1年	
27	MAMOR	扶桑社	月刊	1年	
28	myb	みやび出版	年6回	1年	
29	未来	未来社	月刊	1年	
30	ミルククラブ	中央酪農会議・ミルククラブ	季刊	1年	
31	UP	東京大学出版	月刊	1年	
32	WalkingLife	社団法人 日本ウォーキング協会	隔月	1年	
33	ぼうさい	内閣府(防災担当)	季刊	1年	
34	わかりやすい土地読本	一般財団法人 土地情報センター	年1回	1年	
35	ふれあいらしんばん	内閣府政府広報室	不定期	1年	
36	日本の損害保険(ファクトブック2014)	一般社団法人 日本損害保険協会	年1回	1年	
37	日本の移植事情	公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク	年1回	1年	

◎浦添市インフォメーションコーナー(円柱書架) 逐次刊行物タイトル一覧

※製→製本・図書登録

No.	タイトル	発行元	刊行 頻度	保存 年限	浦添市 関係	備考
1	広報うらそえ	浦添市国際交流課	月刊	永年	○	製：1号(1957年9月) ～639号(2013年3月)
2	うらそえ市議会だより	浦添市議会事務局	年3回	永年	○	1～109号/製:1～71号
3	うらそえ 【浦添商工会議所報】	浦添商工会議所	月刊	永年	○	1～311号(欠号多) 製:1～128号
4	うらそえ社協だより (点訳本付き)	浦添市社会福祉協議会	月刊	永年	○	4～335号/製:4～200号
5	いきいき 【浦添市中央公民館だより】	浦添市立中央公民館	月刊	永年	○	1～277号(欠号多) 製:1～146号
6	くるりん【浦添市リサイクルプラ ザ「ドリーム21】	くるりん会・浦添市環境施設課	月刊	永年	○	1～206号(欠号あり)
7	きよらさ 【浦添市美術館ニュース】	浦添市美術館	年3回	永年	○	1～81号 製:1～47号
8	MUSEUM NEWS	浦添市美術館友の会	月刊	永年	○	Vol.40～132(欠号多)
9	うらおそい歴史新聞	浦添市教育委員会文化課 (うらおそい歴史ガイド友の会)	不定期	永年	○	1～37号
10	はながわら	浦添市立図書館	月刊	永年	○	H17年4月より休刊、H13 年2月より「よくよむ」統合、 H20年5月復活/1～308 号(欠号あり)/製:1～ 232号
11	YA!YA!YA!【YA通信】	浦添市立図書館	不定期	永年	○	1～25号
12	つどいの広場 あいあいだより	浦添市つどいの広場 (経塚児童センター内)	月刊	永年	○	～H29.3(欠号あり)
13	つどいの広場 さんさんだより	浦添市つどいの広場 (小湾保育所2F)	月刊	永年	○	～101号(欠号あり)
14	つどいの広場 にこにこだより	浦添市つどいの広場 (西原児童センター2F)	月刊	永年	○	～124号(欠号あり)
15	内間児童センター	内間児童センター	月刊	永年	○	製:47～198号 /～334号(欠号あり)
16	浦城っ子児童センター	浦城っ子児童センター	月刊	永年	○	製:1～20号 /～154号(欠号あり)
17	うらそえぐすく児童センター	うらそえぐすく児童センター	月刊	永年	○	～118号(欠号あり)
18	柿の実ひろば	浦添市子育て支援センター 「柿の実」	月刊	永年	○	～111号(欠号あり)
19	経塚児童センター	経塚児童センター	月刊	永年	○	製:1～114号 /～247号(欠号あり)
20	西原児童センター	西原児童センター	月刊	永年	○	製:1～163号(欠号あり) /～299号(欠号あり)
21	前田ユブシが丘児童センター	前田ユブシが丘児童センター	月刊	永年	○	～H28.2(欠号あり)
22	まちなと児童センター	まちなと児童センター	月刊	永年	○	製:1～32号(22,23欠) /～167号(欠号あり)
23	みーぐるぐる	浦添市子育て支援センター 「ていんさぐの家」	月刊	永年	○	製:1～64号 /～212号(欠号あり)
24	宮城ヶ原児童センター わんぱくだより	宮城ヶ原児童センター	月刊	永年	○	製:1～45号 /～174号(欠号あり)

No.	タイトル	発行元	刊行頻度	保存年限	浦添市関係	備考
25	宮城っ子児童センター	宮城っ子児童センター	月刊	永年	○	～82号(欠号あり)
26	森の子児童センター	森の子児童センター	月刊	永年	○	～H29.3(欠号あり)
27	ゆいゆいだより ／ゆいゆい新聞	子育て支援センター 「ほるとの家」	月刊	永年	○	～116号(欠号あり)
28	わかくさ	若草児童センター	月刊	永年	○	製:152～234号 ／No.366(欠号あり)
29	たいようのえくぼ	たいようのえくぼ	不定期	3年		～Vol.23(欠号あり)

◎新聞・雑誌コーナー(沖縄県関係) 逐次刊行物タイトル一覧 (バックナンバーは沖縄学研究室)

No.	タイトル	発行元	刊行頻度	保存年限	浦添市関係	備考
1	A g r e (アグレ)	求人おきなわ	週刊	3年		
2	あだんの実	沖縄県ゆうな協会事務局	年1回	3年		
3	いきいき健康あいらんど	沖縄県保健医療福祉事業団	季刊	3年		
4	えら部	株式会社アークワン	隔月	3年	○	
5	大きな輪	キャンプバトラー海兵隊基地 統合報道部	季刊	3年		
6	おきぎん調査月報	沖縄銀行	月刊	3年		
7	沖縄音楽旅行	プランニングオフィスコーダ	隔月	3年		
8	月刊工連ニュース	沖縄県工業連合会	月刊	3年		
9	jobnabi (ジョブナビ)	沖縄県キャリアセンター	隔月	3年		
10	中小企業だより	沖縄県中小企業団体中央会	月刊	3年		
11	美ら島沖縄	沖縄県知事公室広報交流課	月刊	3年		
12	はいさい	那覇防衛施設局総務部広報室	隔月	3年		
13	パンだより	沖縄県製パン事業協同組合	年4回	3年		
14	南ぬ風 (ふえーぬかじ)	海洋博覧会記念公園管理財団	季刊	3年		
15	福祉情報沖縄	沖縄県社会福祉協議会沖縄県 福祉人材センター	隔月	3年		
16	群星－むりぶし－	内閣府沖縄総合事務局総務部 総務課	隔月	3年		
17	ゆんたく	N H K 沖縄放送局	月刊	3年		
18	りゅうぎん調査	㈱りゅうぎん総合研究所	月刊	3年		

◎沖縄学研究室 逐次刊行物タイトル一覧

※製→製本・図書登録

No.	タイトル	発行元	刊行頻度	保存年限	浦添市関係	備考
1	アーカイブズ 沖縄県公文書館だより	沖縄県公文書館	年2回	3年		47～52号
2	沖縄県史だより	沖縄県文化振興会公文書管理部	年1回	永年		第1号～25号(欠号あり)
3	沖縄県平和祈念資料館だより	沖縄県平和祈念資料館	年2回	永年		No.2～30(欠号あり)
4	沖縄染織研究会通信	沖縄染織研究会	隔月	永年		No.1～89(欠号あり)
5	沖縄ベンチャースタジオ	沖縄県産業振興公社	年4回	3年		39～47号
6	沖縄法政研究所所報	沖縄国際大学沖縄法政研究所	年1回	永年		2号～23号(欠号あり)
7	管内経済情勢報告	沖縄総合事務局 財務部	年4回	1年		H28.4～H29.1
8	景況トレンド 【沖縄公庫県内企業景況調査報告】	沖縄振興開発金融公庫	季刊	3年		No.78～88
9	ODFC公庫レポート	沖縄振興開発金融公庫	不定期	3年		NO.133～149
10	ザ・ニューズレター	法政大学国際日本学研究所	年2回			No.2～22(欠号あり)
11	南島考古だより	沖縄考古学会	不定期	永年		44～103号
12	南島文化研究所所報	沖縄国際大学南島文化研究所	年1回	永年		1号～61号(欠号あり)
13	ひめゆり平和祈念資料館 資料館だより	ひめゆり平和祈念資料館	年2回	永年		2号～58号(欠号あり)
14	法人企業景気予測調査	沖縄総合事務局 財務部	年4回	3年		H26.4-6月期 ～H29.1-3月期
15	法政大学沖縄文化研究所所報	法政大学沖縄文化研究所	年2回	永年		1号～80号(欠号あり)
16	宮古郷土史研究会会報	宮古郷土史研究会	隔月	永年		No.27～215(欠号あり)
17	民俗学研究所ニュース	成城大学民俗学研究所	定期	永年		No.43～115(欠号あり)
18	浦添市立教育研究所図書室だより	浦添市立教育研究所図書室	月刊	永年	○	H19.6～H29.1(欠号多)
19	市民会議だより	浦添市青少年健全育成市民会議	年2回	永年	○	1～46号／製:1～27号
20	JICAおきなわライブラリー 新着資料案内	国際協力事業団(JICA)、沖縄国際センター(OIC)図書資料室	月刊	永年	○	2002.8～2017.3
21	ニュースレター	浦添市国際交流協会	年3回	永年	○	2009年度1号 ～2015年度1号
22	ハーモニーセンターだより	浦添市ハーモニーセンター	不定期	永年	○	H24.4～H29.2 ／旧「ハーモニーだより」
23	パチ・パチ号	宮城珠算学校	隔月	永年	○	1～262号(欠号あり) ／製:1～160号
24	卸団地ニュースOKINAWA	沖縄県卸商業団地協同組合	月刊	永年	○	205～279号(欠号あり)
25	港川自治会だより	港川自治会	月2回	永年	○	103～274号(欠号あり)

No.	タイトル	発行元	刊行 頻度	保存 年限	浦添市 関係	備考
26	しまたてい【建設情報誌】	沖縄建設弘済会	季刊	永年	○	No. 13～79
27	ういずこーぷ	生活共同組合 こーぷおきなわ	月1回	3年		
28	がじまる	沖縄県子ども生活福祉部 消費・くらし安全課	年4回	3年		
29	所報	沖縄県立総合教育センター	不定期	3年		
30	宅建おきなわ	沖縄県宅地建物取引業協会	年4回	3年		

●所蔵新聞一覧

(平成29年3月現在)

No.	新聞名	全所蔵年月日	保存年限			備考
			原紙	製本	縮刷版	原紙(未製本)→原紙製本→製縮刷版→縮
1	沖縄タイムス	1973年7月～現在	一定期間 経過で 原紙製本	永年	永年	1973年7月～1983年3月(製) 1984年5月～1985年3月(製) 1985年5月～1986年12月(製) 1990年7月～1996年2月(製) 2006年4月～2007年12月(製) 1976年2月～1977年6月(縮) 1978年6月～1978年10月(縮) 1978年12月～1979年2月(縮) 1979年4月～1980年6月(縮) 1980年8月～2006年3月(縮) →2006年3月で縮刷版廃刊 2008年6月～現在(原)
2	琉球新報	1965年9月～現在 欠号 (1968年11・12月) (1970年～1973年6月)	一定期間 経過で 原紙製本	永年	永年	1973年7月～1996年2月(製) 1999年7月～2007年12月(製) 1965年9月～1968年10月(縮) 1969年1月～1969年12月(縮) 1993年8月～1999年6月(縮) →1999年6月で縮刷版廃刊 2008年6月～現在(原)
3	宮古新報	2010年～現在	原紙5年	×	×	2011年～現在(原)
4	八重山毎日新聞	2010年～現在	原紙5年	×	×	2011年～現在(原)
5	朝日新聞(東京版)	1942年～現在 欠号 (1951年～1983年 1986年12月, 1988年12月)	3年	×	永年	1942年～1950年(縮刷復刻版) 1984年～1986年11月(縮) 1987年～1988年11月(縮) 1989年～2014年(縮) 2015年～現在(原)
6	毎日新聞(東京版)	1990年～現在 欠号 (1999年4月～2003年, 2004年5・8月)	3年	×	永年	1990年～1999年3月(縮) 2013年～現在(原)
7	読売新聞(東京版)	1990年～現在 欠号 (1990年1・2・5・6・10月 1997年3月～2003年)	3年	×	永年	1990年3・4・7～9・11・12月(縮) 1991年～1997年2月(縮) 2013年～現在(原)
8	日本経済新聞	1984年2月～現在 欠号 (1984年1月・6月 1986年2～5・12月 1987年1～5・10月 1988年12月 1989年2月 1990年2～5月)	縮刷版 登録次第 当該月 原紙廃棄	×	永年	1984年2・3・7～12月(縮) 1985年～1986年1・6～11月(縮) 1987年6～9・11・12月(縮) 1988年1～11月(縮) 1989年1・3～12月(縮) 1990年1・6～12月(縮) 1991年～現在(縮)
9	スポーツニッポン	2015年～現在	1年	×	×	2015年～現在(原)
10	日経MJ(流通新聞)	2013年4月～現在	3年	×	×	2013年4月1日～現在(原)
11	日刊工業新聞	2013年～現在	3年	×	×	2013年～現在(原)
12	観光とけいざい	1984年～現在 欠号 (1987年11月～1988年1月) [294号～297号],	一定期間 経過で 原紙製本	永年	×	1984年～1987年10月(製) [214号～293号] 1988年2月～2006年12月(製) [298号～713号] 2007年1月～現在(原) [714号～現在]
13	しんぶん赤旗	2015年～現在	1年	×	×	2015年～現在(原)
14	公明新聞	2015年～現在	1年	×	×	2015年～現在(原)

No.	新聞名	全所蔵年月日	保存年限			備考
			原紙	製本	縮刷版	原紙(未製本)→原紙製本→製縮刷版→縮
15	社会新報	2014年～現在	1年	×	×	2015年～現在(原)
16	自由民主	2014年～現在	1年	×	×	2015年～現在(原)
17	プレス民主	2014年～現在	1年	×	×	2015年～現在(原)
18	高校生新聞・高校生スポーツ	2014年～現在	1年	×	×	2015年～現在(原)
19	朝日中高生新聞	2014年～現在	1年	×	×	2015年～現在(原)
20	毎日小学生新聞	2014年～現在	1年	×	×	2015年～現在(原)
21	ニッキン	2013年～現在	3年	×	×	2013年～現在(原)
22	民団新聞	2015年～現在	1年	×	×	2015年～現在(原)
23	The Japan Times	2013年～現在	3年	×	×	2013年～現在(原)
24	USA TODAY	2013年～現在	3年	×	×	2013年～現在(原)
25	福島民友	2015年～現在	1年	×	×	2015年～現在(原)
26	福島民報	2015年～現在	1年	×	×	2015年～現在(原)
27	沖縄建設新聞	1979年～1980年 2012年～現在	3年	×	永年	1979年～1980年(縮) 2012年～現在(原)
28	サンデーおきなわ(休刊)	1992年～1996年3月	×	永年	×	1992年～1996年3月(製)
29	つり沖縄新聞(休刊)	1987年～1994年4月 欠号 (1992年11月,12月)	×	永年	×	1987年～1992年10月(製) 1993年～1994年4月(製)
30	週刊レキオ	1985年4月～現在	一定期間 経過で 原紙製本	永年	×	1985年4～2006年12月(製) [No.1～No.1134] 2006年6月後半～現在(原) [No.1076～現在]
31	ほーむぶらざ	1985年～現在 欠号 (1985年8月[No.15]・ 1987年1月[No.32])	一定期間 経過で 原紙製本	永年	×	1985年1月～2007年7月前半(製) [No.8～No.1050] 2007年7月後半～現在(原) [No.1051～現在]
32	週刊タイムス住宅新聞	1985年7月～現在 欠号 (1995年4月～1995年9月) [501号～525号] (1996年4月～1996年8月) [551号～575号]	一定期間 経過で 原紙製本	永年	×	1985年7月～2007年6月前半(製)
33	かふう	2006年1月～現在 欠号 (2006年2月3日[vol.18])	一定期間 経過で 原紙製本	×	×	2006年1月～現在(原)
34	うらそえタイムス (シュエット浦添へ改称)	2003年8月～2005年8月 欠号 (2005年1月[16・17号])	×	永年	×	2003年8月～2005年8月(製) ・2003年8月創刊 《沖縄タイムス浦添販売店会南地区 発行》
35	シュエット浦添(休刊)	2005年9月～2006年1月	一定期間 経過で 原紙製本	永年	×	2005年9月～2006年1月(原) ・2005年9月創刊、2006年6月休刊 《沖縄タイムス浦添販売店会南地区 発行》
36	てだこタイムス (ていだタイムスへ統合)	2000年3月～2001年4月 欠号 (2001年3月[13号])	×	永年	×	2000年3月～2001年4月(製) ・2000年3月創刊 《沖縄タイムス屋富祖販売センター 発行》
37	ていだタイムス	2003年6月～2008年6月 欠号 (2003年8月[第3号])	一定期間 経過で 原紙製本	永年	×	2003年6月～2005年12月(製) 2006年1月～2008年6月(原) ・2003年6月創刊 《沖縄タイムス浦添販売店会北地区 発行》
38	がんじゅうタイムス	(日付なし)[No.1]～現在 欠号(No.12・13・16・18 25・28・29)	一定期間 経過で 原紙製本	永年	×	(日付なし)[No.1]～現在(原) 《沖縄タイムス浦添中央販売センター》
39	てだこネット	2005/2/1 2006年1月～2007年12月	一定期間 経過で 原紙製本	永年	×	2005年2月(原) 2006年1月～2007年12月(原) 《琉球新報浦添ニュータウン販売所発行》

●沖繩学研究室 所蔵新聞一覧

(平成29年3月現在)

No.	新聞名	製本/縮刷版	元号	西暦	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
1	琉球新報	複写製本	明治31	1898				○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			明治32	1899	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			明治33	1900	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			明治34	1901	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			明治35	1902	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			明治36	1903	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			明治37	1904	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			明治38	1905	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			明治39	1906	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			明治40	1907	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			明治41	1908	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			明治42	1909	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			明治43	1910	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			明治44	1911	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			大正元	1912	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			大正2	1913	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			大正3	1914	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			大正4	1915	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			大正5	1916	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			大正6	1917	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			大正7	1918	○	○	○	○	○									
			大正8	1919														
			大正9	1920														
			大正10	1921														
			大正11	1922														
			大正12	1923														
			大正13	1924	大正13年～大正15年													
			大正14	1925														
			昭和元	1926														
			昭和2	1927														
昭和3	1928																	
昭和4	1929	昭和4年～昭和5年																
昭和5	1930																	
昭和6	1931																	
昭和7	1932																	
昭和8	1933																	
昭和9	1934																	
昭和10	1935																	
昭和11	1936													○				
昭和12	1937																	
昭和13	1938	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
昭和14	1939	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
昭和15	1940	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
昭和28	1953	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
昭和29	1954	○	○	○	○	○	○											
2	琉球新報	縮刷版	昭和40	1965									○	○	○	○		
			昭和41	1966	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			昭和42	1967	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			昭和43	1968	○	○	○	○			○	○	○					
			昭和44	1969	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

No.	新聞名	製本/縮刷版	元号	西暦	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
3	沖縄新報	複写製本	昭和16	1941	昭和16年～昭和19年												
			昭和17	1942													
			昭和18	1943													
			昭和19	1944													
			昭和20	1945	○	○											
4	うるま新報	複写製本	昭和20	1945	昭和20年～昭和21年												
			昭和21	1946													
			昭和22	1947	昭和22年～昭和23年												
			昭和23	1948													
			昭和24	1949	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			昭和25	1950	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			昭和26	1951	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
5	沖縄日報	複写製本	昭和11	1936	昭和11年												
			昭和12	1937													
			昭和13	1938	○	○	○	○	○	○	○						
			昭和14	1939													
			昭和15	1940		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	沖縄新民報	複写製本	昭和21	1946	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			昭和22	1947	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			昭和23	1948	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			昭和24	1949	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			昭和25	1950	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			昭和26	1951	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			昭和27	1952	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			昭和28	1953	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	沖縄人民党 中央機関紙「人民」	縮刷版	昭和37	1962	1962年～1965年												
			昭和38	1963													
			昭和39	1964													
			昭和40	1965													
			昭和41	1966	1966年～1968年												
			昭和42	1967													
			昭和43	1968													
			昭和44	1969	1969年～1970年												
			昭和45	1970													
			昭和46	1971	1971年～1973年												
昭和47	1972																
昭和48	1973																
8	先嶋新聞	複写製本	大正6	1917													1917年
			大正7	1918	1918年												
			大正8	1919	1919年												
			大正9	1920	1920年												
			大正10	1921	1921年												
			大正11	1922	1922年												
			大正12	1923	1923年												
			大正13	1924	1924年												
			大正14	1925	1925年												
			大正15	1926	1926年												
9	人民導報	複写製本	昭和21	1946	○	○	○	○	○	○							
10	台湾日日新報	複写製本	昭和19	1944	○	○	○										

●「沖繩タイムス」所蔵一覧

◎:原紙製本・縮刷版あり
△:原紙のみ

●:原紙製本のみ
×:所蔵なし

○:縮刷版のみ

(平成29年3月現在)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
S48	1973	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●
S49	1974	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S50	1975	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S51	1976	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
S52	1977	◎	◎	◎	◎	◎	◎	●	●	●	●	●	●
S53	1978	●	●	●	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	●	◎
S54	1979	◎	◎	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
S55	1980	◎	◎	◎	◎	◎	◎	●	◎	◎	◎	◎	◎
S56	1981	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
S57	1982	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
S58	1983	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
S59	1984	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
S60	1985	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
S61	1986	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
S62	1987	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
S63	1988	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H元	1989	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H2	1990	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
H3	1991	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
H4	1992	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
H5	1993	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
H6	1994	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
H7	1995	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
H8	1996	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H9	1997	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H10	1998	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H11	1999	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H12	2000	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H13	2001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H14	2002	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H15	2003	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H16	2004	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H17	2005	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H18	2006	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H19	2007	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H20	2008	●	●	●	●	●	△	△	△	△	△	△	△
H21	2009	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H22	2010	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H23	2011	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H24	2012	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H25	2013	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H26	2014	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H27	2015	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H28	2016	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H29	2017	△	△	△									

●「琉球新報」所蔵一覧

◎:原紙製本・縮刷版あり
△:原紙のみ

●:原紙製本のみ
×:所蔵なし

○:縮刷版のみ

(平成29年3月現在)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
S40	1965	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○
S41	1966	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
S42	1967	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
S43	1968	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
S44	1969	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
S45	1970	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
S46	1971	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
S47	1972	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
S48	1973	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●
S49	1974	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S50	1975	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S51	1976	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S52	1977	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S53	1978	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S54	1979	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S55	1980	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S56	1981	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S57	1982	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S58	1983	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S59	1984	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S60	1985	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S61	1986	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S62	1987	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S63	1988	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H元	1989	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H2	1990	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H3	1991	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H4	1992	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H5	1993	●	●	●	●	●	●	●	◎	◎	◎	◎	◎
H6	1994	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
H7	1995	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
H8	1996	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H9	1997	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H10	1998	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H11	1999	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●
H12	2000	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H13	2001	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H14	2002	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H15	2003	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H16	2004	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H17	2005	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H18	2006	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H19	2007	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H20	2008	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
H21	2009	●	●	●	●	●	△		△	△	△	△	
H21	2009	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H22	2010	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H23	2011	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H24	2012	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H25	2013	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H26	2014	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H27	2015	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H28	2016	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
H29	2017	△	△	△									

●浦添市立図書館職員名簿【平成29年度】

平成29年7月現在

補 職 名	氏名	担 当 事 務	
館 長	平良 美恵	館の統括	
管理係	係 長	島尻 修男	管理係業務の統括、予算決算等館の庶務に関すること
	主 事	平良 国昭	予算及び賃金等庶務全般に関すること
奉仕係 (1班) (2班)	係 長	新城 恵理	奉仕係業務の統括、サービス・資料管理全般に関すること
	主任(主事)	山城 奈緒子	行事、図書館ボランティア、消耗品管理に関すること。
	主 事	新城 茂人	利用者管理、資料利用拡大・返却促進、統計、毀損・弁償、奉仕係会計事務に関すること
	主 事	石垣 拓己	BM(としょまる)、予約リクエスト、図書館コンピュータシステムに関すること
	主 事	下地 崇瑛	BM(としょまる)、相互貸借、図書館コンピュータシステム、資料修理に関すること
	嘱託職員	外間 由実子	一般書、一般向けサービス、職員研修に関すること
	〃	兼久 睦	TRCデータ管理、著作権、レファレンス(一般)に関すること
	〃	謝花 真由美	キャリアビジネスコーナー、メディカル・ヘルスコーナー、子育て応援コーナー等資料、障がい者サービスに関すること
	〃	内田 歩南	雑誌・新聞資料・逐次刊行物、雑誌スポンサーに関すること
	〃	當間 千晃	アメリカ情報コーナー、市広報に関すること
	〃	岩崎 香	多文化共生事業、AV資料、集配サービスに関すること
	〃	仲程 希	YA書、YA向けサービス、業務体験、学校連携に関すること
	〃	徳元 美智代	児童書、乳幼児サービス、読書推進に関すること
	〃	比嘉 しおり	児童書、児童サービス、施設見学等、読書推進に関すること
	臨時職員	平良 元太	奉仕係業務全般
	〃	謝敷 千尋	奉仕係業務全般
奉仕係 (3班)	主任(主事)	赤嶺 なをみ	沖縄学研究室業務、地域資料(浦添・沖縄)事業の全般
	嘱託職員	新里 彩	沖縄学講座、地域資料の収集・整備、沖縄学・郷土に関するレファレンスに関すること、デジタル資料に関すること
	〃	栗野 伸一郎	沖縄学講座、地域資料の収集・整備、沖縄学・郷土に関するレファレンスに関すること、郷土・沖学資料寄贈に関すること
	〃	宇良 留美	郷土書・沖縄学研究室の書籍資料に関すること
	〃	宮城 真帆	児童郷土書・郷土逐次刊行物、職員研修に関すること
	臨時職員	亀田 亘	奉仕係業務全般

●浦添市立図書館協議会委員名簿【平成 29 年度】

浦添市立図書館の設置及び管理に関する条例（昭和 59 年条例第 34 号）第 7 条により、市立図書館の運営に関する館長の諮問機関として「浦添市立図書館協議会」が設置されております。

当協議会は、学識経験者、学校教育関係者及び社会教育関係者等で構成され、図書館運営上の基本的事項について検討し、その結果を館長に具申する活動を行っております。

	氏 名	役 職 名	備 考
1	仲西 正勝	前浦添市立図書館長	学識経験者
2	國仲 恵子	うらそえぐすく児童センター館長	社会教育関係者
3	森川 武	港川学童クラブ指導員	〃
4	日高 智子	ていーだの会代表	〃
5	長嶺 悦子	浦城っ子児童センター館長	〃
6	西俣 睦子	浦城小学校図書館司書	学校教育関係
7	島尻 順子	仲西小学校校長	〃

浦添市立図書館に関する新聞記事【平成 28 年度】

	掲載年月日	平成 28 年 4 月 4 日(月)	新聞紙名	沖縄タイムス(20 面)
	みだし	図書館に児童書贈る／浦添 市民大学メンバーら		
	記 事			
①	<p>【浦添】市民講座「てだこ市民大学」と保護者や児童センターの有志が運営している「ていーだこども食堂」のメンバーが 3 月 26 日、児童書 14 冊を市立図書館に贈った。</p> <p>図書は、2 月にあった市のイベント「まなびフェスタ浦添」の収益金で購入した。</p> <p>フェスタでは、市民大学が浦添特産の桑の葉の粉を使ったスープカレー、ていーだこども食堂がくるま麩(ふ)を使ったラスクを準備し、セットメニューとして販売。両者はことし初めて共同出店した。</p> <p>同日うらそえぐすく児童センターであった贈呈式では、てだこ市民大学の金城政榮さん(70)や市立図書館の仲西正勝館長(71)が出席。児童センターの国仲恵子館長(52)は「子どもたちがこれからも文化的な活動に関われるよう皆さんのお力を貸してください」とあいさつした。</p> <p>(写真説明)児童書を寄付していたていーだこども食堂やてだこ市民大学のメンバーら 3 月 26 日、浦添市のうらそえぐすく児童センター</p>			
	掲載年月日	平成 28 年 4 月 9 日(土)	新聞紙名	琉球新報(25 面)
	みだし	フェスタ収益で児童書／こども食堂の児童ら 浦添市図書館に 14 冊		
	記 事			
②	<p>【浦添】浦添市のでだこ市民大学の学生とていーだこども食堂の児童らが、2 月中旬に市内で開催された「まなびフェスタ浦添」の収益金から、市立図書館に児童書を寄贈し、3 月 26 日、うらそえぐすく児童センターで贈呈式が行われた。</p> <p>てだこ市民大学フェスティバル実行委員会の金城政榮会長から、市立図書館の仲西正勝館長(3 月末で退任)に 14 冊の児童書が手渡された。</p> <p>まなびフェスタの収益金を同実行委員会が市立図書館へ本にして寄贈するのは昨年に続き 2 度目。「一市民大学」はことし初めて、ていーだこども食堂と共同で出店し、カレーやラスク、デザートなどを販売した。</p> <p>金城会長は「子どもたちに小さい時からいい本と出合っって知識を広げ、自立につながってほしい」と語った。</p>			
	掲載年月日	平成 28 年 5 月 23 日(月)	新聞紙名	琉球新報(24 面)
	みだし	＜仕掛け人の心意気＞9／浪岡光雄さん 浦添／カーミージーで観察会／海の豊かさ伝える		
	記 事			
③	<p>【浦添】浦添市の米軍キャンプ・キンザー沖に広がる遠浅の海。「カーミージー(亀瀬)」と呼ばれるこのイノー(礁池)には、多様な生き物たちが息づいている。</p> <p>この豊かで貴重な場所を子どもたちや市民に広く知ってほしいと、同市に住む浪岡光雄さん(66)は 2014 年 4 月に「カーミージーの海で遊び隊」を結成した。現在のメンバーは 15 人。毎月の観察会には、妻と孫娘も加わる。</p> <p>大阪市出身の元中学理科教師。子どもの頃は沼地が遊び場で、トンボやカエル、カマキリを捕まえたり、ザリガニを釣ったりして遊んだ。それが「自然の中で遊ぶ今のベースになっている」。</p> <p>ダイビングが好きで、座間味島に約 20 年通い続けた。「沖縄の海の素晴らしさを感じ、住みたいと思うようになった」</p> <p>移住の直接のきっかけは、県内のダイビングショップに娘が就職し、その子どもが生まれたこと。孫と一緒に生活したいと、定年まで 2 年を残して 8 年前に暮らしの場を移した。</p> <p>自宅からすぐ近くにあるカーミージーの海に毎日通っているうちに、地元の港川自治会が案内役となっている小学校の観察会を手伝うようになった。</p> <p>元理科教師とはいえ、専門は地質学。子どもたちから「これ何」と盛んに質問を受けるが、知らないものも多かった。それを写真に撮って図書館で調べた。そうしてまとめたのが、この海の生き物を魚、サンゴ、海草などと仲間別にグループ分けして写真で紹介したパンフレットだ。「さわるとキケン」「たべるとキケン」とマークを付けて分かりやすく示したところ、好評だという。</p> <p>「遊び隊」の観察会は夜開くことがある。暗い海でホテルのように光るプランクトンを初めて見て、感動する人もいる。魅力的な場所なのに「沖縄の人は普段あまり海に行かない」と残念がる。</p>			

	<p>ショックなこともあった。アニメ映画で「ニモ」として有名になったカクレクマノミの生息する様子が、テレビで紹介された後、すみかのインギンチャクごと誰かに持ち去られたのだ。毎日のように「元気か」と声をかけ、成長を見守っていただけに、悔しい思いだった。</p> <p>「カーミージーは浦添の宝。みんなの財産」。生態系は一つ一つが互いに作用し合い成り立っていると指摘、埋め立て計画があることを懸念する。</p> <p>「自然の一員として人間が生きていく。その謙虚さが必要」。海的美しさと共に訴えたいことだ。(宮里努) (第2,4月曜日掲載)</p> <p><メモ></p> <p>「カーミージーで遊び隊」の活動は、ブログ(http://kamijasob.exblog.jp/)で報告している。これまでの観察会の様子や、今後の日程なども随時掲載している。</p>			
	掲載年月日	平成28年6月21日(土)	新聞紙名	琉球新報(14面)
	みだし	内間安哩と移民100年展/26日まで浦添美術館		
	記事			
④	<p>浦添市美術館は26日まで、浦添市立図書館との共同企画「内間安哩のARTと浦添の移民100年展」を開催している。県系2世で米国や日本で活躍した木版画家・洋画家の内間安哩の作品26点(全て県立博物館・美術館所蔵)と北南米を中心とした浦添出身の移民を紹介するパネルなどを展示している。</p> <p>内間安哩は1921年、浦添市出身の父と中城村出身の母との間に、米国で生まれた。40年に早稲田大学建築科に留学。59年まで東京に住み油彩画や木版画を制作した。鮮やかな色彩とパターンを組み合わせたモダンな木版画で注目を浴び、「Forest Byobu(森の屏風(びょうぶ))」シリーズなどの代表作がある。今回は、1960～80年代に制作された油彩画と木版画を展示している。</p> <p>移民100年展は、10月に開催される「第6回世界のウチナーンチュ大会」を記念した企画。浦添から1904年に初めてハワイへ移民が渡って以降の歴史をたどる。家族写真や渡航時に使われたスーツケース、旅券、現地の日系新聞などが並び、移民の足跡を紹介する。</p> <p>美術館では25日午後2時～4時にギャラリートークがあり、図書館では26日午前10時～正午に沖縄ブラジル協会副会長の新屋敷幸福さんによる講座がある。問い合わせは美術館(電話)098(879)3219、図書館(電話)098(876)4946。</p>			
	掲載年月日	平成28年7月8日(金)	新聞紙名	沖縄タイムス(5面)
	みだし	[わたしの主張あなたの意見]/図書館で助言 男性に「感謝」/20代女性		
	記事			
⑤	<p>週末、私はある試験を前に市立図書館を利用し、勉強していた。久しぶりに書く小論文に苦戦していた私は、書いた文字を消しゴムで消し、新たに書き直してはまた消して、を繰り返していた。</p> <p>一通り書き終わり、一息ついていると、どこからともなく60代くらいの男性がこちらの方へ来て、「学生さん？」と尋ねてきた。急な登場に驚いた私は、実際は会社員であるが、反射的に「そうです」と答えた。すると男性は、「これ、参考になるかもしれないから読んでみて」と紙切れをくれて去って行った。</p> <p>不思議に思い見てみると、「消しゴムを使わない勉強方法もあるよ。東大に合格した生徒はノートを真っ黒にして鉛筆を使い、一回も消しゴムを使わない。時間の節約」と書いてあった。</p> <p>勉強向上のために見ず知らずの私に助言をくれた男性に、あの時お礼を言いそびれてしまったので、ここでお礼ができれば、と思う。(浦添市、会社員)</p>			
	掲載年月日	平成28年7月25日(月)	新聞紙名	沖縄タイムス(22面)
	みだし	てだこ随筆ク 最新号を発刊/同人誌 21編で構成		
	記事			
⑥	<p>【浦添】市内を拠点に会員の随筆・創作活動を通じた親睦を図るてだこ随筆クラブ(吉濱活会長)がこのほど、同人誌「てだこ第28号」を発刊した。日々の暮らしの中での思いや感じたことを自由に書いた会員の随筆計10人、21編を収録している。</p> <p>吉濱会長やメンバーは「趣味や旅行、介護や、子、孫の話まで多彩な内容の身近雑記に仕上がった」と説明。「従来は毎月第2金曜の夜に行っていた定例会を、8月から第4土曜の午後3～5時に変更した。気軽に参加してほしい」と呼び掛けている。</p> <p>同人誌は非売品。市立図書館などで閲覧できる。入会などの問い合わせは吉濱会長、電話098(878)9240。</p> <p>(写真説明)同人誌「てだこ第28号」を発刊した、てだこ随筆クラブの(左から)金城政榮編集長、吉濱活会長、垣花讓二書記=那覇市久茂地・沖縄タイムス社</p>			
	掲載年月日	平成28年8月11日(木)	新聞紙名	琉球新報(32面)
	みだし	海外研修生と英会話/国際センター 児童が一日図書館員/浦添		
	記事			
⑦	<p>【浦添】浦添市に住む児童4人が3日、「夏休み一日図書館員」として同市にあるJICA沖縄国際センターの図書資料室で、本の貸し出しなどを手伝った。</p> <p>海外からの研修生たちに、手引を見ながら英語で対応した児童たちは「どこから来たんですか」などと、身ぶり手ぶりを交えながら会話し、交流を楽しみながら作業に当たった。</p>			

	<p>子どもたちの図書館への関心を高めようと、浦添市立図書館が毎年企画しているもので、2012年からは沖縄国際センターと共同で行っている。</p> <p>児童は英語で「どんな本を探していますか」と声を掛け、職員と一緒に研修生を本棚まで案内。返却日を伝えて本を渡すまで、図書館員の仕事を体験した。</p> <p>研修生と自己紹介し合ったり、地球儀で出身国を教えてもらったりもした。我如古優さん(浦城小4年)は「少し緊張したけど、とても楽しかった。英語で答えるのは難しかった」と感想を話した。一安(いちやす)珠那(しゅな)さん(浦添小5年)は「この経験を生かしていきたい。来年もまた応募したい」と笑顔を見せた。</p> <p>児童たちは市立図書館でも本の貸し出しや整理などを手伝った。</p>			
⑧	掲載年月日	平成28年9月24日(土)	新聞紙名	琉球新報(22面)
	みだし	大阪で移動編集局／「沖縄文化が育む絆」登壇者の略歴		
	記事			
	<p>大阪沖縄県人会連合会創立70年・記念琉球新報移動編集局フォーラム「沖縄文化が育む絆」の登壇者の略歴は以下の通り。(1面に関連)</p> <p>◇高良倉吉氏(元沖縄県副知事、琉球大学名誉教授・たからくらし) 1947年、伊是名村生まれ、71年愛知教育大卒。88年浦添市立図書館長。94年琉大法文学部教授、2013年4月～14年12月沖縄県副知事。琉球史を研究。国際交流奨励賞・日本研究賞(2004年)など受賞多数。</p> <p>◇志いさー(藤木勇人)(ウチナー噺家・ふじきはやと)1961年、コザ市生まれ。93年から落語家立川志の輔師匠を師事、沖縄・東京での一人ゆんたく芝居定期公演を開始。2008年関東での「ゆんたく独演会」開始。13年立川志いさーに改名。現在は高座名「志いさー」で活動中。</p> <p>◇嘉手川重義氏(大阪沖縄県人会連合会会長・かでかわしげよし)1942年、大阪府泉大津市生まれ。那覇市出身の両親と沖縄に戻り、71年に県内旅行社の大阪営業所設立のため大阪へ。86年大阪国際旅行社を設立し、87年居酒屋おもろを開店。2009年から大阪沖縄県人会連合会会長を務める。</p> <p>◇筋原章博氏(大阪市大正区長・すじはらあきひろ)和歌山市出身。1985年大阪市内に就職。2010年に大正区長、12年に公募区長として再就任。「大阪と沖縄の融合文化」を生かした「おきなニワンプロジェクト」を推進。与那原大綱曳招致の縁で7月に与那原町と友好交流確認書を締結した。</p> <p>◇仲村隆男氏(大正沖縄県人会会長・なかむらたかお)1952年大阪市大正区生まれ。両親は名護市出身。90年仲村鋼業を設立。2009年大正沖縄県人会平尾分会長、大阪沖縄県人会連合副会長を経て、14年に大正沖縄県人会会長に就任。大正区のエイサー団体大正琉球会の世話役も担う。</p>			
⑨	掲載年月日	平成28年11月6日(日)	新聞紙名	沖縄タイムス(4面)
	みだし	[寄稿]／垣花譲二／「モモタマナ」知りたい由来		
	記事			
	<p>モモタマナとは沖縄の方言名のクワディーサー、あるいはクファディーサーのことで、方言名は地域によって異なる。コバテイシともいい、植物図鑑などでは「モモタマナ(コバテイシ)」と併記されており、池原直樹著『沖縄植物野外活用図鑑(第四巻)』(1979年)でも「モモタマナ(コバテイシ)」とカッコ書きで記載されている。</p> <p>語源や表記などが気になって、浦添市立図書館所蔵の国語辞典で調べてもらったところ「こばていし」や「コバテイシ」の見出しはないという。「モモタマナ」については一番古いもので『日本国語大辞典』の初版(76年)に「ももたまな」の平仮名見出しで出ているが、説明文の中にコバテイシの記載はないという。『日本語大辞典』(86年)や『大辞林(第三版)』(2006年)では「ももたまな」の説明の末尾にコバテイシとだけ記載されているとのことであった。</p> <p>琉球王国の正史として編さんされたという『球陽』には「枯葉手樹」の表記があるといい、それが方言名のクワディーサーになり、漢字の読みから「コバテイシ」になったのではともいわれている。『球陽』の中で「枯葉手樹」がどのような記述内容の中で用いられているのか、モモタマナ(漢字で「桃玉名」との表記も散見される)とコバテイシの表記はどちらが古いのか。琉球古典の「踊りこはでさ節」などの「こはでさ」もクワディーサーのことであるが、名称の変化、つながりの経緯なども関連させて興味は尽きない。研究者に教えを乞いたい。</p> <p>5、6年前に樹齢400年ともいわれる「今帰仁村今泊のコバテイシ」を訪れ、その巨木・老木に圧倒され感銘を受けた。同時に、根元から幹にかけて大きく空洞化し、横に伸びる枝を4本のコンクリートの柱で支えられた痛々しい姿に心を痛めた。公民館の関係者によると樹木医による定期的な剪定(せんてい)、管理の下、保護に努めているという。</p> <p>同村内で親の代からモモタマナを栽培しているYさんは「県内のモモタマナの多くはこの老木の実から育てたもので、その子、孫、ひ孫…と広まったと思う。潮風に強く、材質は固くて丈夫、5年ほどで実をつける。砂地に実の先を上にして植えると、発芽率は95%くらいだ」と説明してくれた。</p> <p>沖縄県が認定した「沖縄の名木百選」の中には今帰仁村、久米島町、中城村、うるま市、竹富町の計6本のコバテイシが含まれており、全て訪れてみたい。(浦添市、68歳)</p>			

	掲載年月日	平成 28 年 11 月 10 日(木)	新聞紙名	琉球新報(30 面)
	みだし	福谷、大嶺さん「煌賞」/浦添図書館、YA 文芸賞表彰式/応募 144 作品、8 人入賞		
	記 事			
⑩	<p>【浦添】浦添市立図書館は 3 日、2016 うらそえ YA 文芸賞表彰式と読書講演会を市てだこホールで開催した。短編小説部門と詩部門で計 8 人を表彰した。浦添市長賞に当たる「煌(きらめき)賞」の短編小説部門は安岡中 2 年の福谷千恵さんの「太陽の影」、詩部門では那覇西高 3 年の大嶺佳奈さんの「自転車登校」が選ばれた。</p> <p>同文芸賞は、中学生から大学生の「ヤングアダルト(YA)」世代の文学活動や読書活動を盛り上げようと 2009 年に始まった。本年度は短編小説部門に 16 作品、詩部門に 144 作品の応募があった</p> <p>煌賞の福谷さんは「実際の自分の経験を基に、人の心の影をテーマに書いた。登場人物の心情を丁寧に表現することが難しかった。賞を励みに書き続けていきたい」と話した。大嶺さんは「感じたことやありのままの気持ちを言葉にした。残り少ない高校生活を大切に、今しかできない自転車登校を精いっぱい楽しみたい」と受賞の喜びを語った。</p> <p>又吉栄喜審査委員長は「作者が登場人物と一体化し、普遍的なものが表れた。意識はしなかったはずだが、ある意味世界名作に付随するような作品が出来上がった。登場人物の数も適切だった。今後は登場人物の背景も気に留めてほしい」と講評した。</p> <p>他の受賞者は次の通り。</p> <p>【短編小説】▽輝賞・本仮屋太玖(昭和薬科大付属中 2 年)「捕らわれ」▽審査員特別賞・上地将英(浦添高 3 年)「夜明けの街」▽浦添市立図書館長賞・仲石香菜子(那覇国際高 2 年)「君と私の二年間」</p> <p>【詩部門】▽輝賞・新城早樹(那覇西高 3 年)「にせものほんもの」▽審査員特別賞・山城猛(那覇西高 3 年)「上を目指して」▽浦添市立図書館長賞・金城貴大(那覇西高 3 年)「人生」</p>			
	掲載年月日	平成 28 年 12 月 5 日(月)	新聞紙名	沖縄タイムス(13 面)
	みだし	「うらそえ文藝」21 号発刊/多彩なジャンルを収録		
	記 事			
⑪	<p>浦添市文化協会の文芸部会が発刊する総合文芸誌「うらそえ文藝」第 21 号がこのほど発刊された。毎年 1 号のペースで編集されており、昨年新たに大城直武編集長が就任しての初の発刊号となる。</p> <p>詩や評論・論考、短歌、俳句、琉歌、随筆、小説など多彩なジャンルを収録。巻頭エッセーは芥川賞作家の又吉栄喜さんの「文字のきせき」、大城編集長による舞踏家・玉城千枝さんへのインタビュー「古典芸能舞踊に魅せられて」、若い世代を対象にした浦添市立図書館の「うらそえ YA 文芸賞」入賞作品などが掲載されている。</p> <p>発刊に伴い、沖縄タイムス社を訪れた大城編集長や文芸部会の役員は「総合文芸誌としてバラエティーに富んだ内容。これまでと比べて売れ行きもいい」と発刊の手応えを話している。</p> <p>同誌は計 157 ページ。千円。県内主要書店のほか、図書館などでも閲覧できる。問い合わせは文芸部会事務局、電話 098(878)4553。</p> <p>(写図説明) 発刊された総合文芸誌「うらそえ文藝」第 21 号を PR する大城直武編集長(後列右)と文芸部会の役員ら＝那覇市・沖縄タイムス社</p>			
	掲載年月日	平成 29 年 1 月 5 日(木)	新聞紙名	沖縄タイムス(27 面)
	みだし	認める浦添に/県内 2 例目「レインボー都市」宣言		
	記 事			
⑫	<p>【浦添】浦添市は 4 日、性の多様性を認め合うまちを目指す「レインボー都市うらそえ」を宣言した。同日、市役所の掲揚台前でセレモニーを開き、「レインボーフラッグ」を市旗と共に掲げた。同様の宣言は那覇市に続き県内 2 例目。</p> <p>宣言文は 1 日付で「誰もが望む性で生きること(性自認)、どの性を愛するか、愛さないか(性指向)等は、人が自分らしく幸福に生きる当然の権利」と明記。「性の多様性を知り認め合うことは、人権が守られる平和で豊かな社会に繋(つな)がる」と強調した。松本哲治市長が「差別や偏見をなくし、誰もがティーン(太陽)のように輝けるように」と読み上げた。</p> <p>「日本性同一性障害と共に生きる人々の会沖縄支部」の比嘉淑貴支部長は「個人の性の問題ではなく、社会全体で考える大きな一歩。理解が広がり、みんなが自分らしく幸せに生きていけたら」と期待。文案作成に関わった当事者の一人(35)は「教育現場など、まずは多様な性を知ることから始めてほしい」と訴えた。</p> <p>市は今後、「ふるさと納税」を財源として啓発活動に取り組む方針。市立図書館では性の多様性に関する書籍の展示会を、29 日まで開いている。</p> <p>(写図説明) 「レインボー都市うらそえ」を宣言した松本哲治市長(左)ら関係者＝4 日、浦添市役所</p>			
	掲載年月日	平成 29 年 1 月 24 日(火)	新聞紙名	沖縄タイムス(16 面)
	みだし	[座談会 沖縄と鎌倉芳太郎] (1) / 失われた沖縄文化 記録		
	記 事			
⑬	<p>大正末から昭和初期に琉球・沖縄関係資料を収集した鎌倉芳太郎(1898～1983 年)が、県立芸術大学に寄贈した調査ノートなどをまとめた「鎌倉芳太郎資料集」の刊行事業が終了した。同大付属研究所が約 20 年かけて整理・編集し、2002 年から資料集を刊行。</p>			

全7冊が完成した。沖縄戦で失われた貴重な沖縄文化を記録したノートをはじめとする鎌倉資料の意義や重要性について、波照間永吉、豊見山和行、栗国恭子の3氏に議論してもらった。進行役は宮城一春氏。

ノート基に論文2本

豊見山和行氏 琉球大学教授

人生の節目で関わり

波照間永吉氏 県立芸術大学名誉教授

資料の整理に携わる

栗国恭子氏 県立芸大付属研究所共同研究員

進行 宮城一春氏

宮城氏「鎌倉芳太郎資料集」が完結し、いろいろと話を伺いたい。まず資料との関わりは。

波照間氏 鎌倉芳太郎の名前を最初に知ったのは1972年2月に鎌倉が大正時代に撮影した写真の展示会「50年前の沖縄」が首里にあった琉球政府立博物館(現・県立博物館)で開催されていたことがきっかけ。当時私は琉球大3年生。博物館2階に円覚寺の「山門」の大きな写真が展示されており、度肝を抜かれた。72年は5月に復帰を控えており、沖縄が揺れ動き、今後どうなるのかと私自身不安を感じていた。

復帰論の影響もあるが、沖縄にヤマトと対抗できる何ものがあるのか、沖縄文化の内実をわれわれ自身が知らなければ、明治の琉球処分と同様に貧しい形で沖縄が日本の一県に追いやられかねない。私なりに沖縄文化の固有性を勉強しようと思い、琉球文学の研究を志した。その時に「50年前の沖縄」の展示物が、自信と感動を与えてくれた。

復帰後は東京で、外間守善先生のもとで琉球文学を研究した。その際、外間先生に「岩波書店から『沖縄文化の遺宝』(82年)という鎌倉先生の名著が出る。沖縄で県立芸術大学が開学する際に資料が寄贈されることになり、粗々の目録を作らなければいけない」と話をされた。外間先生に、岩波書店編集部の高草茂先生に引き合わせられ、岩波書店で編集者の机の下にどんと積まれていた鎌倉ノート81冊と初対面した。84年2~3月ごろと記憶している。

大急ぎで目録を作ることになり、ガラス乾板を除いた写真資料と81冊のノート、それ以外の文献資料の目録を作った。巡り合わせがよく僕も芸大の教員になったが、外間先生から「この資料は君が活字化しないといけない。心得ておきなさい」と言われた。

なぜかと思っていたが、鎌倉家、外間先生、岩波の高草先生の3者間で「資料整理ができる人物を付けなければいけない」という約束がなされ、そこに僕の名前が挙がっており、「そういうことだったのか」と後で知った。芸大に入る前に岩波書店で鎌倉資料と出会い、芸大に入り資料整理に関わり、第4巻の発刊は退職の年。これまでの節目節目で鎌倉先生との関わりがある。

豊見山氏 『沖縄文化の遺宝』が一番大きな出会い。実際に鎌倉資料を手にとって使おうと思ったのは、大学院時代、『沖縄文化の遺宝』に国王の肖像画の「御後絵(おごえ)」が全部載っており、国王の装束の論考があった。私にとって、これが王権論や衣服から歴史を考える上で大きなきっかけになった。

鎌倉ノートで二つ論文が書けた。一つは「宝永元年御条目(ほうえいがんねんごじょうもく)」という1704年に、薩摩藩が琉球に布達した対外関係の大原則の法令がある。「琉球王国評定所文書」などには「宝永元年御条目」に従って処理したと断片的に出てくるが、その法令そのものが探してもなかなか見つからなかった。長い間、気に掛けていたところ、県立芸大で鎌倉資料のコピー本を閲覧したところ、探していた史料が出てきた。その後に出てきた同系統の史料と鎌倉史料を突き合わせても鎌倉史料の写しは非常に正確だった。

もう一つは4巻に収められている「野菜肴有所節付并代付帳(やさいさかなありどころせつづけならびにたいつけしょう)」という史料。海産物や野菜、林産物などの特産物がどの間切にあり、どの季節に採れるということが列挙されている。人々の生業(なりわい)や生活が分かる史料で、これをもとに論文が1本書けた。鎌倉さんの資料がなければこういう論文は書けなかった。美術工芸や文学、歴史など鎌倉ノートの広がりにも驚かされた。

その他、ノートの大きな特徴として家譜から相当、抜粋している。今では失われた家譜もあり、家譜史料に対して戦前から強い問題意識を持っていた。漫然と資料を写しているのではなく、着眼点が素晴らしく、はっきりした目的を持って筆写していたことが分かる。

栗国氏 1990年代に浦添市立図書館沖縄学研究室で勤務時に、首里城復元で「寸法記」などの鎌倉資料の話題がよくされていた。個人的には近代沖縄のジャーナリスト、末吉安恭(麦門冬)の資料を集めていた時期。鎌倉芳太郎が21(大正10)年に県女子師範学校に赴任し、琉球関係の美術・工芸などの助言を受ける人物に末吉安恭がいた。末吉の琉球絵師の新聞連載に触発されたという鎌倉の記述などから、末吉を通して交流を確認すればするほど「すごい若者が当時いたんだ」と鎌倉の研究を知り、勉強になった。

その後、2006年から県立芸大付属研究所の鎌倉資料を整理するグループで、10年ほど共同研究員として各班と作業をやり、データベース化や確認作業に関わった。共同研究員以外でも、07年に第4次鎌倉資料が送られてきた時、所蔵する同大付属図書・芸術資料館の学芸員として現物資料を保管整理することに数年間関わった。

波照間氏 資料全体については栗国さんが一番見ていると思う。今「第4次」という話があったが、県立芸大開学時の1986年(第1次)に大部分が入り、同年10月ごろに紅型資料が入ってこれが第2次。第3次は写真資料や「歴代宝案」の活字本や文献類が主。そして2007年だったか、第4次で「琉球芸術調査」の票の貼られた残りの写真資料や陶器、先生が首里城で採集した陶器片

などが入った。僕が関わらなかったのは2次だけ。3、4次は僕が行ってもらってきた。

栗国氏 『沖縄文化の遺宝』の大判写真のすごさや論述編などの文章も大変勉強になった。また14年にも県立博物館・美術館の企画展「麗しき琉球の記憶-鎌倉芳太郎が発見した美」に協力をさせてもらい、感慨深い関わりをさせてもらった。

とみやま・かずゆき 1956年宮古島出身。琉球史。

はてるま・えいさち 1950年石垣市出身。琉球大学。

あぐに・きょうこ 1963年宮古島出身。民俗学・文化史。

みやぎ・かずはる 1961年那覇市出身。フリー編集者・ライター。

[ことば]

鎌倉芳太郎(かまくら・よしたろう) 1898年香川県生まれ。東京美術学校(現東京芸大)卒業後、沖縄女子師範と県立一高女教諭に就任。

沖縄文化の研究・調査に取り組む。

帰京後も沖縄古美術調査を行い、首里城保存運動にも尽力した。戦後は紅型研究を基に型絵染の制作活動で独自の作風を確立。

1973年重要無形文化財「型絵染」保持者(人間国宝)に認定。83年8月、84歳で死去。

●関係機関一覧

[沖縄県内公共図書館等]

名 称	住 所	電話番号	F A X
沖縄県立図書館	〒902-0064 那覇市寄宮 1-2-16	098-834-1218	098-834-8157
名護市立中央図書館	〒905-0011 名護市宮里 5-6-1	0980-53-7246	0980-52-2607
うるま市立中央図書館	〒904-2221 うるま市字平良川 128	098-974-1112	098-974-3505
うるま市立石川図書館	〒904-2312 うるま市石川字曙 2-1-55	098-964-5166	098-978-4075
うるま市立勝連図書館	〒904-2312 うるま市勝連平安名 3047 番地	098-978-4321	098-974-3505
沖縄市立図書館	〒904-0004 沖縄市中央 2-28-1	098-929-4919	098-923-0312
宜野湾市民図書館	〒901-2214 宜野湾市我如古 3-4-10	098-897-4646	098-897-5642
浦添市立図書館	〒901-2114 浦添市安波茶 2-2-1	098-876-4946	098-875-1772
那覇市立中央図書館	〒902-0064 那覇市寄宮 1-2-15	098-917-3449	098-835-2158
那覇市立牧志駅前ほしぞら図書館	〒902-0067 那覇市安里 2-1-1	098-917-3450	098-867-0343
那覇市立小祿南図書館	〒901-0145 那覇市高良 2-7-1	098-917-3451	098-857-2986
那覇市立首里図書館	〒903-0812 那覇市首里当蔵町 2-8-2	098-917-3452	098-885-9247
那覇市立若狭図書館	〒900-0031 那覇市若狭 2-12-1	098-917-3453	098-860-1246
那覇市立石嶺図書館	〒903-0804 那覇市首里石嶺町 2-70-9	098-917-3454	098-885-9625
那覇市立繁田川図書館	〒902-0071 那覇市繁田川 4-1-38	098-917-3455	098-853-6010
南風原町立図書館	〒901-1113 南風原町字喜屋武 236	098-889-6400	098-888-3265
豊見城市立中央図書館	〒901-0232 豊見城市字伊良波 392	098-856-6006	098-856-8044
南城市立知念図書館	〒901-1511 南城市知念字久手堅 700	098-948-7340	098-948-7340
南城市立知念図書館 佐敷分館	〒901-1403 南城市佐敷字佐敷 307	098-947-1100	098-947-1100
南城市立知念図書館 玉城分館	〒901-0611 南城市玉城字富里 167	098-948-7320	098-948-7320
南城市立知念図書館 大里分館	〒901-1206 南城市大里字仲間 928	098-946-9512	098-946-9512
糸満市立中央図書館	〒901-0362 糸満市字真栄里 1448	098-995-3746	098-992-5778
宮古島市立平良図書館	〒906-0012 宮古島市平良字西里 218-2	0980-72-2235	0980-3-1136
宮古島市立平良図書館 北分館	〒906-0007 宮古島市平良東仲宗根 42	0980-72-2317	0980-2-2352
宮古島市立城辺図書館	〒906-0103 宮古島市城辺字福里 377-1	0980-77-8813	0980-7-8813
石垣市立図書館	〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1	0980-83-3862	0980-3-1645
本部町立図書館	〒905-0212 本部町字大浜 874-1	0980-47-2105	0980-47-2105
金武町立図書館	〒904-1201 金武町字金武 1827	098-968-5004	098-968-5032
嘉手納町立図書館	〒904-0203 嘉手納町字嘉手納 290-9	098-957-2470	098-957-4566
北谷町立図書館	〒904-0103 北谷町字桑江 467-1	098-936-3542	098-936-4567
西原町立図書館	〒903-0111 西原町字与那城 152-5	098-944-4996	098-944-4997
与那原町立図書館	〒901-1303 与那原町字与那原 712	098-946-6959	098-946-6970
宜野座村文化センター図書館	〒904-1302 宜野座村字宜野座 314-1	098-983-2611	098-983-2600
読谷村立図書館	〒904-0322 読谷村字波平 37	098-958-3113	098-958-3129
北中城村あやかりの杜図書館	〒901-2311 北中城村字喜舎場 1214	098-983-8060	098-983-8090
多良間村立図書館	〒906-0601 多良間村字塩川 165	0980-79-2555	0980-79-2555
渡名喜村立中央図書館	〒901-3601 渡名喜村字渡名喜 1935	098-989-2120	098-989-2313
恩納村文化情報センター	〒904-0492 恩納村字仲泊 1656	098-982-5432	
中城村護佐丸歴史資料図書館	〒901-2407 中城村字安里 215	098-895-5302	098-895-3048

[沖縄県内公民館図書室]

名 称	住 所	電話番号	F A X
国頭村立中央公民館図書室	〒905-1411 国頭村字辺土名 112	0980-41-5308	0980-41-5316
東村立中央公民館図書室	〒905-1204 東村字平良 550-4	0980-43-2130	0980-43-2017
今帰仁村中央公民館図書室	〒905-0401 今帰仁村字仲宗根 232	0980-56-2645	0980-56-5274
伊江村中央公民館図書室	〒905-0501 伊江村字東江上 75	0980-49-2334	0980-49-2503
伊平屋村離島振興総合センター 図書室	〒905-0703 伊平屋村字我喜屋 300	0980-46-2806	0980-46-2832
うるま市立与那城地区公民館 図書室	〒904-2304 うるま市与那城屋慶名 467-4	098-978-6836	098-978-2028
北中城村立中央公民館図書室	〒901-2303 北中城村字仲順 435	098-935-3773	098-935-5144
八重瀬町中央公民館図書室	〒901-0401 八重瀬町字東風平 1014	098-998-8383	098-998-4254
八重瀬町立具志頭歴史民俗資料館 図書室	〒901-0512 八重瀬町字具志頭 352	098-998-8708	098-835-7501
栗国村中央公民館図書室	〒901-3702 栗国村字東 580	098-988-2449	098-988-2351
宮古島市上野農村環境改善センター 図書室	〒906-0201 宮古島市上野字野原 708-1	0980-76-2483	0980-76-2483
宮古島市下地公民館図書室	〒906-0304 宮古島市下地字上地 628-1	0980-76-6017	0980-76-6017
宮古島市伊良部公民館図書室	〒906-0501 宮古島市伊良部字前里 1057	0980-78-3558	0980-78-6210
与那国町中央公民館図書室	〒907-1801 与那国町字与那国 125	0980-87-2002	0980-87-2074

[大学図書館等]

名 称	住 所	電話番号	F A X
琉球大学附属図書館	〒903-0214 西原町字千原 1	098-895-8166	098-895-8169
琉球大学附属図書館医学部分館	〒903-0125 西原町字上原 207	098-895-3331	098-895-1092
沖縄県立芸術大学附属 図書・芸術資料館	〒903-8602 那覇市首里当蔵町 1-4	098-882-5038	098-882-5068
沖縄県立看護大学附属図書館	〒902-0076 那覇市与儀 1-24-1	098-833-8806	098-833-5134
沖縄国際大学図書館	〒901-2701 宜野湾市宜野湾 2-6-1	098-892-1111	098-893-3274
沖縄大学図書館	〒902-8521 那覇市字国場 555	098-832-5577	098-834-1127
名桜大学附属図書館	〒905-8585 名護市字為又 1220-1	0980-51-1062	0980-51-1065
沖縄女子短期大学図書館	〒902-0075 那覇市字国場 405	098-833-0719	098-833-3382
沖縄キリスト教学院図書館	〒903-0207 西原町字翁長 777	098-946-1231	098-946-1237
国立沖縄工業高等専門学校図書館	〒905-2191 名護市字辺野古 905	0980-55-4003	0980-55-4067

[浦添市内学校図書室等]

名 称	住 所	電話番号	F A X
浦添市教育研究所（図書室）	〒901-2103 浦添市仲間 2-47-1	098-876-7522	098-876-7222
浦添小学校（図書室）	〒901-2103 浦添市仲間 2-47-1	098-877-2064	098-870-4755
仲西小学校（図書室）	〒901-2127 浦添市屋富祖 2-32-1	098-877-2067	098-877-2810
神森小学校（図書室）	〒901-2122 浦添市勢理客 1-4-1	098-877-6380	098-877-6423
浦城小学校（図書室）	〒901-2132 浦添市伊祖 2-13-1	098-877-3335	098-877-3239
牧港小学校（図書室）	〒901-2131 浦添市牧港 2-14-1	098-877-4142	098-877-4241
当山小学校（図書室）	〒901-2104 浦添市当山 2-34-1	098-877-7595	098-877-7538
内間小学校（図書室）	〒901-2121 浦添市内間 4-3-1	098-877-0369	098-877-0698
港川小学校（図書室）	〒901-2133 浦添市城間 4-37-1	098-879-1974	098-879-1975
宮城小学校（図書室）	〒901-2126 浦添市宮城 3-7-3	098-879-5312	098-879-5313
沢岬小学校（図書室）	〒901-2112 浦添市字沢岬 998	098-879-3238	098-879-3256
前田小学校（図書室）	〒901-2102 浦添市字前田 333	098-879-1947	098-870-4756

浦添中学校 (図書室)	〒901-2103	浦添市仲間 2-46-1	098-877-2066	098-877-2808
仲西中学校 (図書室)	〒901-2127	浦添市屋富祖 2-13-1	098-877-2070	098-877-2826
神森中学校 (図書室)	〒901-2121	浦添市内間 1-6-1	098-877-5165	098-877-5597
港川中学校 (図書室)	〒901-2134	浦添市港川 1-1-1	098-876-1323	098-876-1991
浦西中学校 (図書室)	〒901-2104	浦添市当山 3-1-1	098-879-3236	098-879-8519
浦添高校 (図書室)	〒901-2121	浦添市内間 3-26-1	098-877-4970	098-878-4219
陽明高校 (図書室)	〒901-2113	浦添市字大平 488	098-879-3062	098-879-9520
浦添商業高校 (図書室)	〒901-2132	浦添市伊祖 3-11-1	098-877-5844	098-877-4305
浦添工業高校 (図書室)	〒901-2111	浦添市経塚 1-1-1	098-879-5992	098-875-4764
那覇工業高校 (図書室)	〒901-2122	浦添市勢理客 4-22-1	098-877-6144	098-875-4883
昭和薬科大学附属高等学校図書室	〒901-2112	浦添市字沢岬 450	098-870-1852	098-870-1853
大平特別支援学校 (図書室)	〒901-2113	浦添市大平 1-27-1	098-877-4941	098-876-4148
鏡が丘特別支援学校 (図書室)	〒901-2104	浦添市当山 3-2-7	098-877-4940	098-877-9958
内間児童センター (図書室)	〒901-2121	浦添市内間 3-28-12	098-876-1502	098-876-1509
西原児童センター (図書室)	〒901-2101	浦添市西原 4-9-1	098-878-1766	098-876-2657
若草児童センター (図書室)	〒901-2132	浦添市伊祖 3-44-1	098-877-0047	098-877-0049
経塚児童センター (図書室)	〒901-2111	浦添市経塚 1-17-1	098-876-4100	098-874-1515
宮城ヶ原児童センター (図書室)	〒901-2126	浦添市宮城 2-4-1	098-876-1895	098-876-1895
まちなと児童センター (図書室)	〒901-2131	浦添市牧港 2-38-2	098-873-1898	098-873-1655
浦城っ子児童センター (図書室)	〒901-2132	浦添市伊祖 2-13-2	098-878-6815	098-870-1369
森の子児童センター (図書室)	〒901-2122	浦添市勢理客 1-4-1	098-874-7610	098-877-2647
うらそえぐすく児童センター (図書室)	〒901-2103	浦添市仲間 2-47-5	098-874-0417	098-874-0370
宮城っ子児童センター (図書室)	〒901-2126	浦添市宮城 3-7-3-1	098-870-0227	098-870-0228
前田ユブシが丘児童センター (図書室)	〒901-2102	浦添市字前田 323	098-871-1558	098-871-1559

[その他]

名 称	住 所	電話番号	F A X
沖縄点字図書館	〒900-0014 那覇市松尾 2-15-29	098-866-0222	098-866-0292
沖縄県議会図書室	〒900-8501 那覇市泉崎 1-2-3	098-866-2578	098-866-2350
沖縄県行政情報センター	〒900-8570 那覇市泉崎 1-2-2	098-866-2139	098-866-2911
沖縄県立総合教育センター 教育経営研修課図書資料室	〒904-2174 沖縄市字与儀 587	098-933-7555	098-933-2333
沖縄県公文書館	〒901-1105 南風原町字新川 148-3	098-888-3875	098-888-3879
沖縄県男女共同参画センター 「ているる」図書情報室	〒900-0036 那覇市西 3-11-1	098-868-4077	098-866-9088
北谷町公文書館	〒904-0192 北谷町字桑江 226	098-982-7739	098-936-8596
J I C A 沖縄図書資料室	〒901-2252 浦添市字前田 1143-1	098-876-6000	098-876-6014

●図書館の自由に関する宣言(抜粋)

図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することをもっとも重要な任務とする。

- 第1 図書館は資料収集の自由を有する
- 第2 図書館は資料提供の自由を有する
- 第3 図書館は利用者の秘密を守る
- 第4 図書館はすべての検閲に反対する

図書館の自由が侵されるとき、われわれは団結して、あくまで自由を守る。

●図書館法(抜粋)

最終改正 平成23年12月14日 法律第122号

第1章 総則(第1条～第9条)

第2章 公立図書館(第10条～第23条)

1. 私立図書館(第24条～第29条)は省略

第1章 総則

(この法律の目的)

第1条 この法律は、社会教育法(昭和24年法律第207号)の精神に基き、図書館の設置及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もって国民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。

(定義)

第2条 この法律において「図書館」とは、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設で、地方公共団体、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人が設置するもの(学校に附属する図書館又は図書室を除く。)をいう。

- 2 前項の図書館のうち、地方公共団体の設置する図書館を公立図書館といい、日本赤十字社又は一般財団法人の設置する図書館を私立図書館という。

(図書館奉仕)

第3条 図書館は、図書館奉仕のため、土地の事情及び一般公衆の希望に 沿い、更に学校教育を援助し、及び家庭教育の向上に資することとなるように留意し、おおむね 次に掲げる事項の実施に努めなければならない。

- (1) 郷土資料、地方行政資料、美術品、レコード、及びフィルムの収集にも十分留意して、図書、記録、視聴覚教育の資料その他必要な資料(電磁的記録(電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。))を含む。以下「図書館資料」という。)を収集し、一般公衆の利用に供すること。
- (2) 図書館資料の分類排列を適切にし、及びその目録を整備すること。
- (3) 図書館の職員が図書館資料について十分な知識を持ち、その利用のための相談に応ずるようにならなければならない。
- (4) 他の図書館、国立国会図書館、地方公共団体の議会に附置する図書室及び学校に附属する図書館又は図書室と緊密に連絡し、協力し、図書館資料の相互貸借を行うこと。
- (5) 分館、閲覧所、配本所等を設置し、及び自動車文庫、貸出文庫の巡回を行うこと。
- (6) 読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を主催し、及びこれらの開催を奨励すること。

(7) 時事に関する情報及び参考資料を紹介し、及び提供すること。

(8) 社会教育における学習の機会を利用して行った学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。

(9) 学校、博物館、公民館、研究所等と緊密に連絡し、協力すること。

(司書及び司書補)

第4条 図書館に置かれる専門的職員を司書及び司書補と称する。

2 司書は、図書館の専門的事務に従事する。

3 司書補は、司書の職務を助ける。

(司書及び司書補の資格)

第5条 次の各号のいずれかに該当する者は、司書となる資格を有する。

(1) 大学を卒業した者で大学において文部科学省令で定める図書館に関する科目を履修したものの

(2) 大学又は高等専門学校を卒業した者で次条の規定による司書の講習を修了したもの

(3) 次に掲げる職にあった期間が通算して3年以上になる者で次条の規定による司書の講習を修了したもの

イ 司書補の職

ロ 国立国会図書館又は大学若しくは高等専門学校の附属図書館における職で司書補の職に相当するもの

ハ ロに掲げるもののほか、官公署、学校又は社会教育施設における職で社会教育主事、学芸員その他の司書補の職と同等以上の職として文部科学大臣が指定するもの

2 次の各号のいずれかに該当する者は、司書補となる資格を有する。

(1) 司書の資格を有する者

(2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第90条第1項の規定により大学に入学することのできる者で次条の規定による司書補の講習を修了したもの

(司書及び司書補の講習)

第6条 司書及び司書補の講習は、大学が、文部科学大臣の委嘱を受けて行う。

2 司書及び司書補の講習に関し、履修すべき科目、単位その他必要な事項は、文部科学省令で定める。ただし、その履修すべき単位数は、15単位を下ることができない。

(司書及び司書補の研修)

第7条 文部科学大臣及び都道府県の教育委員会は、司書及び司書補に対し、その資質の向上のために必要な研修を行うよう努めるものとする。

(設置及び運営上望ましい基準)

第7条の2 文部科学大臣は、図書館の健全な発達を図るために、図書館の設置及び運営上望ましい基準を定め、これを公表するものとする。

(運営の状況に関する評価等)

第7条の3 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努められなければならない。

(運営の状況に関する情報の提供)

第7条の4 図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

(協力の依頼)

第8条 都道府県の教育委員会は、当該都道府県内の図書館奉仕を促進するために、市(特別区

を含む。以下同じ。) 町村の教育委員会に対し、総合目録の作製、貸出文庫の巡回、図書館資料の相互貸借等に関して協力を求めることができる。

(公の出版物の収集)

第9条 政府は、都道府県の設置する図書館に対し、官報その他一般公衆に対する広報の用に供せられる独立行政法人国立印刷局の刊行物を2部提供するものとする。

2 国及び地方公共団体の機関は、公立図書館の求めに応じ、これに対して、それぞれの発行する刊行物その他の資料を無償で提供することができる。

第2章 公立図書館

(設置)

第10条 公立図書館の設置に関する事項は、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。

第11条及び第12条 削除

(職員)

第13条 公立図書館に館長並びに当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会が必要と認める専門的職員、事務職員及び技術職員を置く。

2 館長は、館務を掌理し、所属職員を監督して、図書館奉仕の機能の達成に努めなければならない。

(図書館協議会)

第14条 公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

2 図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

第15条 図書館協議会の委員は、当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

第16条 図書館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他図書館協議会に関し必要な事項については、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

(入館料等)

第17条 公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない。

第18条及び第19条 削除

(図書館の補助)

第20条 国は、図書館を設置する地方公共団体に対し、予算の範囲内において、図書館の施設、設備に要する経費その他必要な経費の一部を補助することができる。

2 前項の補助金の交付に関し必要な事項は、政令で定める。

第21条及び第22条 削除

第23条 国は、第20条の規定による補助金の交付をした場合において、左の各号の一に該当するときは、当該年度におけるその後の補助金の交付をやめるとともに、既に交付した当該年度の補助金を返還させなければならない。

(1) 図書館がこの法律の規定に違反したとき。

(2) 地方公共団体が補助金の交付の条件に違反したとき。

(3) 地方公共団体が虚偽の方法で補助金の交付を受けたとき。

第3章 私立図書館(第24条～第29条)以下省略

●浦添市立図書館の設置及び管理に関する条例

昭和 59 年 12 月 19 日

条例第 34 号

(設置)

第 1 条 市民の図書その他の図書館資料に対する要求にこたえ、自由で公平な資料の提供を中心とする諸活動によって、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資するため、図書館を設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 前条の規定により設置される図書館の名称及び位置は、次のとおりとする。

- (1) 名称 浦添市立図書館
- (2) 位置 浦添市安波茶二丁目 2 番 1 号
(一部改正〔平成 10 年条例 26 号〕)

(職員)

第 3 条 浦添市立図書館(以下「図書館」という。)に、館長、専門的職員、事務職員及び技術職員、その他必要な職員を置く。

(利用者の秘密を守る義務)

第 4 条 図書館は、資料の提供活動を通じて知り得た利用者の個人的な秘密を漏らしてはならない。

(利用の制限)

第 5 条 館長は、次の各号に該当するときは、図書館の利用を拒み、又は中止させることができる。

- (1) 秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼすおそれのあるとき。
- (2) 営利を目的とするとき。
- (3) 集団的に又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがある組織の利益になると認めるとき。
- (4) この条例及び浦添市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則(昭和 60 年教育委員会規則第 1 号。以下「規則」という。)並びに館長の指示に従わないとき。
- (5) 前 4 号のほか管理運営上支障があるとき。
(追加〔平成 12 年条例 2 号〕)

(集会室の利用の不承認及び制限)

第 6 条 館長は、次の各号に該当すると認めるときは、視聴覚室、会議室、研究室、おはなしコーナー及び展示室(以下「集会室」という。)の利用を承認しない。

- (1) 集会室利用が図書館事業と目的を異にするとき。
- (2) 風紀を害し、秩序を乱すおそれがあるとき。
- (3) 営利を目的とするとき。
- (4) 集団的に又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがある組織の利益になると認めるとき。
- (5) その他管理上支障があると認められるとき。

2 館長は、次の各号に該当すると認められるときは、利用条件を変更し、利用を停止し、又は利用の承認を取り消すことができる。

- (1) 利用者がこの条例及び規則に違反したとき。
- (2) 利用目的が承認時と異なったとき。

(3) 災害その他の事故により集会室の利用が不可能なとき。

(4) 館長が図書館運営上特に必要と認めたとき。

(追加〔平成12年条例2号〕)

(図書館協議会)

第7条 図書館法(昭和25年法律第118号)第14条の規定に基づき、図書館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員は10人以内とし、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が任命する。

3 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(一部改正〔平成12年条例2号〕)

(一部改正〔平成24年条例13号〕)

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(一部改正〔平成12年条例2号〕)

附 則

この条例は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則(平成10年11月24日条例第26号)

この条例は、平成10年11月30日から施行する。

附 則(平成12年3月31日条例第2号)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月27日条例第13号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

●浦添市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則

昭和60年1月24日
教育委員会規則第1号

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規則は、浦添市立図書館の設置及び管理に関する条例（昭和59年条例第34号）第8条の規定に基づき、浦添市立図書館（以下「図書館」という。）の管理及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

一部改正〔平成12年教委規則7号〕

(組織及び事務分掌)

第1条の2 図書館に次の係を置く。

管理係

奉仕係

2 前項に規定する係は、第2条に掲げる図書館の事業に係る事務を所掌し、係の分掌事務及び職員の事務分担は館長が定める。

全部改正〔平成2年教委規則2号〕、一部改正〔平成19年教委規則4号〕

(職員及び職務)

第1条の3 図書館に館長、係長その他必要な事務職員を置く。

2 館長は、上司の命を受け、図書館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

3 係長は、上司の命を受け、係の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

4 その他の職員は、上司の命を受け、担任の事務に従事する。

5 第1項の館長は、非常勤とすることができる。この場合において、その任期は3年とする。ただし、特に必要があると認めるときは、この限りでない。

一部改正〔平成20年教委規則8号〕

追加〔昭和63年教委規則9号〕、一部改正〔平成17年教委規則4号・20年8号〕

(その他の職員)

第1条の4 図書館に、前条の規定にかかわらず、必要に応じて、参事、主幹、主査を置くことができる。

2 参事、主幹、主査は、上司の命を受け、特に指定された事務を処理する。

追加〔昭和63年教委規則9号〕、一部改正〔平成3年教委規則1号・8年4号〕

第2章 図書館奉仕

第1節 通則

(事業)

第2条 図書館は、図書館法（昭和25年法律第118号）第3条の規定に基づき、次の事業を行う。

(1) 図書館資料（以下「資料」という。）の収集、整理及び保存

(2) 資料の貸出し

(3) 読書案内

(4) レファレンス

(5) 読書会、研究会、講演会、鑑賞会、映写会、資料展示会等の主催及び奨励

(6) 館報その他の読書資料の発行及び頒布

(7) 時事に関する情報及び参考資料の紹介並びに提供

(8) 移動図書館の運営

(9) 他の図書館、学校、博物館、公民館、研究所等との連絡及び協力

(10) 資料の図書館間相互貸借

(11) 市内学校図書館との連絡提携

- (12) 読書団体との連絡、協力並びに団体活動の促進
 - (13) 地域図書館活動に対する援助
 - (14) 郷土資料及び地方行政資料の収集並びに貸出し
 - (15) 沖縄学の研究
 - (16) 社会教育における学習成果を活用する教育活動その他の活動の機会の提供と奨励
追加〔平成24年教委規則5号〕
 - (17) その他図書館の目的達成のために必要な事業
一部改正〔昭和63年教委規則9号・平成2年2号〕
- (図書館奉仕を受けることができる者)

第3条 図書館奉仕を受けることができる者は、浦添市に居住し、又は通勤若しくは通学している者とする。

2 前項の規定にかかわらず、図書館長（以下「館長」という。）は、必要と認めた者に対して、図書館奉仕をすることができる。

(開館時間)

第4条 図書館の開館時間は、午前9時30分から午後7時までとする。ただし、館長が必要と認めたときは、これを変更することができる。

全部改正〔平成18年教委規則5号〕

(休館日)

第5条 図書館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 定期休館日 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。）に規定するこどもの日及び文化の日に当たる場合を除く。）
- (2) 祝日法に規定する日（こどもの日及び文化の日を除く。）
- (3) 慰霊の日 6月23日
- (4) 年始休館日 1月2日及び1月3日
- (5) 年末休館日 12月29日から12月31日まで
- (6) 資料整理日 7月、8月、蔵書点検月を除く毎月末日（ただし、土日月を除く）
一部改正〔平成24年教委規則5号〕
- (7) 蔵書点検日等 年間10日以内で館長が指定する日

2 前項第2号に規定する日が同項第1号に規定する日に当たる場合は、その日以後において、最も近い休館日でない日をもって、これに替えるものとする。ただし、成人の日（1月の第2月曜日）、海の日（7月の第3月曜日）、敬老の日（9月の第3月曜日）及び体育の日（10月の第2月曜日）は、この限りでない。

3 前2項の規定にかかわらず、館長が特に必要と認めたときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

全部改正〔平成12年教委規則7号〕、一部改正〔平成18年教委規則5号〕

第6条 削除

〔平成12年教委規則7号〕

(損害の弁償)

第7条 利用者は、資料、設備器具等を著しく汚損、破損又は紛失したときは、現品又は相当の代価をもって弁償しなければならない。ただし、館長がやむを得ない理由があると認めたときは、この限りではない。

第2節 個人貸出し

(貸出手続)

第8条 図書館が発行し、交付した利用カードを所持する者は、資料を借り受けることができる。

2 前項の利用カードは、利用申込書により申込みがあった者に交付する。

3 利用申込書の記載事項に変更が生じたときは、変更届により、速やかに館長に届け出な

ければならない。

- 4 図書館を利用できる資格を失ったときは、速やかに館長に利用カードを返還しなければならない。

(利用カードの紛失)

第9条 利用カードを紛失したときは、速やかに館長に届け出なければならない。

- 2 利用カードが交付を受けた者以外の者によって使用され、損害が生じたときは、その責任は当該利用カードの交付を受けた者に帰するものとする。

(貸出しの期間及び数量)

第10条 資料の貸出期間は、2週間以内とし、同時に貸出しを受けることができる数量は、1人につき図書は10点、雑誌は3点、CD及びカセットテープは合わせて2点とする。ただし、館長が必要と認めたときは、数量を別に指定することができる。

- 2 貸出期間の延長は、期間内に申出のあった者に対してのみ、返却日から2週間までを限度として認める。

一部改正〔平成11年教委規則3号〕

(貸出しの制限)

第11条 貴重図書その他館長が特に指定した資料は、貸出しを行わないものとする。ただし、館長が特に必要があると認めた場合は、5点を限度とし閉館時から翌日の開館時までの貸出しを受けることができる。

(貸出しの停止)

第12条 館長は、資料貸出期間経過後においても当該資料を返却しなかった者に対して、一定期間資料の貸出しを停止することができる。

第3節 団体貸出し

(貸出手続)

第13条 団体に資料を利用できるものは、市内の事業所、機関、学校又は団体等で、図書館が発行し交付する利用カードを所持するものとする。

- 2 前項の利用カードは、利用申込書により申込みがあった団体に交付する。

(貸出しの期間及び数量)

第14条 団体に利用する資料の貸出数量は、団体の成員数に応じ1回50点を限度とし館長がこれを指定する。利用期間は1ヶ月以内とする。ただし、館長が特に必要と認めた場合は、その数量及び期間を別に指定することができる。

(個人貸出しの規定の準用)

第15条 第9条、第11条及び第12条の規定は、団体貸出しについて準用する。

第3節の2 移動図書館

(移動図書館の業務)

追加〔昭和63年教委規則9号〕

第15条の2 移動図書館は、市内を巡回して、資料の貸出しその他の奉仕を行う。

追加〔昭和63年教委規則9号〕

(巡回日時及び場所)

第15条の3 移動図書館の巡回日時及び場所については、館長が別に定める。

- 2 館長は、前項の規定にかかわらず、天候不順等の理由により巡回が適当でないと認めたときには、巡回を中止することができる。

追加〔昭和63年教委規則9号〕

第4節 集会施設の利用

(利用の範囲)

第16条 視聴覚室、かたりの部屋（以下「集会室」という。）は、教育的、文化的活動等図書館事業に関連のある集会及び行事に利用することができる。

一部改正〔平成24年教委規則5号〕

(利用手続)

第17条 集会室を利用しようとする者は、あらかじめ集会室使用承認申請書を館長に提出し、その承認を受けなければならない。

2 館長は、前項の申請書を審査し、支障がないと認めるときは、申請者に対し集会室使用承認書により利用を承認するものとする。

3 館長は、前項の承認をする際に条件を付することができる。

第18条及び第19条 削除

〔平成12年教委規則7号〕

第3章 資料の寄贈及び寄託

(寄贈及び寄託)

第20条 図書館は、資料の寄贈及び寄託を受けることができる。2 図書館に資料を寄託しようとするときは、館長に名称、数量価格等を明記した資料寄託申込書を提出し、その承認を受けるものとする。

3 資料の寄贈又は寄託に要する経費は、寄贈者又は寄託者の負担とする。ただし、事情により特に図書館が負担することがある。

4 図書館は、資料の寄贈を受けたときは、他の資料と同様の取扱いにより一般の利用に供することができる。

5 寄託された資料は、図書館の所有に属する資料と同様の取扱いをする。

6 図書館は、寄贈及び寄託された資料がやむを得ない事由により滅失若しくは紛失し、又は汚損若しくは破損したときは、その責めを負わない。

第4章 雑則

(委任)

第21条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

一部改正〔昭和63年教委規則9号〕

附 則

この規則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則 (昭和63年3月19日教育委員会規則第9号)

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

「平成2年4月1日施行から平成12年4月1日施行まで省略」

附 則 (平成17年3月29日教育委員会規則第4号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成18年3月27日教育委員会規則第5号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則 (平成19年3月16日教育委員会規則第4号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平成20年3月21日教育委員会規則第8号)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月30日教育委員会規則第5号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

※様式第1号ないし様式第6号は削除。

●浦添市立図書館協議会規則

昭和 60 年 1 月 24 日

教育委員会規則第 2 号

改正 平成 29 年 5 月 12 日教育委員会規則第 7 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、浦添市立図書館の設置及び管理に関する条例（昭和 59 年条例第 34 号）第 7 条の規定に基づき、浦添市立図書館協議会（以下「協議会」という。）について必要な事項を定めるものとする。

(職務)

第 2 条 協議会は、図書館の運営に関し浦添市立図書館長（以下「館長」という。）の諮問に応ずる。

2 協議会は、図書館の行う図書館奉仕について館長に対して意見を述べることができる。

(会長及び副会長)

第 3 条 協議会に会長及び副会長を置き、委員のうちから互選する。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 4 条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集する。ただし、委員の三分の一以上の請求がある場合は臨時に招集することができる。

2 会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(庶務)

第 5 条 協議会の庶務は、図書館において処理する。

(委任)

第 6 条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、別に会長が定める。

附 則

この規則は、昭和 60 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 29 年 5 月 12 日教育委員会規則第 7 号）

この規則は、平成 29 年 5 月 12 日から施行する。

●浦添市立図書館コピーサービス実施要綱

昭和 60 年 6 月 7 日
教育委員会訓令甲第 8 号

(目的)

第 1 条 浦添市立図書館(以下「図書館」という。)は、著作権法(昭和 45 年 5 月 6 日法律第 48 号)第 31 条の規定に基づき図書館を利用する者が資料をコピーするための必要事項を定め、もつて利用者の利便を図ることを目的とする。但し、複写を希望する目的が個人的、家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用する場合に限る。

(コピーできる資料)

第 2 条 利用者がコピーできる資料は、原則として図書館の所蔵するものに限る。

(取扱い)

第 3 条 コピー自動販売装置付の複写機により利用者が直接当該料金を当該装置に入れ、自ら機器を操作してコピーを行なうものとする。

2 コピー料金は 1 枚当たり次のとおりとする。

(1) 白黒コピー

10 円

(2) カラーコピー

50 円 (B4 サイズまで)

80 円 (A3 サイズ)

一部改正〔平成 20 年教委訓令甲第 8 号〕

3 機械的な故障による場合を除き、利用者の誤操作などによってコピーに瑕疵が発生しても図書館は、その責めを負わない。

4 コピーをしようとする資料の著作権に関する一切の責任はコピーを行う利用者が負うものとする。

(委任)

第 4 条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、館長が別に定める。

附 則

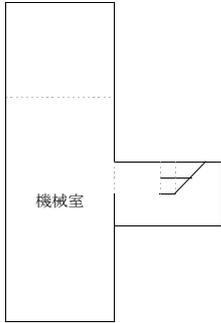
この要綱は、公布の日から施行する。

附 則 (平成 20 年教育委員会訓令甲第 8 号)

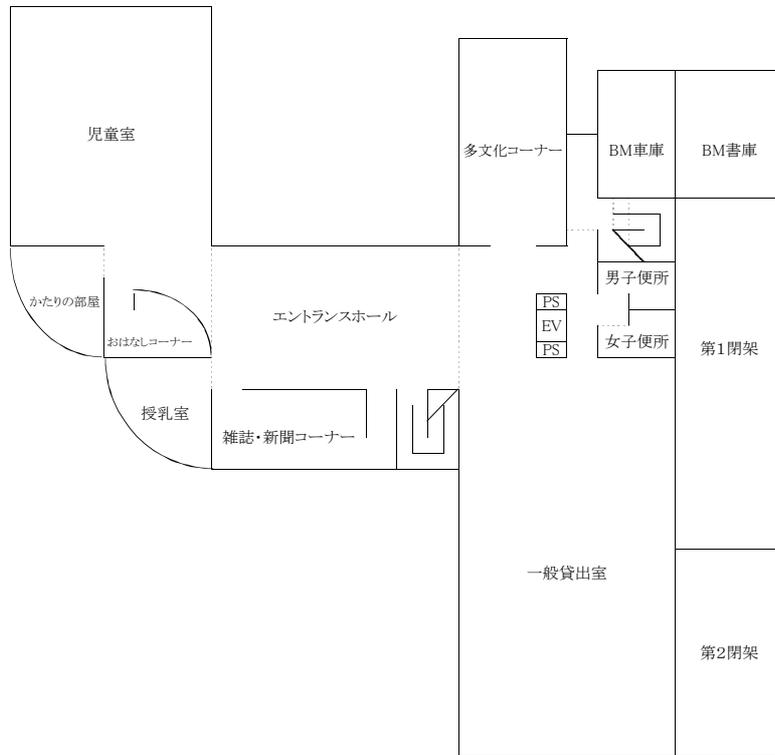
この訓令は、平成 20 年 5 月 1 日から施行する。

● 平面図

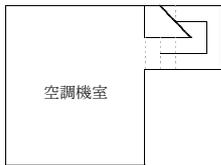
地階 188.71㎡



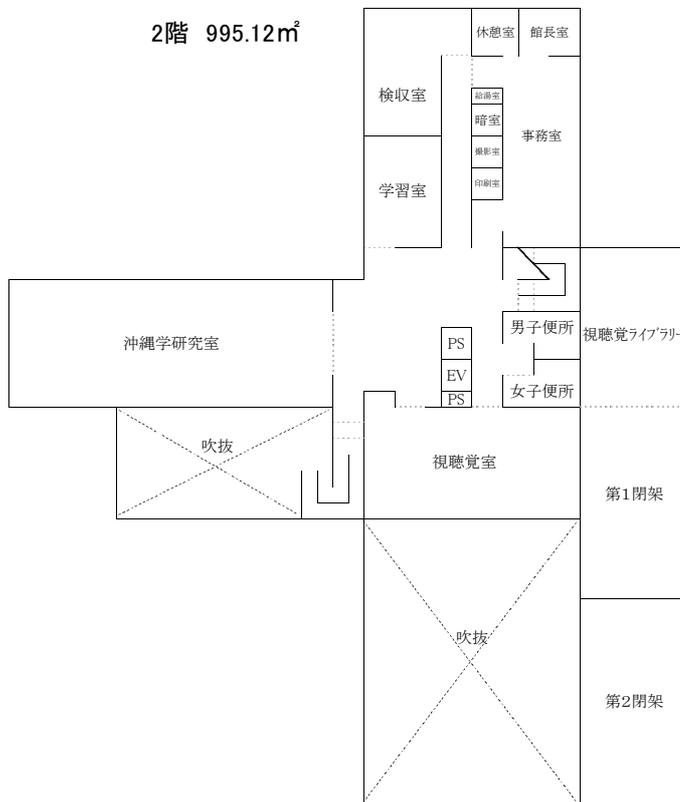
1階 1,783.62㎡



塔屋階 69.13㎡



2階 995.12㎡





昭和57年12月11日制定

浦添市民憲章

わたくしたちは
古い歴史と新しい希望にみちた、
てだこの都市・浦添の市民として、
この憲章を定め 誇りをもって
その実践につとめます

1. わたくしたちは、

自然を愛し、みどり豊かなまちをつくります。

1. わたくしたちは、

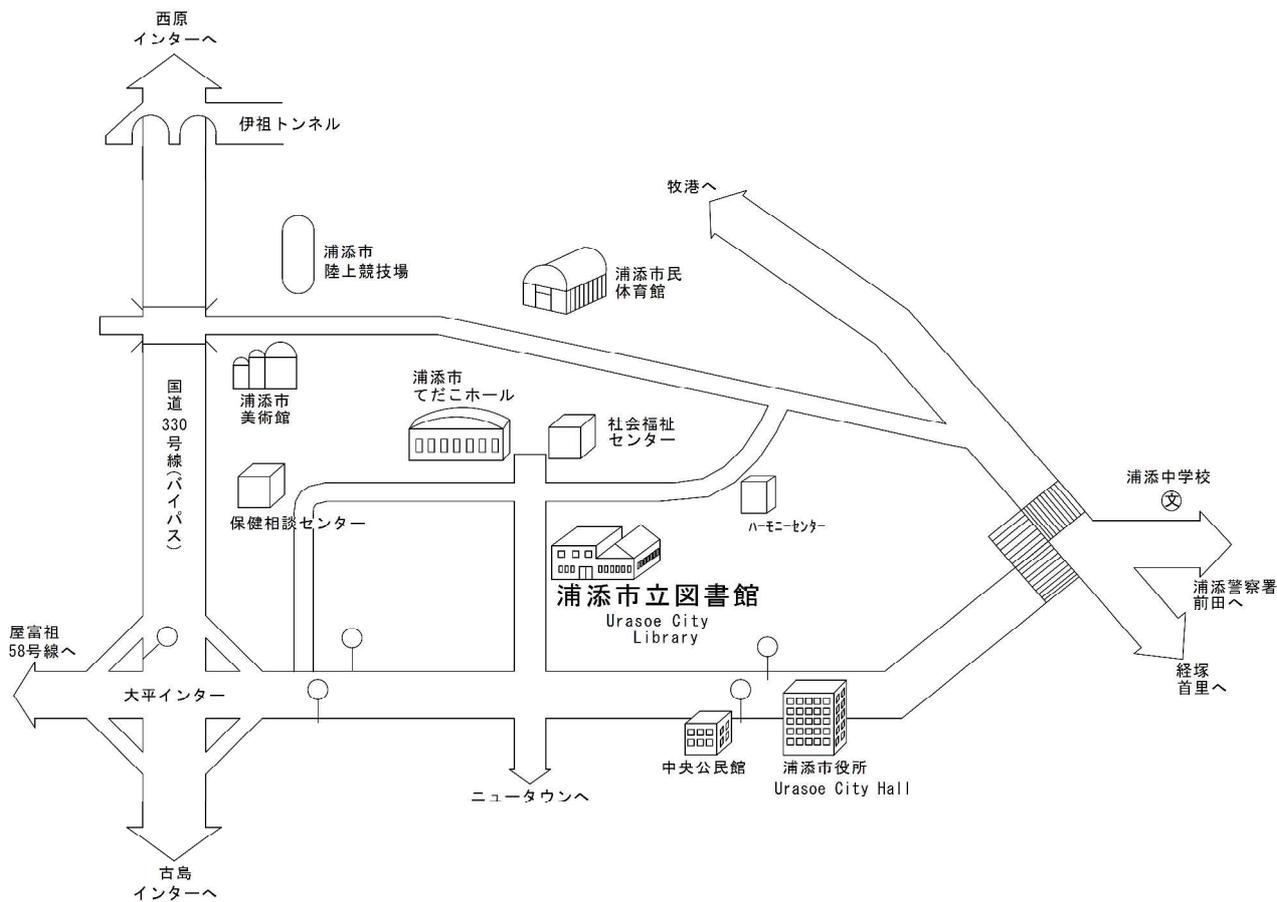
きまりを守り、住みよいまちをつくります。

1. わたくしたちは、

平和を愛し、文化の香り高いまちをつくります。

1. わたくしたちは、

心と体をきたえ、明るい健康なまちをつくります。



浦 添 市 立 図 書 館 報

第 34 号

平成 29 年 11 月 発行

編集・発行 浦添市立図書館

〒901-2114

沖縄県浦添市安波茶二丁目 2 番 1 号

T E L . 098-876-4946

F A X . 098-875-1772

印刷 有限会社 ドリーム印刷
